

第1回

王寺町総合計画後期基本計画(兼 第3期デジタル田園
都市構想総合戦略)効果検証のための

成果指標(数値目標・KPI)進捗状況

令和6年8月

王寺町

目次

1. 王寺町総合計画後期基本計画 （兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略）について	1
2. 王寺町総合計画後期基本計画 （兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略）におけるPDCAサイクル	1
3. 評価について	2
4. 王寺町総合計画後期基本計画 （兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略）の体系と 重要業績評価指標（KPI）数	3
5. 数値目標の状況	4
6. 重要業績評価指標（KPI）の状況	4
7. 成果指標（数値目標・KPI）の見方	5

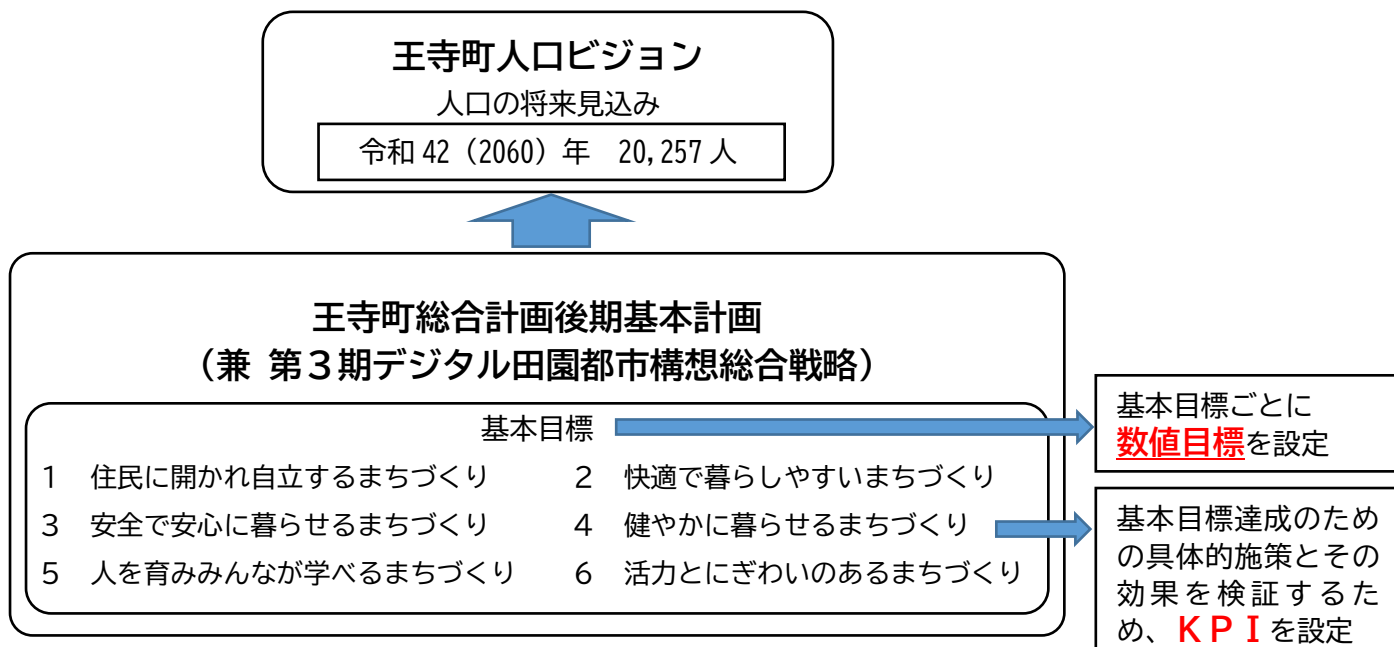
◎成果指標（数値目標・KPI）

1 住民に開かれ自立するまちづくり	6
2 快適で暮らしやすいまちづく	18
3 安全で安心して暮らせるまちづくり	30
4 健やかに暮らせるまちづくり	35
5 人を育みみんなが学べるまちづくり	48
6 活力とにぎわいのあるまちづくり	65

1. 王寺町総合計画後期基本計画

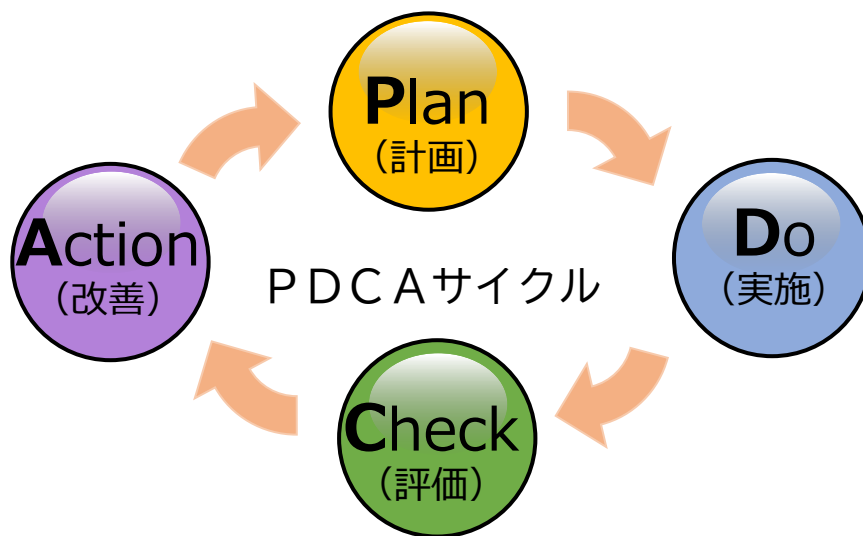
(兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略)について

王寺町総合計画後期基本計画（兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略）では、王寺町人口ビジョンにおける人口の将来見込みを達成するために必要な6つの基本目標を設定しています。基本目標それぞれに**数値目標**を設定し、基本目標を達成するため基本的方向及び具体的施策を定め、具体的施策には**重要業績評価指標（KPI）**を定めています。



2. PDCAサイクル

王寺町総合計画後期基本計画（兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略）に位置づける施策（取組）を実効性のあるものとするため、毎年度、施策の効果検証を行います。

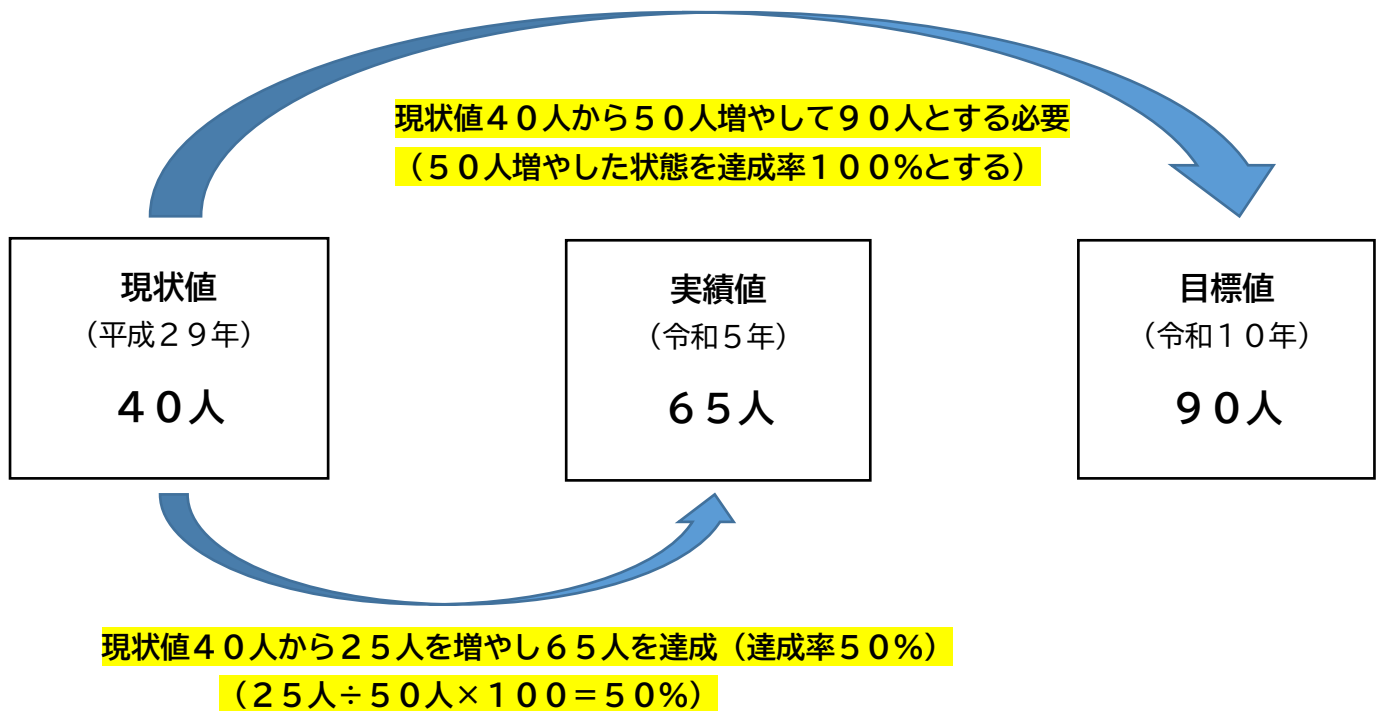


P (Plan:計画)	総合戦略の策定
D (Do:実施)	施策（取組）の着実な実施
C (Check:評価)	実施した施策（取組）の効果をKPI等により検証
A (Action:改善)	必要に応じた総合戦略の改定

3. 評価について

(1) 数値目標・重要業績評価指標（K P I）達成率の考え方

例：平成29年の現状値が40人、令和10年の目標値が90人（50人増加させる必要）というK P Iにおいて、効果検証の対象である令和5年の実績値が65人（実績が25人の増加）であった場合、達成率は50%と表します。



(2) 評価の視点について

「具体的施策」ごとに区切ってK P Iの達成率の状況を説明させていただきますので下記の視点でA B C Dの4段階評価をお願いします。

評価につきましては、コメントとともに「王寺町総合計画後期基本計画（兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略）効果検証の評価・意見」シートにご記入をお願いします。

- ・ 評価の視点：施策が目標の達成に寄与したか。
長期的な効果が見込めるか。
事業の進め方、事業内容、実施主体は適切か。
- ・ 評価
A：高い効果が得られた。
B：一定の効果が得られた。
C：やや不十分な効果にとどまった。
D：効果は不十分もしくは見られなかった。

4. 王寺町総合計画後期基本計画(兼 第3期デジタル田園都市構想 総合戦略)の体系と重要業績評価指標(KPI)数

基本目標 【6項目】	基本的方向【19項目】	具体的施策【38項目】	KPI数【85個】 ※()内は補助指標
1 住民に開かれ自立するまちづくり	1 協働の仕組みの構築	1 参画・協働	1(1)
		2 広報広聴・情報公開	3
	2 お互いを尊重するまちづくり	3 人権	2(1)
		4 男女共同参画	2(3)
	3 健全で効率的な行財政運営	5 行政サービスの提供	2(1)
		6 行政経営	2(1)
		7 広域連携	1
2 快適で暮らしやすいまちづくり	4 都市基盤の充実	8 土地利用	2
		9 住宅環境	2
		10 上下水道	2
	5 交通ネットワークの整備	11 道路	2(1)
		12 公共交通	2(1)
	6 環境への配慮	13 環境保全	2
		14 循環型社会	2
7 水と緑の保全と創出	15 都市景観	2(1)	
3 安全で安心に暮らせるまちづくり	8 地域防災の充実	16 防災体制	1
		17 避難行動支援	1
		18 消防・救急体制	2
	9 日常生活の安全確保	19 防犯・交通安全	2
4 健やかに暮らせるまちづくり	10 高齢者支援の充実	20 高齢者福祉	2
		21 介護保険	2
	11 障がい者支援の充実	22 障がい者福祉	3
	12 健康づくりの推進	23 健康づくり	7(2)
	13 地域で支え合うまちづくり	24 地域福祉	2(1)
		25 国民健康保険	2
5 人を育みみんなが学べるまちづくり	14 子ども・子育て支援の充実	26 子育て支援	3(1)
		27 母子保健	3
		28 保育環境	2(1)
	15 学校教育の充実	29 就学前教育	2
		30 学校教育	6(1)
	16 生涯学習の充実	31 生涯学習	2
		32 青少年健全育成	3
	17 歴史文化・スポーツ活動の振興	33 文化財	2
		34 文化・芸術活動	2
35 スポーツ・レクリエーション		2	
6 活力とにぎわいのあるまちづくり	18 活力の創出	36 産業・雇用	2(2)
		37 定住促進	1(2)
	19 交流の促進	38 観光・交流	2

5. 数値目標の状況

基本目標	数値目標名	達成状況		進捗率
		達成	未達成	
1 住民に開かれ自立するまちづくり	(1)月に一回以上地域活動に参加する人の割合		○	▲80.2%
	(1)補助指標 自治会加入率		○	—
2 快適で暮らしやすいまちづくり	(1)人口の社会増[累計]		○	▲211.1%
3 安全で安心に暮らせるまちづくり	(1)防災訓練を実施している自主防災組織の数		○	▲10.9%
	(2)防災士資格者数	○		102.1%
4 健やかに暮らせるまちづくり	(1)健康寿命(65歳の平均自立期間)の県内市町村における順位[男性]		○	—
	(2)健康寿命(65歳の平均自立期間)の県内市町村における順位[女性]		○	—
5 人を育みみんなが学べるまちづくり	(1)合計特殊出生率		○	—135.9%
6 活力とにぎわいのあるまちづくり	(1)王寺町内での新規起業件数(累計)		○	64.4%
	(2)人口の社会増[累計]【再掲】			▲211.1%
	(3)町の観光入込客数		○	64.9%
	(4)王寺町周辺宿泊者数		○	72.5%
合 計		1	10	達成項目割合 9.1%

6. 重要業績評価指標(KPI)の状況

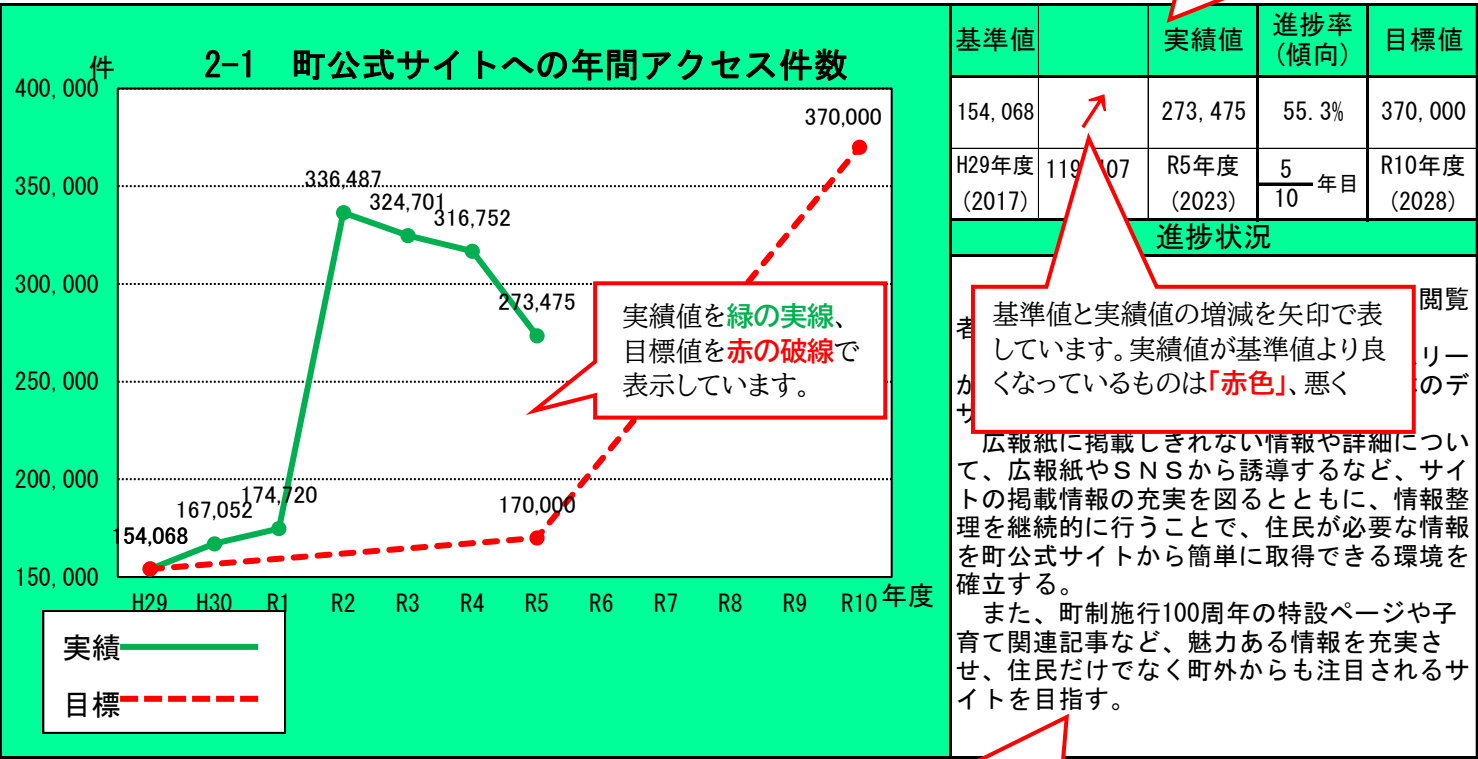
基本目標	達成状況				達成項目割合
	達成	未達成	その他	計	
1 住民に開かれ自立するまちづくり	1	19	0	20	5.0%
2 快適で暮らしやすいまちづくり	0	17	1	18	0.0%
3 安全で安心に暮らせるまちづくり	1	5	0	6	16.7%
4 健やかに暮らせるまちづくり	3	17	1	21	14.3%
5 人を育みみんなが学べるまちづくり	2	28	0	30	6.7%
6 活力とにぎわいのあるまちづくり	1	8	0	9	11.1%
合 計	8	94	2	104	7.7%

7. 成果指標(数値目標・KPI)の見方

王寺町総合計画後期基本計画(兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略)各施策の「成果指標(数値目標・KPI)」、担当部署・指標管理責任者(担当者)、「成果指標」達成に向けた進捗状況を記載しています。

各成果指標の置かれている「基本目標」「基本的方向」「具体的施策」を記載しています。

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり	担当部署・指標管理責任者
基本的方向	(1) 協働の仕組みの構築	各成果指標について、基準値、実績値、目標値、基準値と実績値の差、目標値に対する実績値の進捗率(傾向)、計画期間の経過年数を記載しています。
具体的施策	(2) 広報広聴・情報公開	



「成果指標(数値目標・KPI)」達成に向けて、現在の進捗状況を、成果(取り組んだこと)や指標の動き(グラフ)との関連性を分析し、記載しています。

(注) 進捗率の計算方法について
進捗率 = (実績値 - 基準値) / (目標値 - 基準値)

※数値が低い方が良くなる指標の場合
進捗率 = (基準値 - 実績値) / (基準値 - 目標値)

1 住民に関われ自立するまちづくり

数値目標

1 (1) 月に一回以上地域活動に参加する人の割合

1 (1) 補助指標 自治会加入率

K P I

具体的施策1 参画・協働

1-1 協働によるまちづくりについて推進すべきと考える人の割合

1-1 補助指標 まちづくり協議会設立数[累計]

具体的施策2 広報広聴・情報公開

2-1 町公式サイトへの年間アクセス件数

2-2 町公式SNSのフォロワー数[累計]

2-3 行政の透明性に関する満足度

具体的施策3 人権

3-1 人権学習懇談会の参加者数[3 か年計]

3-2 人権啓発・人権教育に関する重要度

3-2 補助指標 差別をなくす町民集会参加人数

具体的施策4 男女共同参画

4-1 25～44 歳女性の就業率

4-1 補助指標① 女性デジタル人材育成講座受講者数[累計]

4-1 補助指標② 女性デジタル人材育成講座による就業・起業者数[累計]

4-1 補助指標③ 「まっち☆ジョブ王寺」女性の就業件数[累計]

4-2 町が設置する審議会等における女性委員の割合

具体的施策5 行政サービスの提供

5-1 電子申請利用率

5-2 電子申請が可能な行政サービス数

5-3 デジタルデバйд対策事業参加者数[累計]

具体的施策6 行政経営

6-1 行財政運営に関する満足度

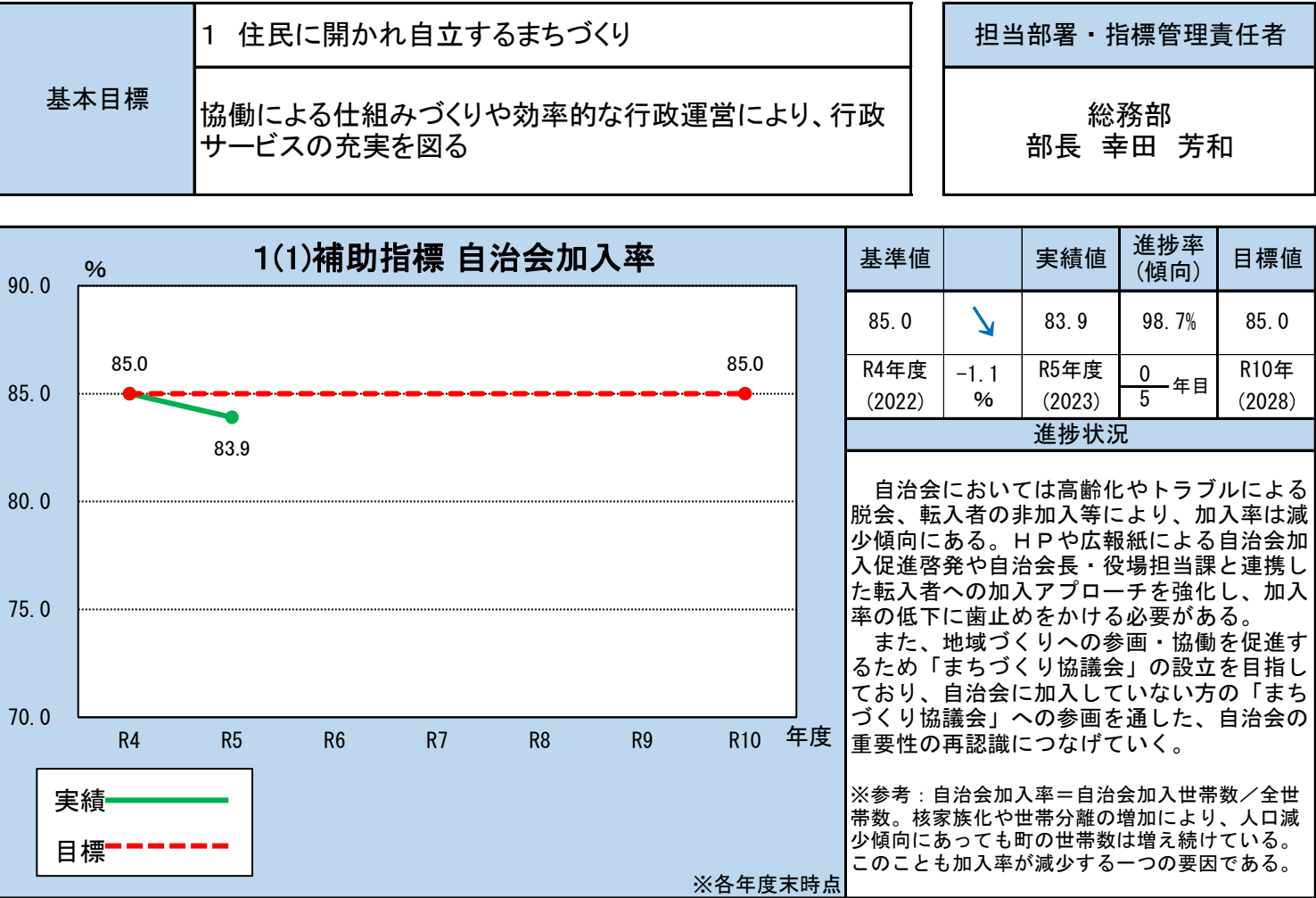
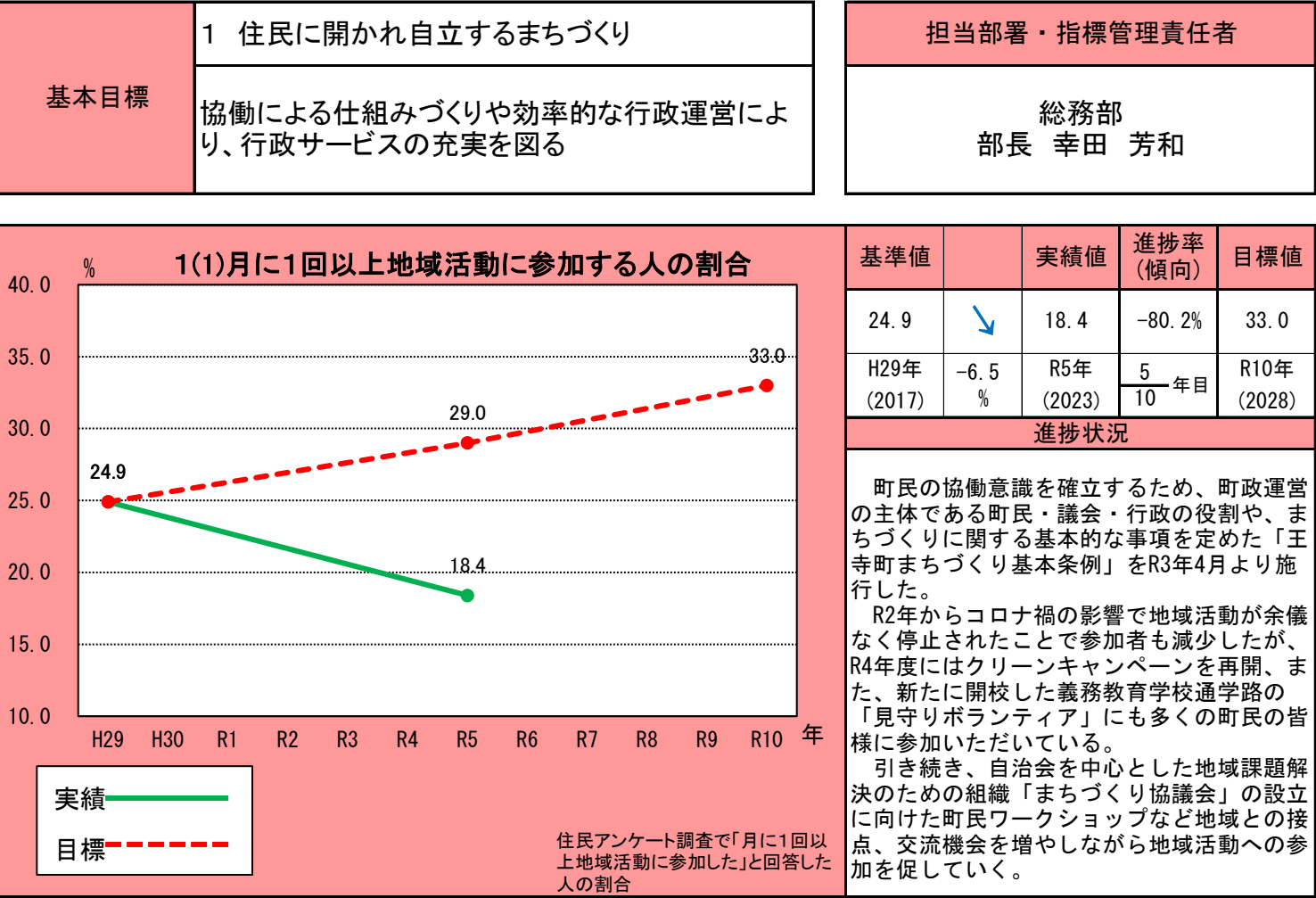
6-1 補助指標 将来負担比率

6-2 経常収支比率

具体的施策7 広域連携

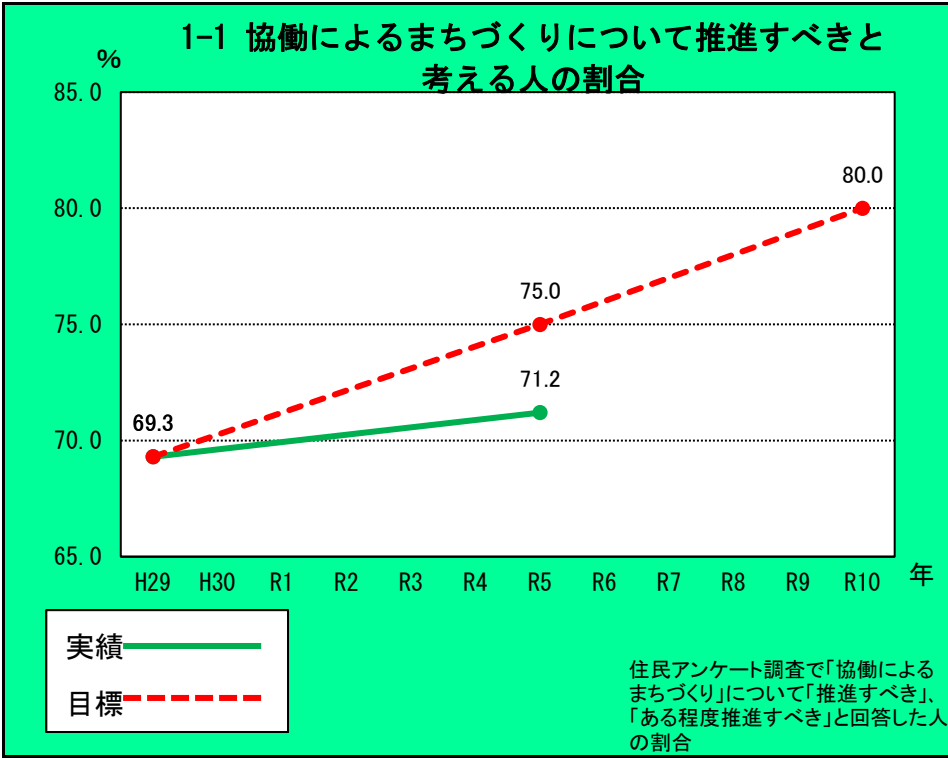
7-1 市町村間の広域連携によって進めた事業数[累計]

数値目標



基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(1) 協働の仕組みの構築
具体的施策	(1) 参画・協働

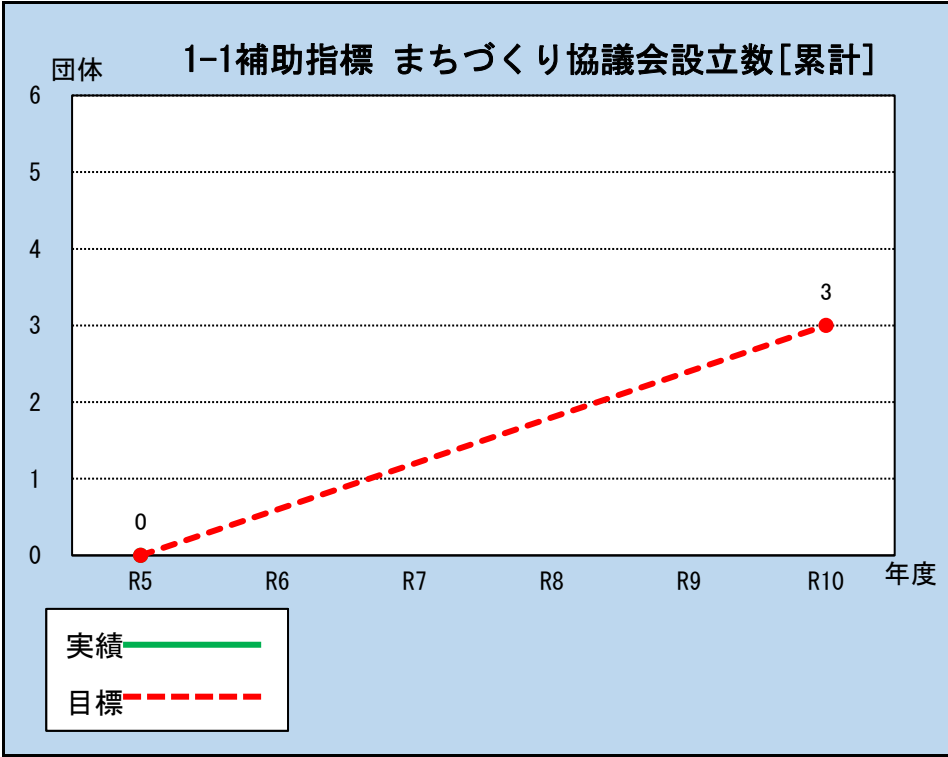
担当部署・指標管理責任者
総務部 政策推進課 課長 吉田 茂肇



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
69.3	↑	71.2	17.8%	80.0
H29年度 (2017)	1.9 %	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年 (2028)
進捗状況				
王寺町民の協働意識を確立するため、町政運営の主体である町民・議会・行政の役割や、まちづくりに関する基本的な事項を定めた「王寺町まちづくり基本条例」をR3年4月に施行した。 現在、自治会を中心とした地域課題解決のための組織「まちづくり協議会」の設立を目指し、北、中央、南エリアの3地区に分けて4回のワークショップを開催し、新たな町民の参画を促してきた。 まちづくり協議会の設立支援を通じて、地域の課題が共有され地域の人々の交流を深めていくことと併せて、活動のコアとなるキーマンの発掘を進め、様々な活動により多くの人々が関われる持続可能な仕組みづくりが必要である。				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(1) 協働の仕組みの構築
具体的施策	(1) 参画・協働

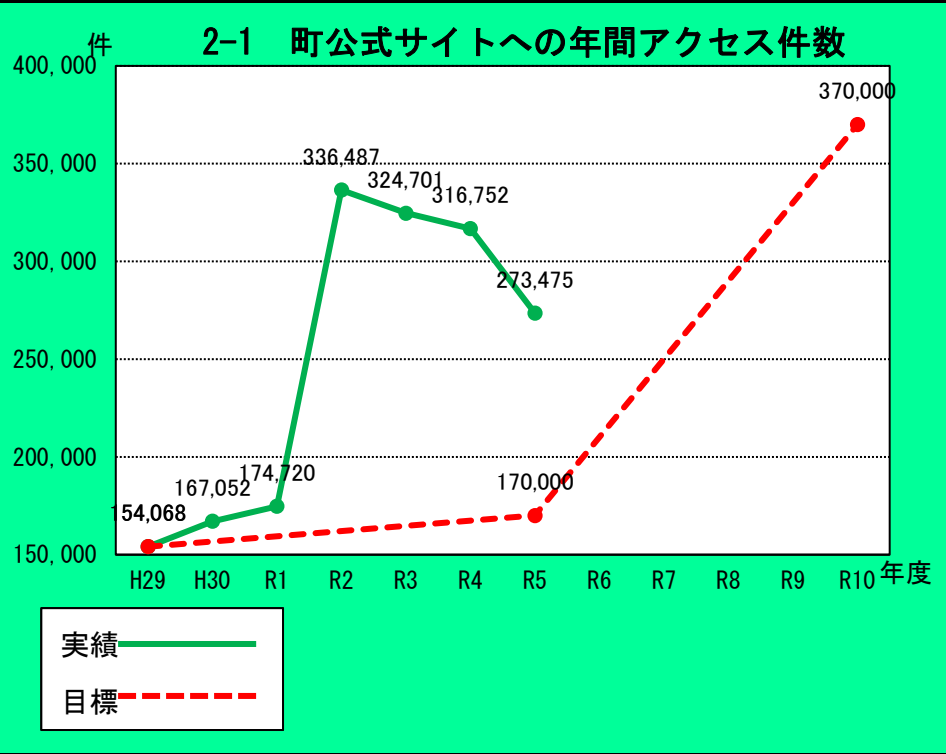
担当部署・指標管理責任者
総務部 政策推進課 課長 吉田 茂肇



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
0	→	0	0.0%	3
R5年度 (2023)	0 団体	R5年度 (2023)	0 5 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
現在、王寺町では「まちづくり協議会」の早期設立に向け、自治連合会と連携し、本町地区をモデル地区と位置付けて、地区自治連合会を主体とした設立に向けて、検討会の開催などの支援を実施している。 モデル地区での検討状況を勘案しながら、町独自の支援メニューや協議会の要件等を整理し、他地区においても「まちづくり協議会」設立に向けた支援を進めていく。				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(1) 協働の仕組みの構築
具体的施策	(2) 広報広聴・情報公開

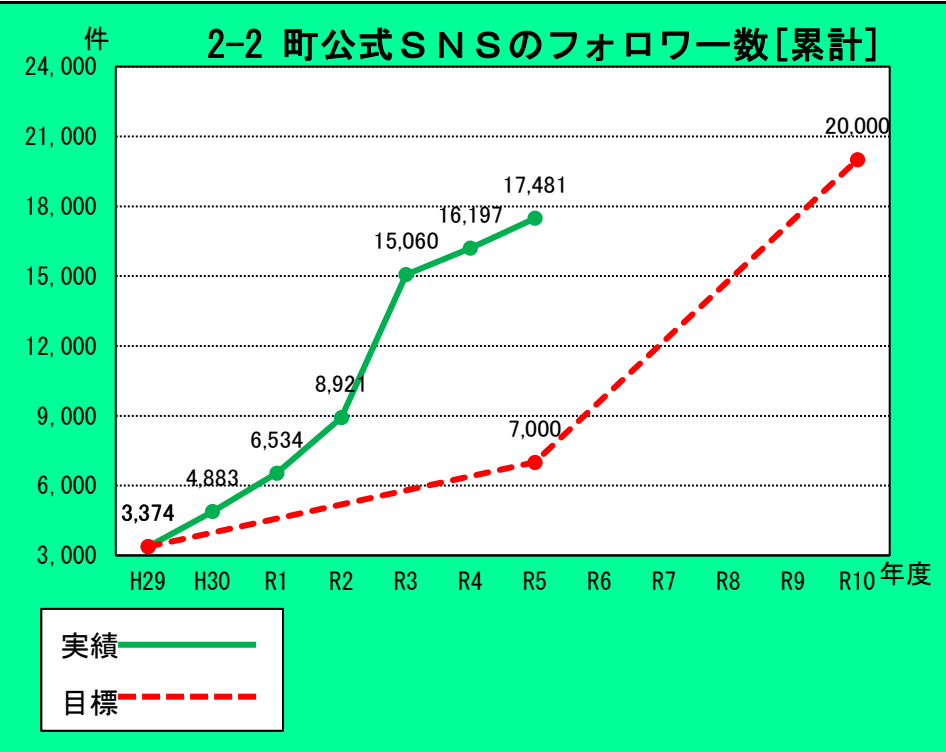
担当部署・指標管理責任者
総務部 政策推進課 課長 吉田 茂肇



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
154,068	↑	273,475	55.3%	370,000
H29年度 (2017)	119,407 件	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R2年度以降、コロナ禍によってサイト閲覧者数が増えたが、ここ数年は減少傾向。 R4年度には住民が必要な情報をタイムリーかつ容易に取得できるよう、サイト全体のデザイン・導線のリニューアルを行った。 広報紙に掲載しきれない情報や詳細について、広報紙やSNSから誘導するなど、サイトの掲載情報の充実を図るとともに、情報整理を継続的に行うことで、住民が必要な情報を町公式サイトから簡単に取得できる環境を確立する。 また、町制施行100周年の特設ページや子育て関連記事など、魅力ある情報を充実させ、住民だけでなく町外からも注目されるサイトを目指す。				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(1) 協働の仕組みの構築
具体的施策	(2) 広報広聴・情報公開

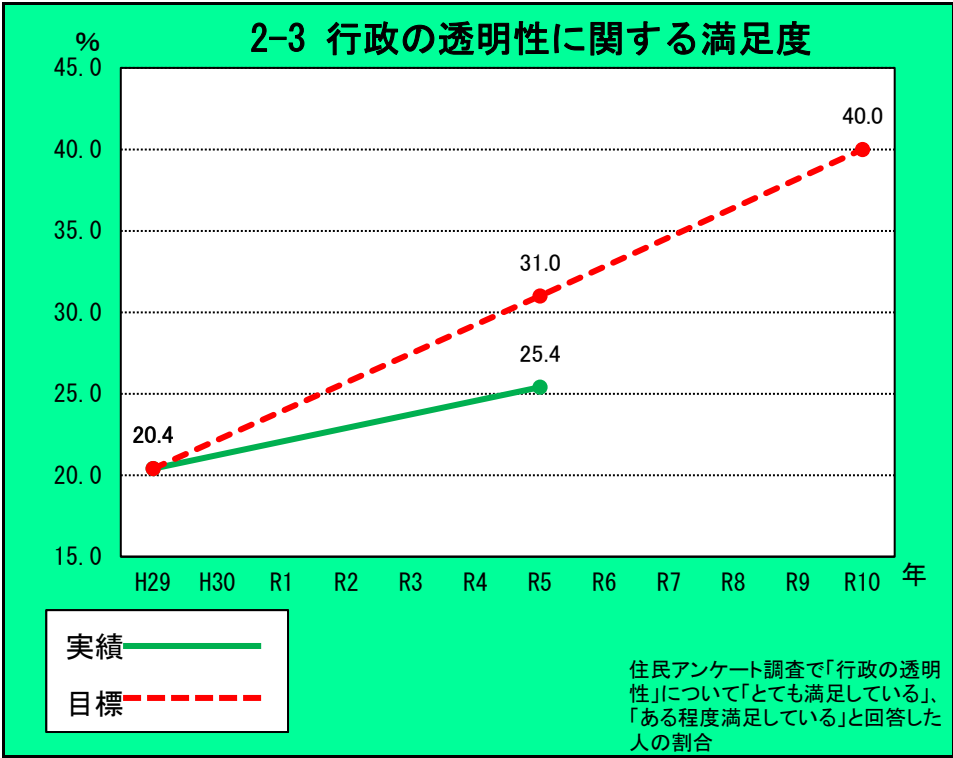
担当部署・指標管理責任者
総務部 政策推進課 課長 吉田 茂肇



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
3,374	↑	17,481	84.8%	20,000
H29年度 (2017)	14,107 件	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
現在、Facebook、LINE、Instagram、noteの4種のSNSを運用しているが、コロナ禍の影響でLINE登録者が大幅に増えたため、目標値を上方修正した。 R4年7月には、ゴミ収集日の通知など住民が配信希望を選択できる機能を設けた。R6年度中にLINEアプリを活用したオンライン申請手続システムを導入予定。 今後も住民の利便性を高めるターゲット別のSNSによる発信を効果的に行い、さらなるフォロワー増を図る。				
OR5年度末時点のSNS別フォロワー数				
・ Facebook 4,540件				
・ LINE 11,277件				
・ Instagram 1,260件				
・ note 404件				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(1) 協働の仕組みの構築
具体的施策	(2) 広報広聴・情報公開

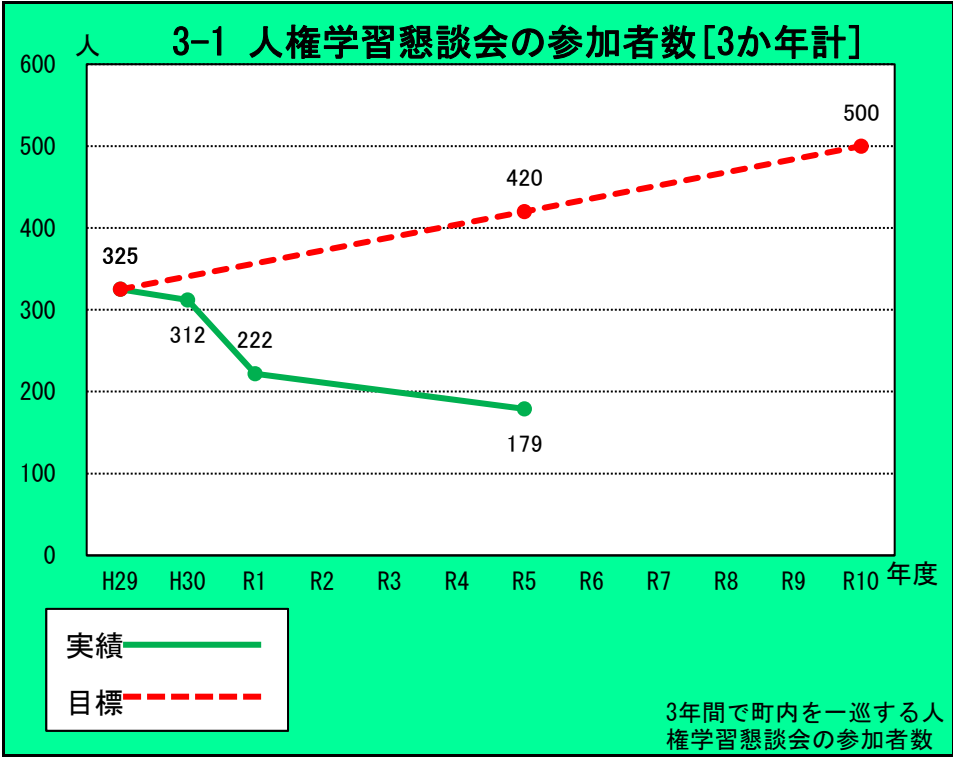
担当部署・指標管理責任者
総務部 政策推進課 課長 吉田 茂肇



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
20.4	↑	25.4	25.5%	40.0
H29年 (2017)	5.0 %	R5年 (2023)	5 10 年目	R10年 (2028)
進捗状況				
行政の透明性の向上と、民間によるデータの二次利用に資するため、「推奨データセット」を町公式サイトに掲載している。現在、国(デジタル庁)の見直しに対応した「自治体標準オープンデータセット」公開に向けて準備を進めているところである。 R6年度からは、音声読み上げや多言語翻訳ができる広報紙閲覧アプリ「カタログポケット」を新たに導入し、情報のバリアフリー化に取り組んでいる。				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(2) お互いを尊重するまちづくり
具体的施策	(3) 人権

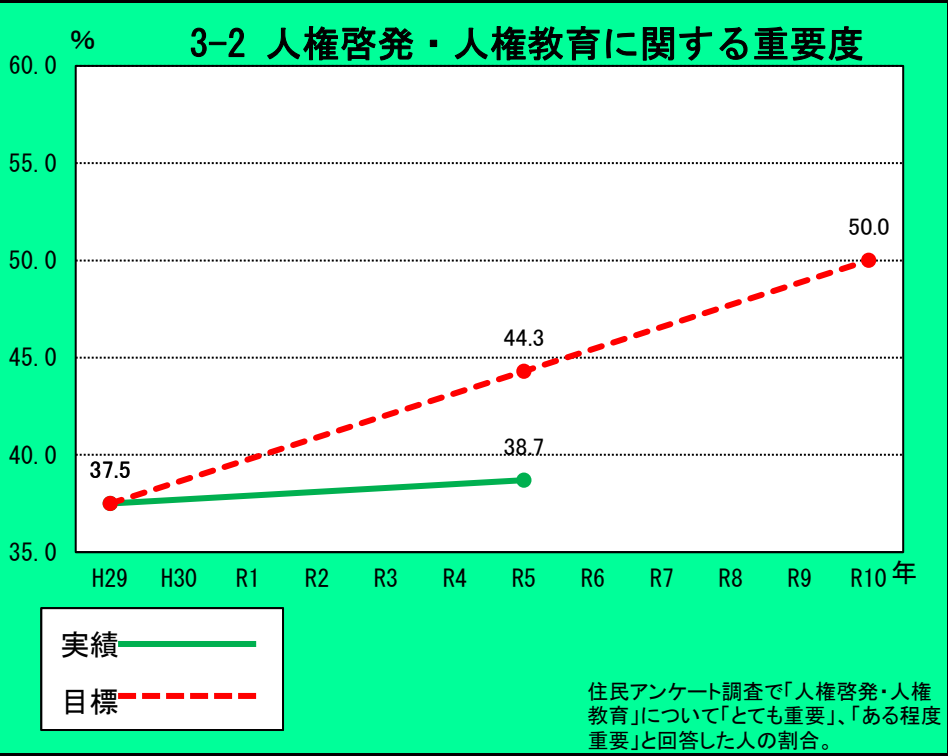
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 生涯学習課 課長 海原 崇人



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
325	↓	179	-83.4%	500
H29年度 (2017)	-146 人	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
コロナ禍により中止していた地区別の人権学習懇談会を4年ぶりに開催したが、住民の参加がかなり少ない状況で、年々減少している。 このような地域の方が集まりにくい社会情勢を踏まえ、今後は、これまでの地区別の開催から、各種団体などが集まる機会に出向いて実施する出前講座へ実施方法を見直し、多くの住民が人権課題に触れることができる機会を確保していく。				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(2) お互いを尊重するまちづくり
具体的施策	(3) 人権

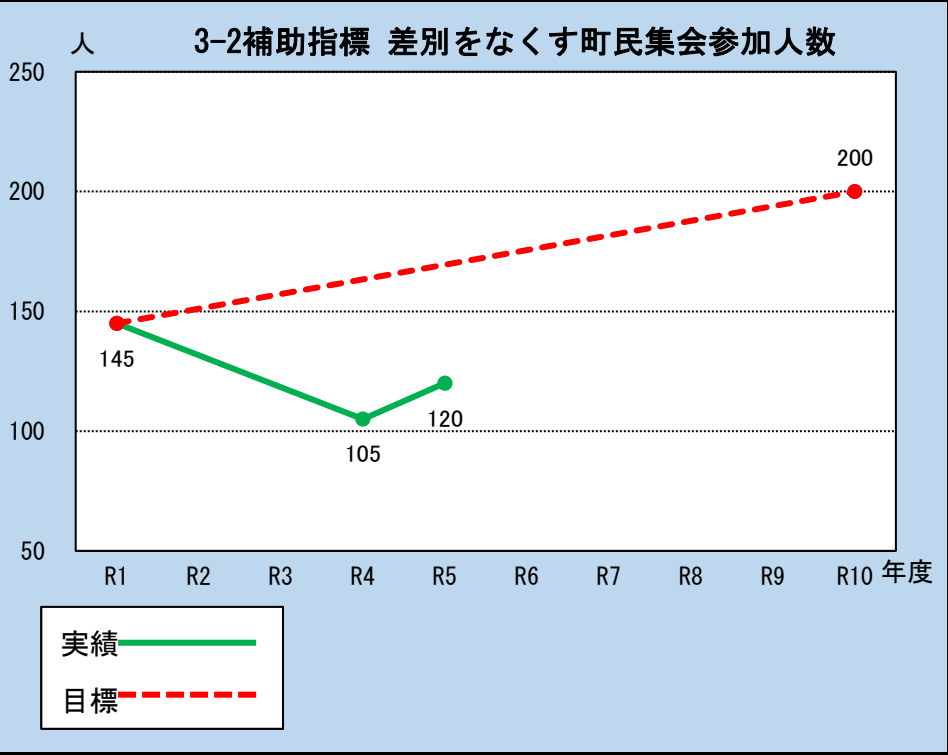
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 住民課 課長 成田 光大 教育総務部 生涯学習課 課長 海原 崇人



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
37.5	↑	38.7	9.6%	50.0
H29年 (2017)	1.2 %	R5年 (2023)	5 10 年目	R10年 (2028)
進捗状況				
人権啓発・人権教育の推進においては、住民一人ひとりが「差別は理由を問わず許されるものではなく、人権を尊重することが大切」という認識を深める必要があり、「家庭教育」「地域社会」「学校教育」のそれぞれにおいて、取組を実施する必要がある。 人権学習懇談会は、住民の参加が年々減少していることから、今後は、各種団体などが集まる機会に出向いて実施する出前講座へ実施方法を見直す。 なお、新たな取組として、すくすく広場などにおける若い世代の保護者への人権に関するパンフレットなどの配布や町公式LINEを活用した人権啓発、義務教育学校での子どもの発達段階に応じた人権尊重の心を育む教育などを実施していく。				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(2) お互いを尊重するまちづくり
具体的施策	(3) 人権

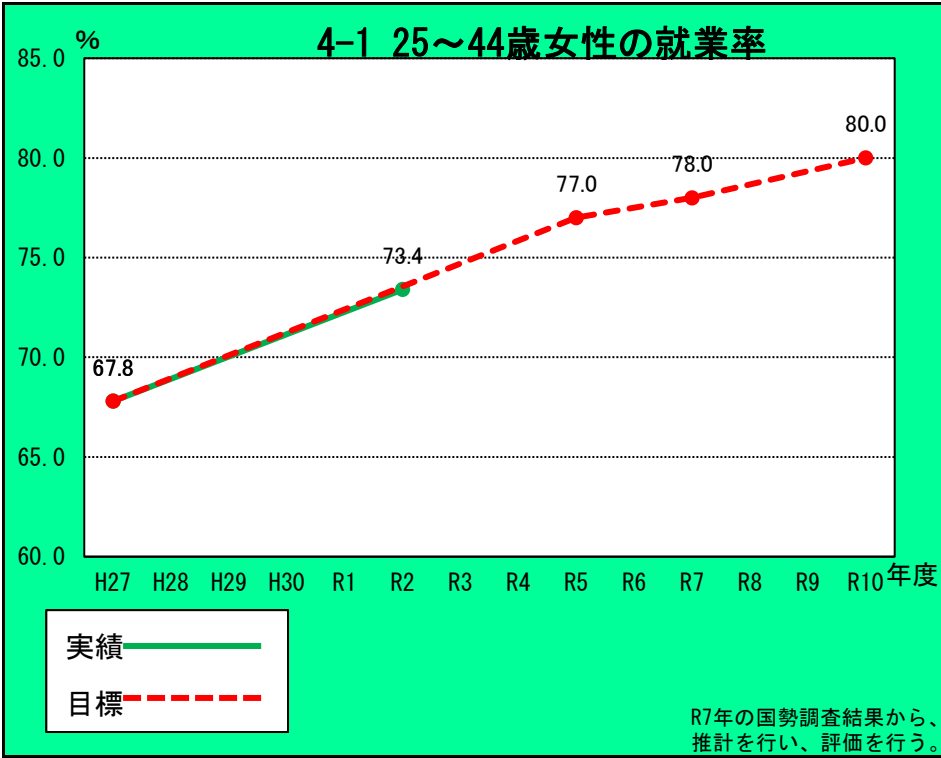
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 住民課 課長 成田 光大



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
145	↓	120	-45.5%	200
H29年度 (2017)	-25 人	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
「差別をなくす強調月間」の取組のひとつとして、あらゆる差別をなくすこと、人権を尊重する意識の向上を図ることを目的に、現代における差別をテーマとした講演を開催する。 講演のテーマにより、参加者人数は影響を受けるが、広報紙やホームページ以外にも町公式LINEで告知するとともに、テーマに関連する各種団体にも早期に案内を行うことで、参加人数の増加を図る。 ○講演内容 ・R5: 障がい福祉(当事者体験談等) ・R4: 男女共同参画(経営談等)				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(2) お互いを尊重するまちづくり
具体的施策	(4) 男女共同参画

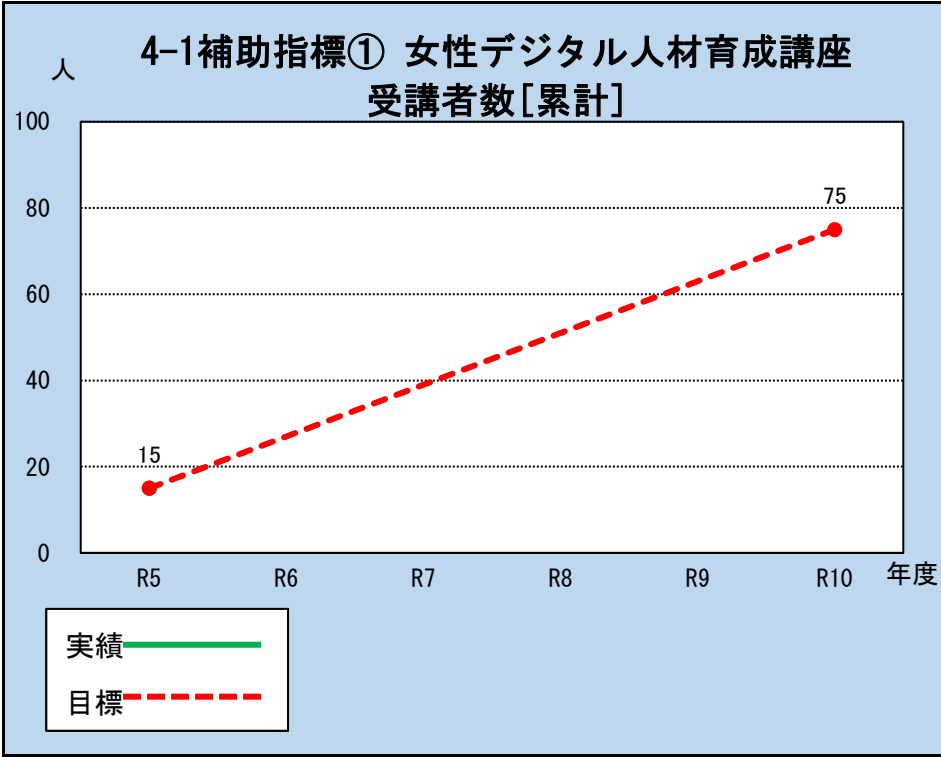
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 地域交流課 課長 片岡 篤



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
67.8	↑	73.4	45.9%	80.0
H29年度 (2017)	5.6 %	R2年度 (2020)	$\frac{2}{10}$ 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
「まっち☆ジョブ王寺～ハローワーク」による「就職支援セミナー」「就職面接会」、奈良県事業の「女性の再就職準備相談窓口」を開催し、町としてデジタル人材の育成事業（起業や再就職しやすい環境づくり・男女賃金格差・就職に直結するデジタルスキルの習得促進）の実施や女性活躍支援センター内に託児もできて多様な働き方のできる「ママスクエア」を誘致。 また、テレワーク施設「0-terrace」の誘致により、プログラム教室など民間活力による女性の就業、起業支援の拠点づくりに取り組んでいる。				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(2) お互いを尊重するまちづくり
具体的施策	(4) 男女共同参画

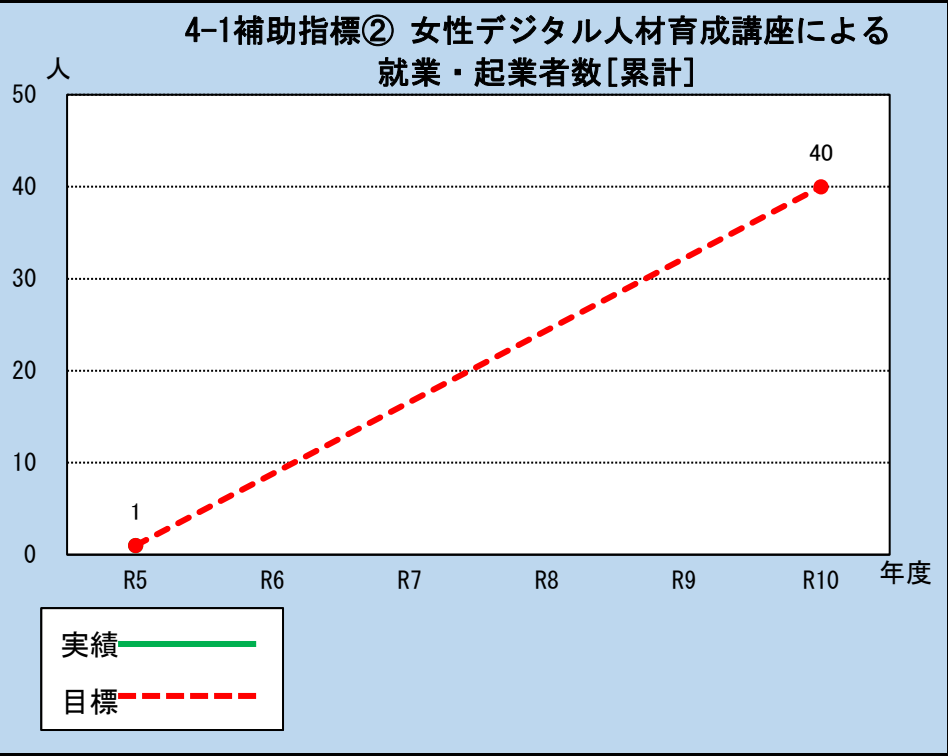
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 地域交流課 課長 片岡 篤



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
15	→	15	0.0%	75
R5年度 (2023)	0 人	R5年度 (2023)	$\frac{0}{5}$ 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
町としてデジタル人材の育成事業（起業や再就職しやすい環境づくり・男女賃金格差縮小・就職に直結するデジタルスキルの習得促進）を実施。 R6年度からは、様々なスキルの方に対応できるよう2コースに増設し、カリキュラムに職業体験を加えてブラッシュアップを図っている。 オンラインによる学び直し、聴覚障がい者への対応、企業とのビジネスマッチングを行って魅力を高め、受講者確保につなげている。				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(2) お互いを尊重するまちづくり
具体的施策	(4) 男女共同参画

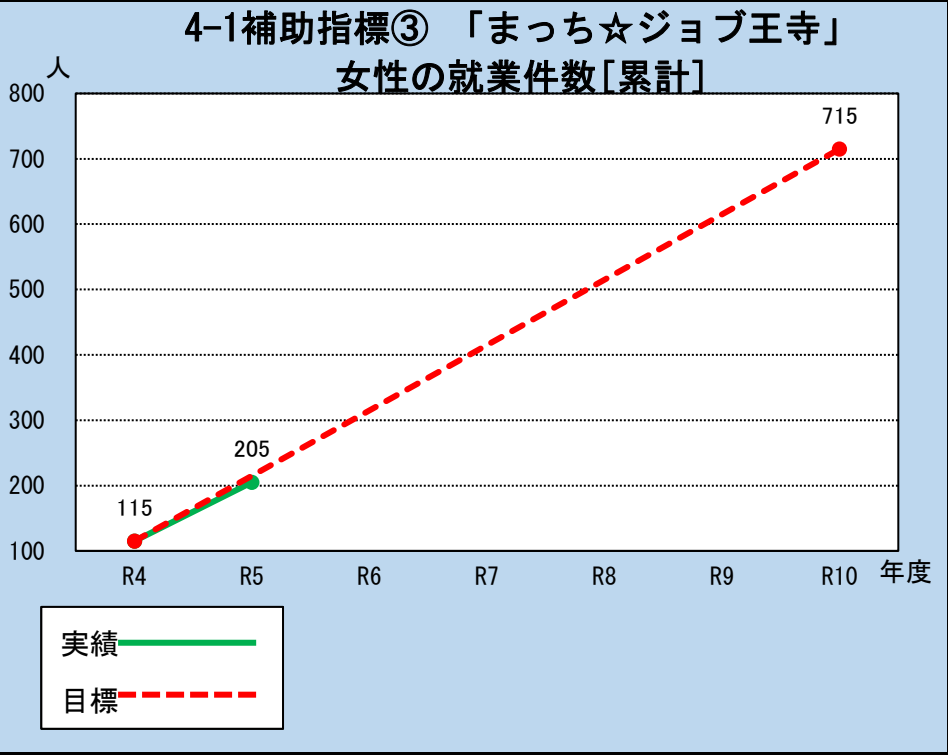
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 地域交流課 課長 片岡 篤



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
1	→	1	0.0%	40
R5年度 (2023)	0 人	R5年度 (2023)	$\frac{0}{5}$ 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
町としてデジタル人材の育成事業（起業や再就職しやすい環境づくり・男女賃金格差縮小・就職に直結するデジタルスキルの習得促進）を実施。 R6年度からは、様々なスキルの方に対応できるよう2コースに増設するとともに、実際の就業・起業につながるよう、カリキュラムにインターン（職業体験）や起業成功者との情報交換会を企画するほか、企業とのビジネスマッチングなども行う。労働局の合同企業説明会とインターンのリンクも行い、就業につなげたい。				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(2) お互いを尊重するまちづくり
具体的施策	(4) 男女共同参画

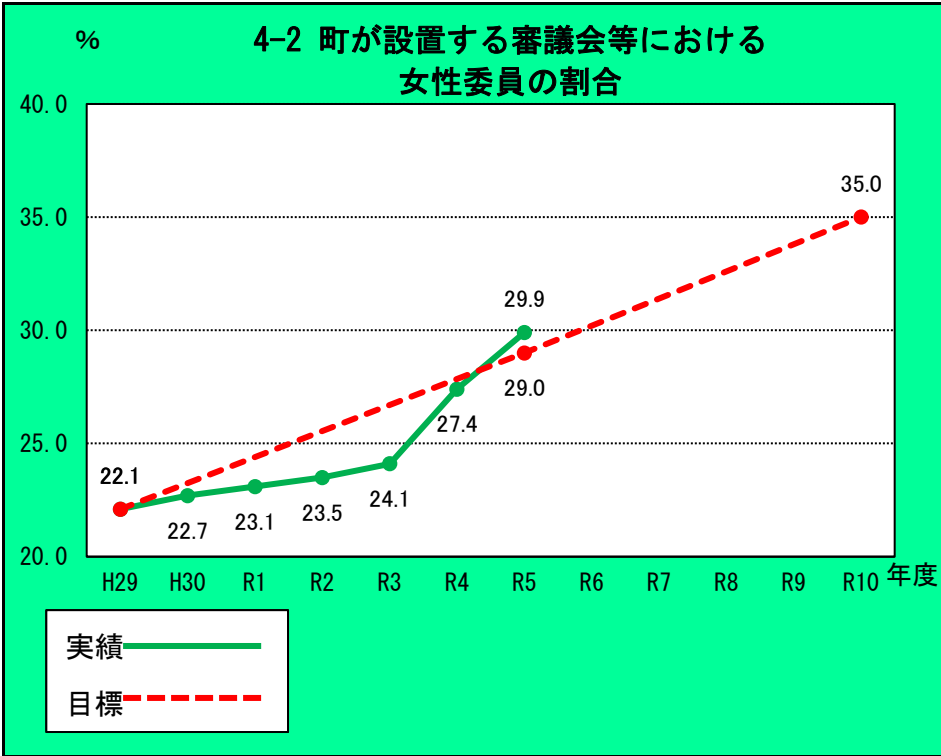
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 地域交流課 課長 片岡 篤



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
115	↗	205	15.0%	715
H29年度 (2017)	90 人	R5年度 (2023)	$\frac{0}{5}$ 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
「まっち☆ジョブ王寺～ハローワーク」による「就職支援セミナー」「就職面接会」、奈良県事業の「女性の再就職準備相談窓口」の町としてPRをしている。町としてはデジタル人材の育成事業（起業や再就職しやすい環境づくり・男女賃金格差・就職に直結するデジタルスキルの習得促進）を実施し、労働局との合同企業説明会とのリンクも行い、就業者増につながる取り組みを実施する。				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(2) お互いを尊重するまちづくり
具体的施策	(4) 男女共同参画

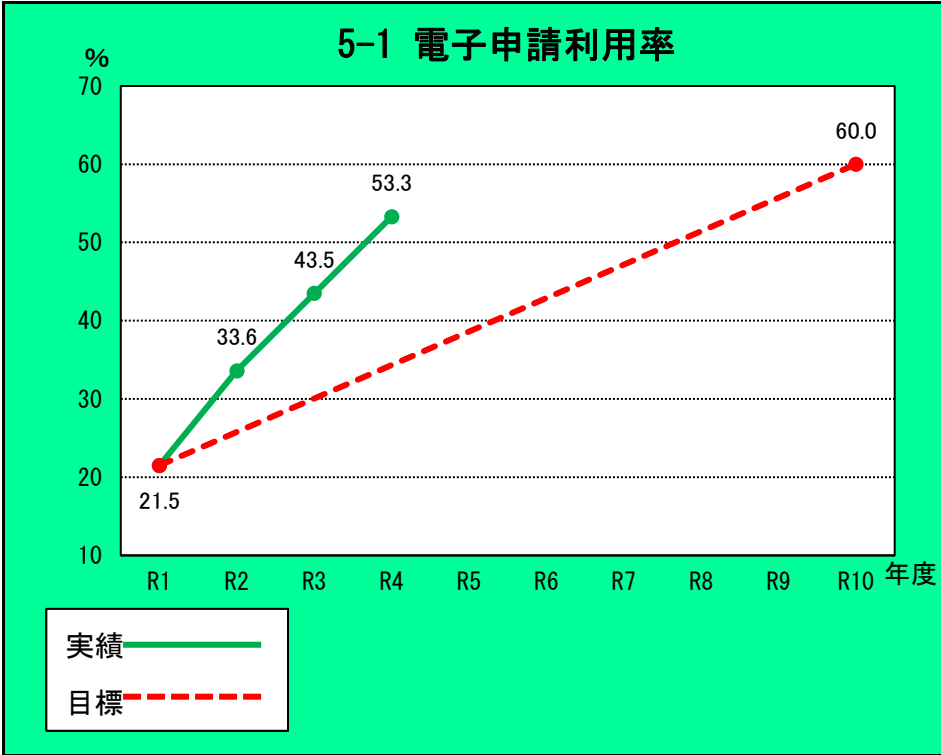
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 地域交流課 課長 片岡 篤



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
22.1	↑	29.9	60.5%	35.0
H29年度 (2017)	7.8 %	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
毎年4月に全庁的に町が設置する審議会等への女性登用について、男性の視点だけでなく女性の視点がどの分野にも必要であることの意識づけを行っている。 全庁的に男女共同参画計画の推進を図るための町内の組織として設置する王寺町男女共同参画推進会議においても、女性委員登用の推進を図っていく。				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(3) 健全で効率的な行財政運営
具体的施策	(5) 行政サービスの提供

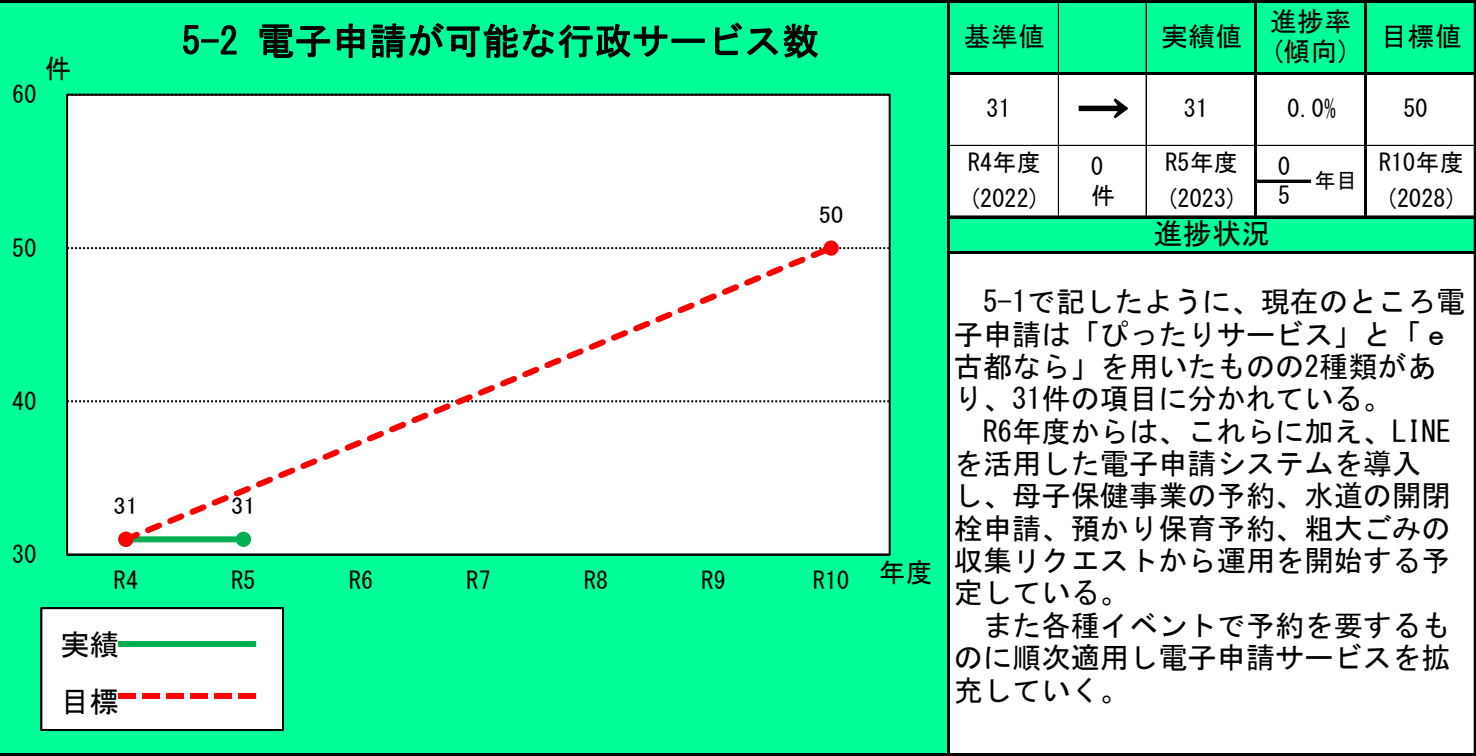
担当部署・指標管理責任者
総務部 DX推進室 課長 西口 浩美



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
21.5	↑	53.3	82.6%	60.0
R1年度 (2019)	31.8 %	R4年度 (2022)	4 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
電子申請は転出届や介護関連手続等、国が構築・運営している「ぴったリサービス」を用いたものと、奈良県が構築・運営している「e古都なら」を用いた「施設予約の電子申請システム」の2種類がある。 このうち施設予約に関しては、予約可能時間の拡大や、施設の窓口にタブレット端末を設置し利用者への操作説明を行った結果、電子申請の利用率が順調に上昇してきた。 R6年度からは、これらの電子申請システムに加え、LINEを活用した電子申請システムを町独自に導入し、母子保健事業等での運用を予定している。このことにより更なる電子申請の利用率を促進していく。				

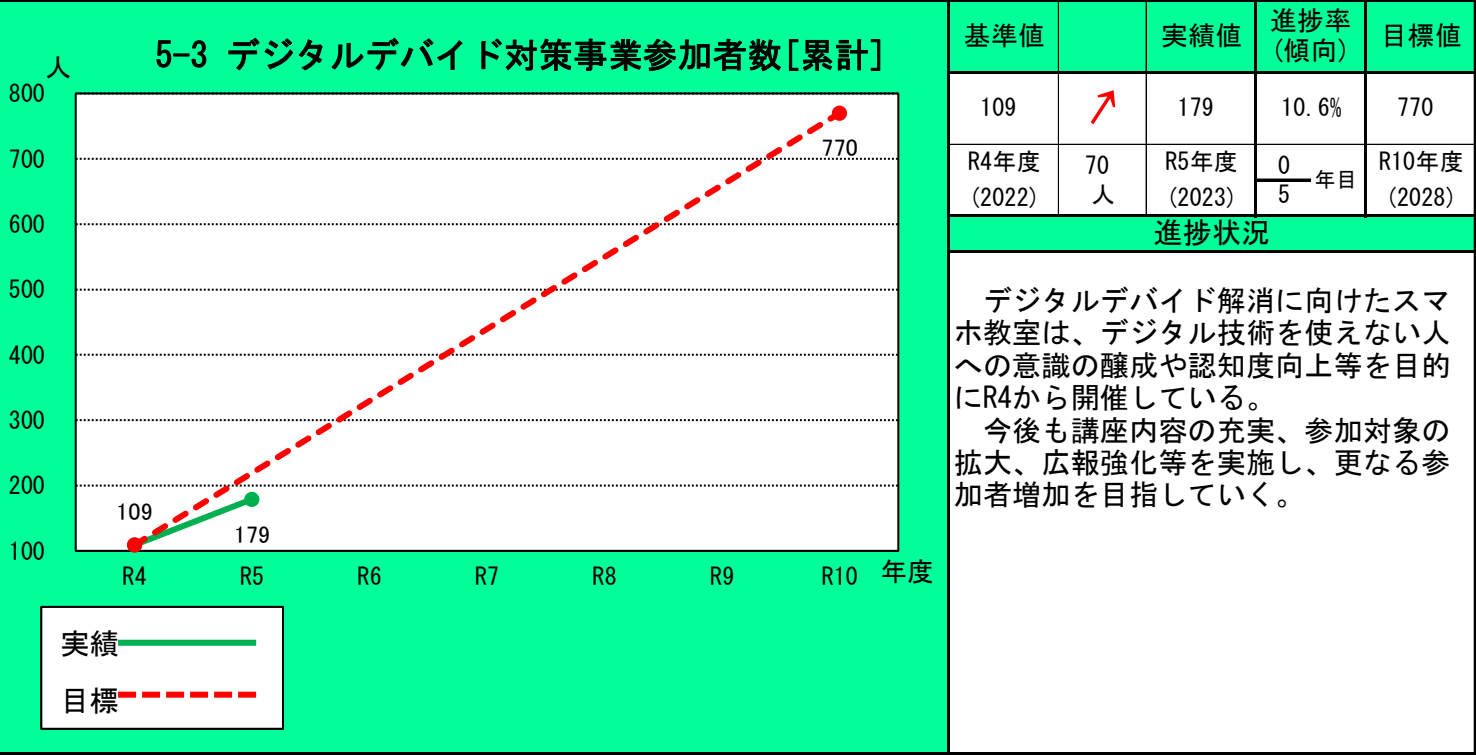
基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(3) 健全で効率的な行財政運営
具体的施策	(5) 行政サービスの提供

担当部署・指標管理責任者
総務部 DX推進室 課長 西口 浩美



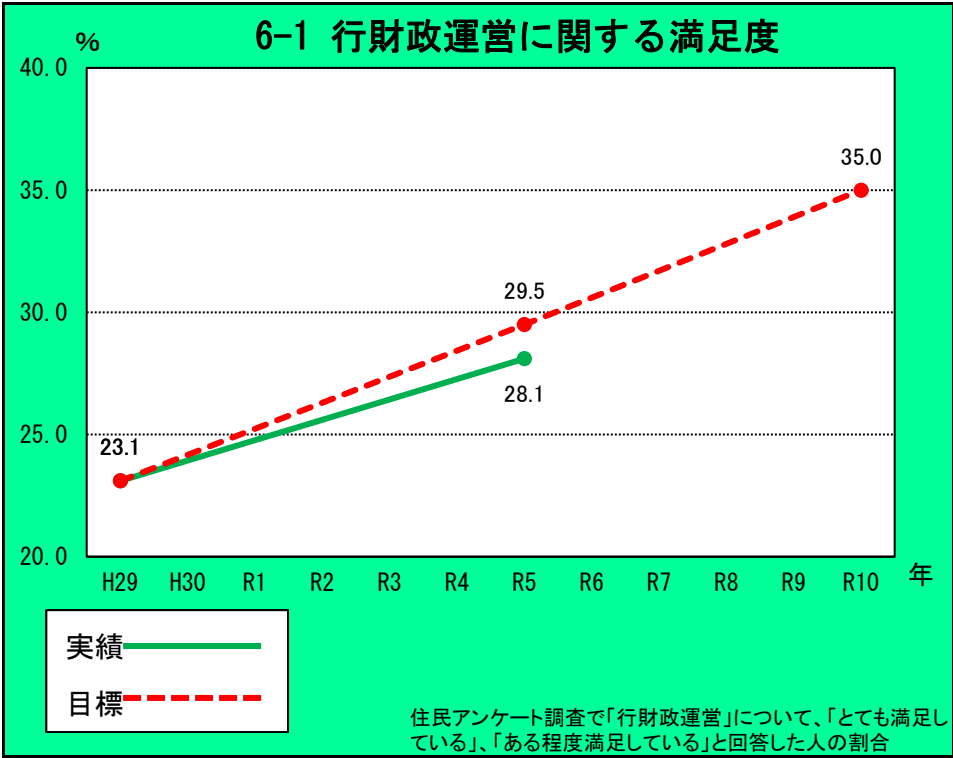
基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(3) 健全で効率的な行財政運営
具体的施策	(5) 行政サービスの提供

担当部署・指標管理責任者
総務部 DX推進室 課長 西口 浩美



基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(3) 健全で効率的な行財政運営
具体的施策	(6) 行政経営

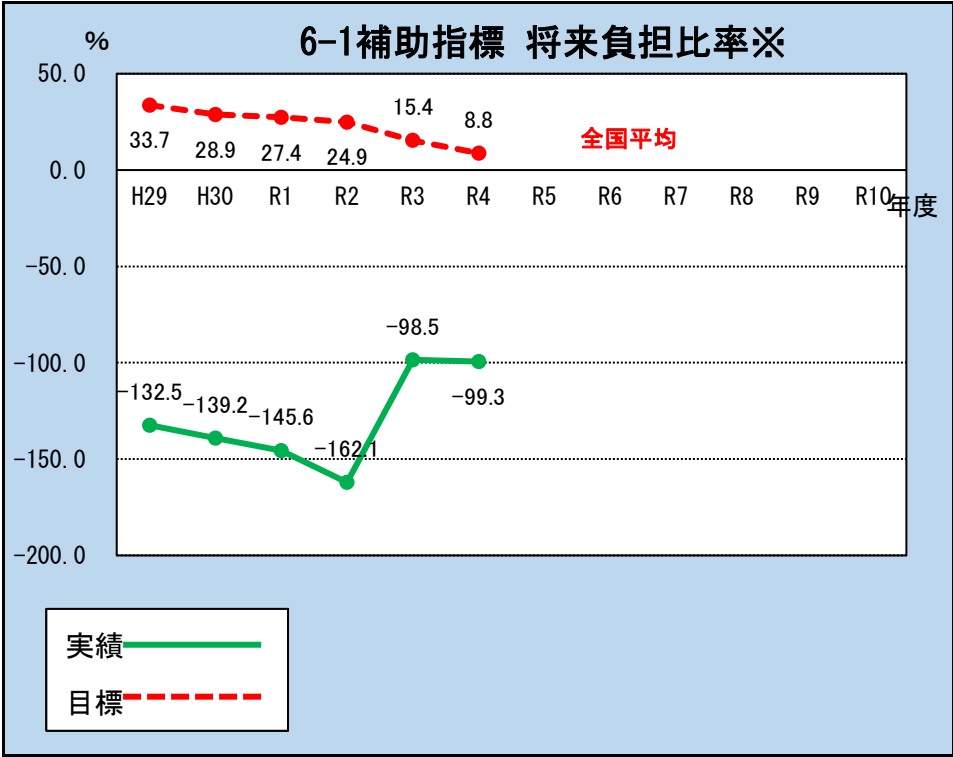
担当部署・指標管理責任者
総務部 政策推進課 課長 吉田 茂肇



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
23.1	↑	28.1	42.0%	35.0
H29年 (2017)	5.0 %	R5年 (2023)	5 10 年目	R10年 (2028)
進捗状況				
自主財源の確保として、ふるさと納税を推進しており、R5年度の寄付額は66,029千円と、前年度比108%(R4年度61,358千円)の伸びとなった。引き続き、返礼品を充実するなど、多角的な財源の確保を図る。 また、R5年4月から「DX推進室」を設けるとともに、国の地方創生人材支援制度を活用して専門的なデジタル知識・能力を有する「デジタル人材」の登用によりシステムの標準化やオンライン化だけでなく、町独自の事務効率化や住民サービス向上のためのデジタル化を推進する。				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(3) 健全で効率的な行財政運営
具体的施策	(6) 行政経営

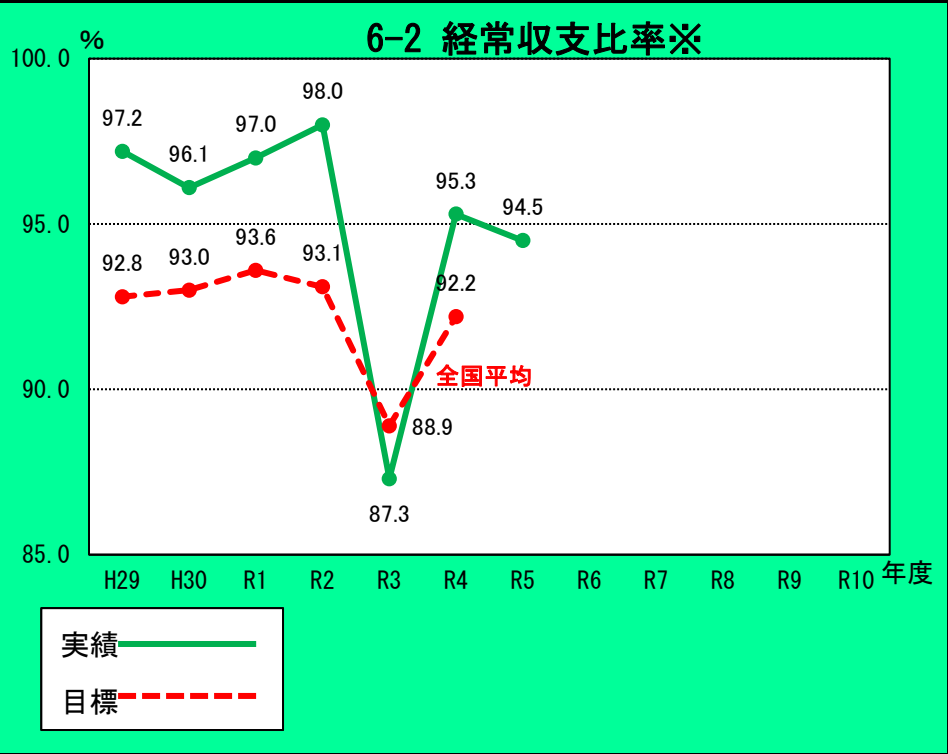
担当部署・指標管理責任者
総務部 政策推進課 課長 吉田 茂肇



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
8.8 全国平均	↓	-99.3	—	全国平均 以下
R4年度 (2022)	-108.1 %	R4年度 (2022)	4 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
本町の将来負担比率は、全国平均よりも大幅に健全な数値となっている。 将来負担比率が健全な数値であることは一定の安心材料とはなるが、義務教育学校の建設などによる起債残高の増による将来的な公債費負担の増などに対応するため、引き続き健全な財政運営に傾注するとともに、効率的な公共サービスの提供を維持していく。				
※は数値が低い方が良くなる指標です。				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(3) 健全で効率的な行財政運営
具体的施策	(6) 行政経営

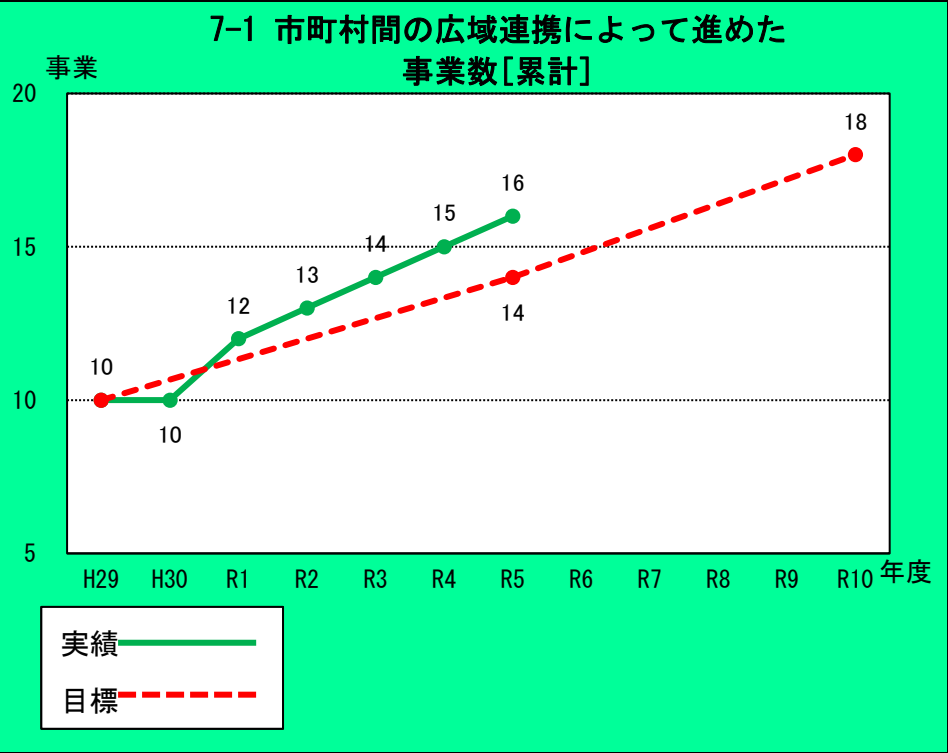
担当部署・指標管理責任者
総務部 政策推進課 課長 吉田 茂肇



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
92.2 全国平均	↑	95.3	96.7%	全国平均 以下
R4年度 (2022)	3.1 %	R4年度 (2022)	4 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R3年度の本町の経常収支比率は、国の臨時経済対策に伴う交付税の追加交付や臨時財政対策債の一時的な増により極端に改善している。 しかしながら、公債費や社会保障関連費等の義務的経費はR2年度よりも増加しており、引き続きふるさと納税等による財源確保とともに、経常経費削減を意識した予算編成、スクラップ&ビルドによる事業の見直し及び業務の効率化を図っていく。				
※は数値が低い方が良くなる指標です。				

基本目標	1 住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(3) 健全で効率的な行財政運営
具体的施策	(7) 広域連携

担当部署・指標管理責任者
総務部 秘書人事課 課長 川中 孝茂



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
10	↑	16	75.0%	18
H29年度 (2017)	6 事業	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R3年度は、聖徳太子ゆかりの大和郡山市、生駒郡の近隣6市町と2企業が連携して観光客誘致に取り組む「WEST NARA広域観光推進協議会」(地域DMO)が発足。 R4年度は、中和・西和の7市町が連携し、公共施設相互利用の実証実験に向けた協定を締結した。 R5年度には鉄道遺構など近代化遺産の価値や魅力を広く一般的に普及するための活動を行う「全国近代化遺産活用連絡協議会」に加盟した。 今後も引き続き発災時の相互支援や観光振興に関する連携など、R10年度の目標値達成に向け、行政課題に応じた市町村間の広域連携を進めて行く。				

2 快適で暮らしやすいまちづくり

数値目標

2(1) 人口の社会増（転入者数－転出者数）

K P I

具体的施策8 土地利用

- 8-1 「王寺町立地適正化計画」において王寺駅周辺区域に立地誘導を図っている都市機能誘導施設
- 8-2 町東部の市街化調整区域のうち、都市的な土地利用の割合

具体的施策9 住宅環境

- 9-1 戸建て空き家の数
- 9-2 住宅の耐震化率

具体的施策10 上下水道

- 10-1 管の直径250mm以上の基幹配水管路の耐震化率
- 10-2 下水道水洗化率

具体的施策11 道路

- 11-1 都市計画道路の整備率
- 11-2 生活道路の整備に関する満足度
- 11-2 補助指標 道路維持補修に関する住民要望対応率

具体的施策12 公共交通

- 12-1 公共交通の整備に関する満足度
- 12-1 補助指標 国道168号の拡幅に伴う新規バス停上屋設置件数[累計]
- 12-2 畠田駅～馬見丘陵公園へのバスの路線数[累計]

具体的施策13 環境保全

- 13-1 C C C活動参加団体数
- 13-2 クリーンキャンペーン1回当たりの産業廃棄物発生量

具体的施策14 循環型社会

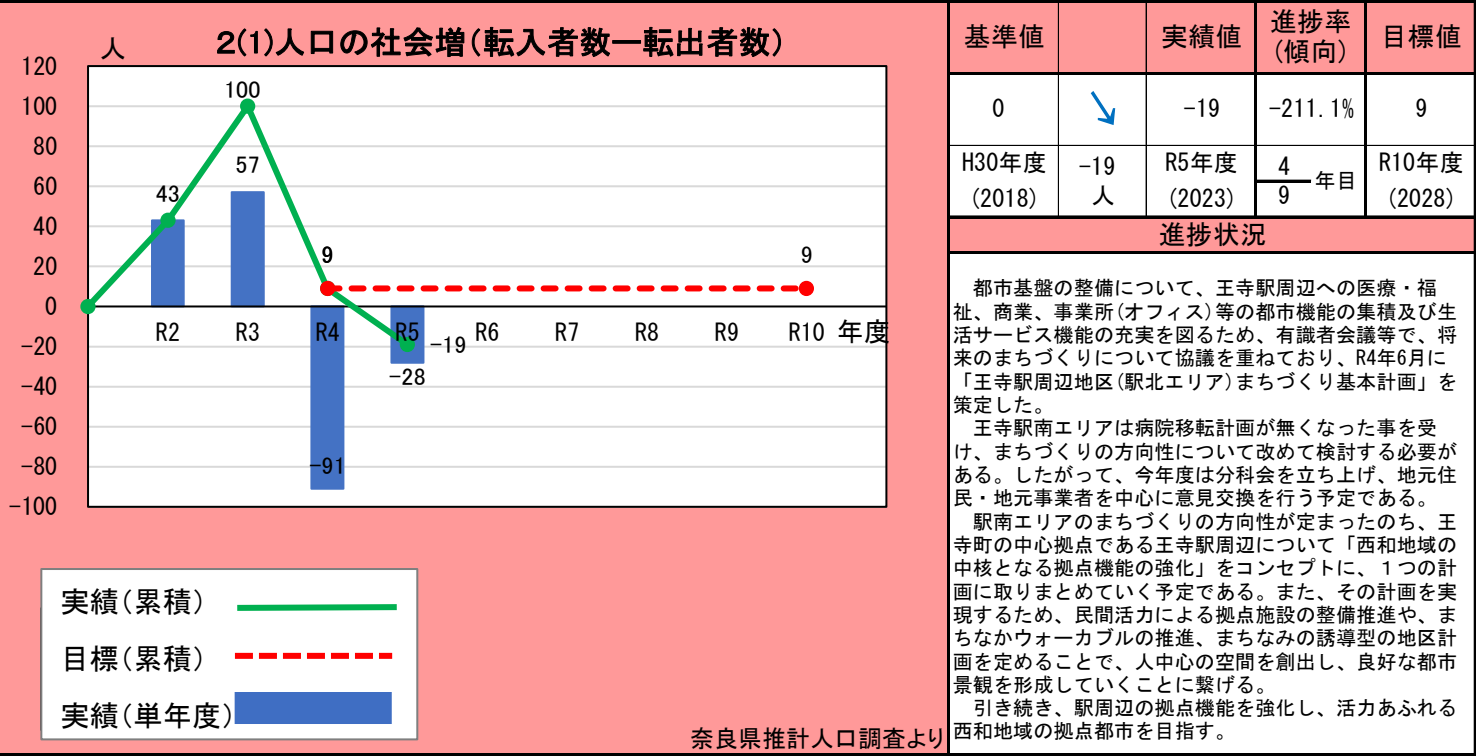
- 14-1 一般家庭における1人1日当たりの可燃ごみ排出量
- 14-2 ごみのリサイクル率

具体的施策15 都市景観

- 15-1 都市景観に関する満足度
- 15-1 補助指標 戸建て空き家の数【9-1再掲】
- 15-2 国道168号の無電柱化延長

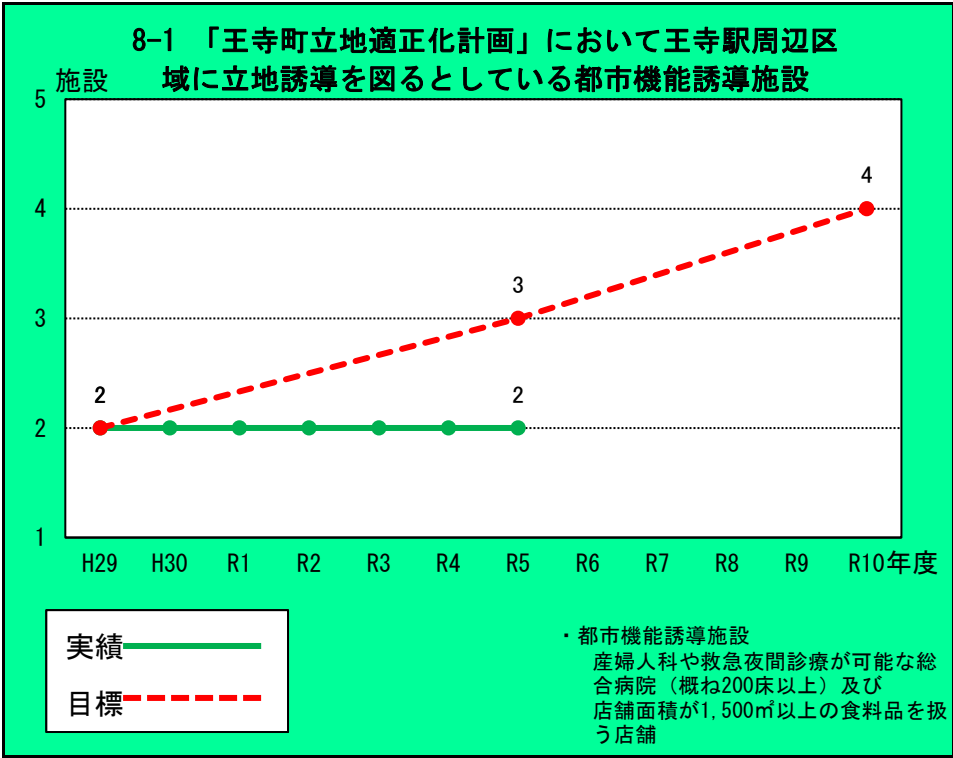
数値目標

基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり	担当部署・指標管理責任者
	都市基盤の整備、環境や景観への配慮により、快適に暮らし続けられる町をつくる	
		王寺町理事 小林 秀禎



基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(4) 都市基盤の充実
具体的施策	(8) 土地利用

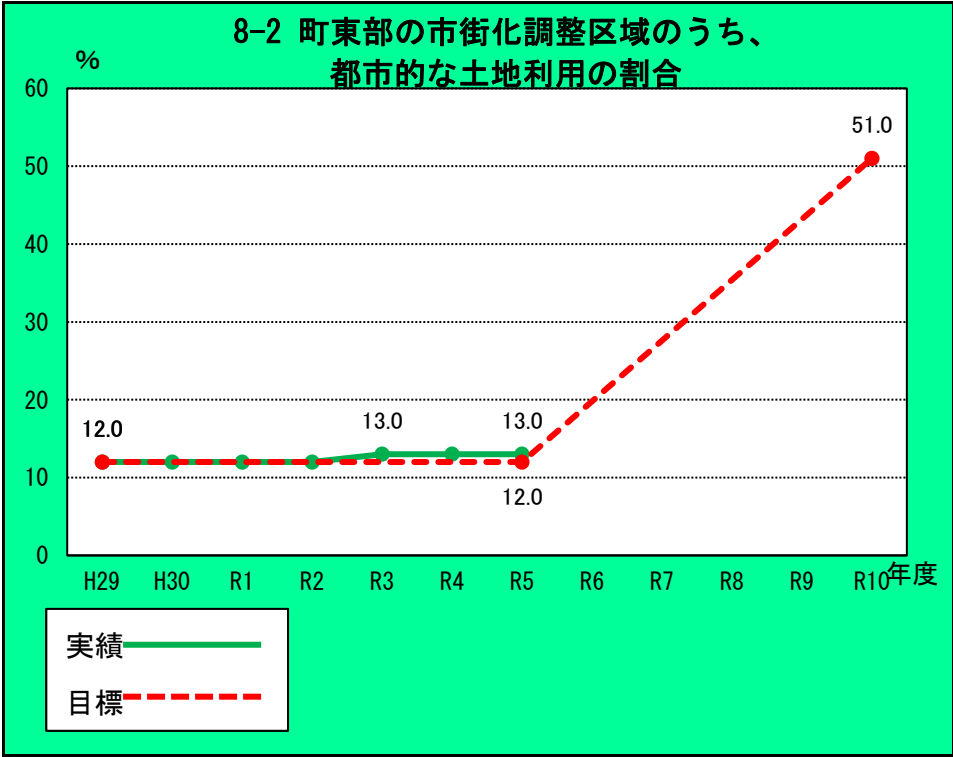
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 まちづくり推進課 課長 植村 哲史



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
2	→	2	0.0%	4
H29年度 (2017)	0 施設	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R5年度末において、王寺駅周辺の都市機能誘導区域には店舗面積が1,500㎡以上の食料品を扱う店舗が2店舗（西友王寺店、スーパーヤオヒコ王寺駅前店）存在する。 都市機能誘導施設については、駅周辺地区のまちづくりと連動して進めていくことで目標達成に向けた可能性が高まる。そのため、R6年度から地元自治会との話し合いを始め、町の中心拠点である王寺駅に相応しい都市機能誘導施設を見極めていく。 また、R6年度には「王寺町立地適正化計画の見直し」を実施し、都市機能誘導施設の更新・見直しを行う予定。				

基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(4) 都市基盤の充実
具体的施策	(8) 土地利用

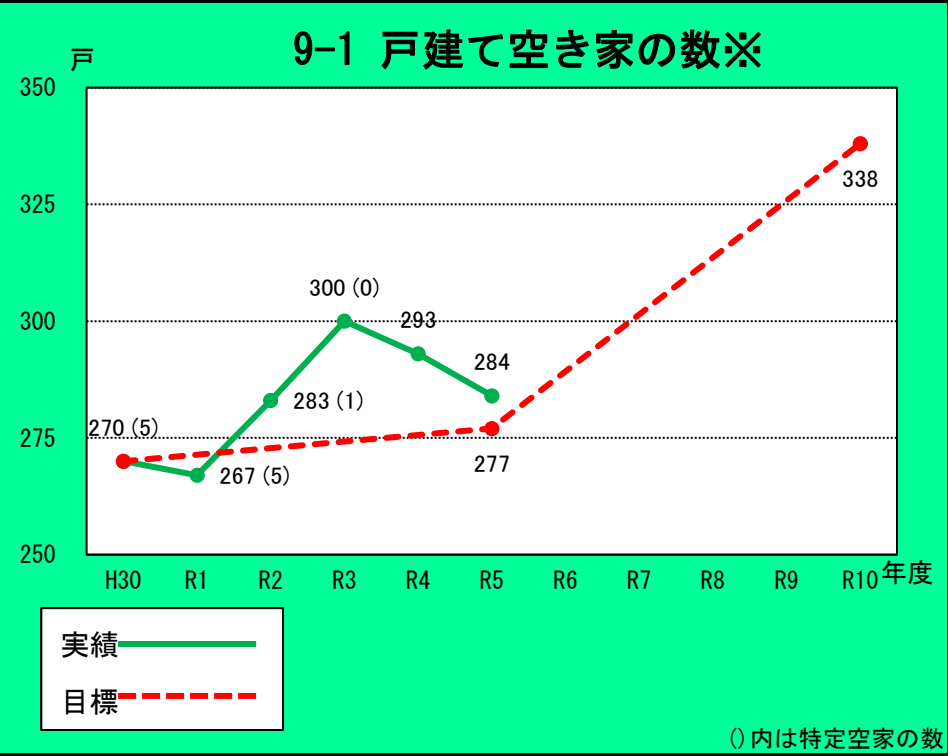
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 都市計画課 課長 西村 幸晃



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
12.0	↑	13.0	2.6%	51.0
H29年度 (2017)	1.0 %	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
国道168号整備事業に伴う事業所移転として1件の開発があった。 今後も同様に公共事業に伴う移転開発の可能性もあり得るが、市街化区域への編入に関して検討を進める。 なお、R5年度に1件の開発許可申請があり、現在県にて審査中である。				

基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(4) 都市基盤の充実
具体的施策	(9) 住宅環境

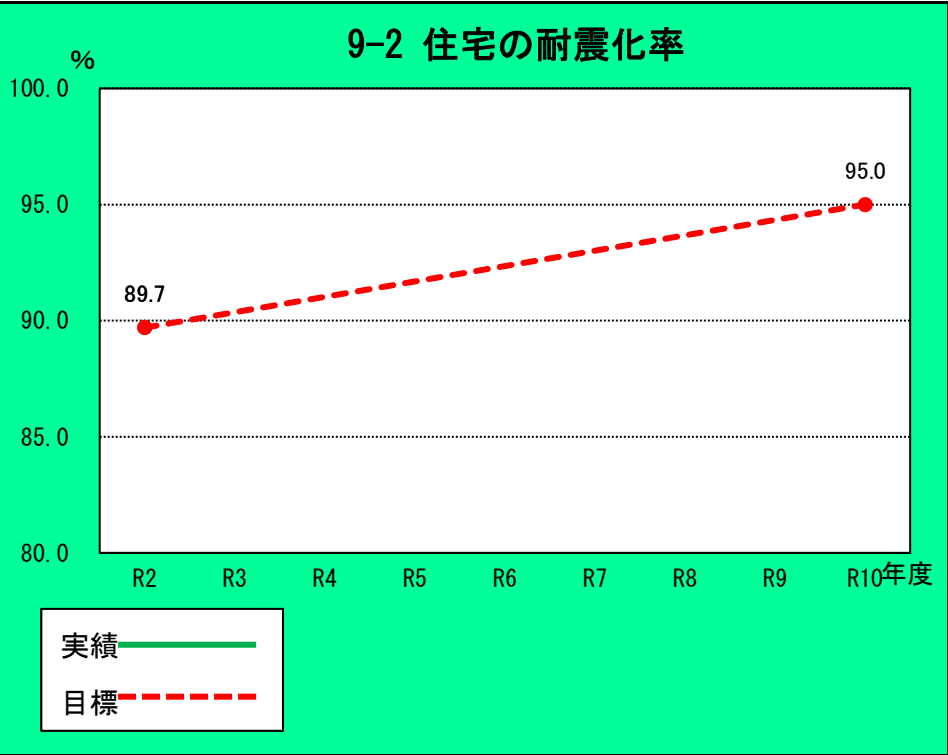
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 まちづくり推進課 課長 植村 哲史



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
270	↓	284	—	338
H29年度 (2017)	14 戸	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
管理に問題がある空家等の所有者等に対して、H28年から法に基づき行政指導を行い、概ね半数の物件が改善された。 H29年から毎年、町の空き家対策制度をまとめたリーフレットを作成・配布し、不動産所有者等に空家化防止の対策を講じている。H30から町独自で実施している「空き家の除却補助制度」は多くの実績があり、R5年度も9件の空き家が除却された。(6件/年) 活用可能な空き家については「空き家・空き地バンク」への登録を所有者へ促しており、今までで数件の成約があった。 このように、町の空き家対策としては、空き家の段階に応じた対策を実施しており、今後もこれらの事業を継続し、空き家増加の歯止めとなるよう努めていく。				
※は数値が低い方が良くなる指標です。				

基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(4) 都市基盤の充実
具体的施策	(9) 住宅環境

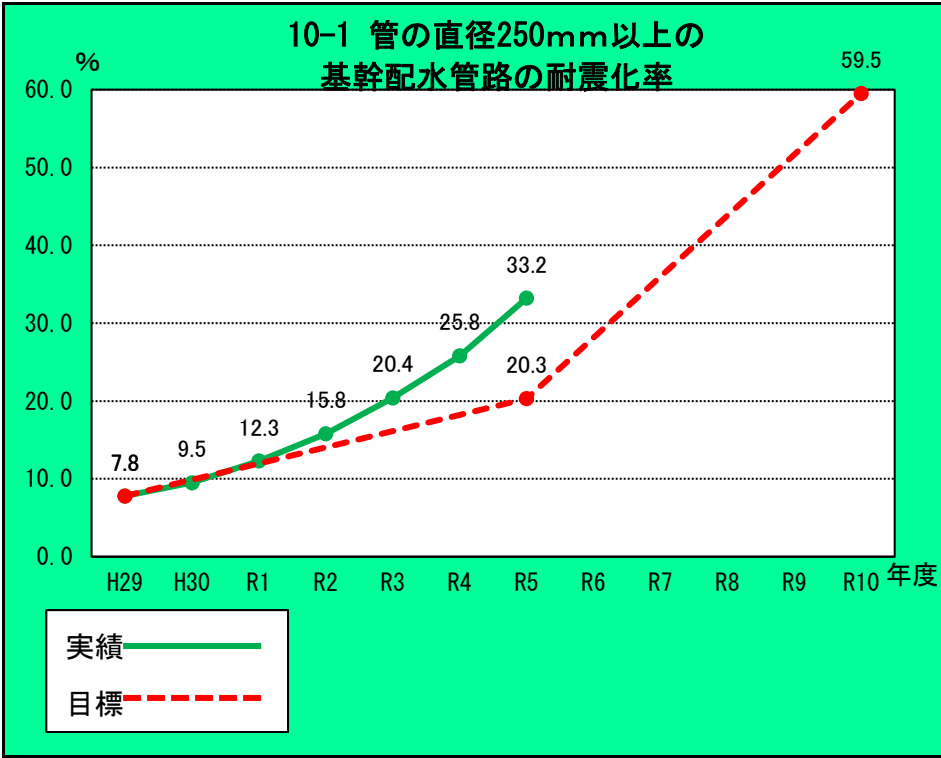
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 まちづくり推進課 課長 植村 哲史



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
89.7	→	89.7	0.0%	95.0
R2年度 (2020)	0 %	R2年度 (2020)	0 5 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
【町の耐震化事業】 ・木造住宅の耐震診断（無料） ・特殊建築物の耐震診断 ・耐震改修工事・耐震シェルター設置補助金 ・ブロック塀撤去補助金 ・耐震フォーラムの開催（参加無料） ・耐震化促進リーフレットを作成・配布 町では上記の耐震化事業を「王寺町耐震改修促進計画」に基づき実施している。R5年度に実施した耐震フォーラム及び電話相談会では、12件の参加があり、うち3件については耐震診断を実施された。 また、R5年には、過去に耐震診断を実施した方に耐震化への動向についてヒアリングを行い、家屋の耐震化を促した。 居宅を所有する者の高齢化と耐震改修費用の高騰が、耐震化が進まない原因となっている。				

基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(4) 都市基盤の充実
具体的施策	(10) 上下水道

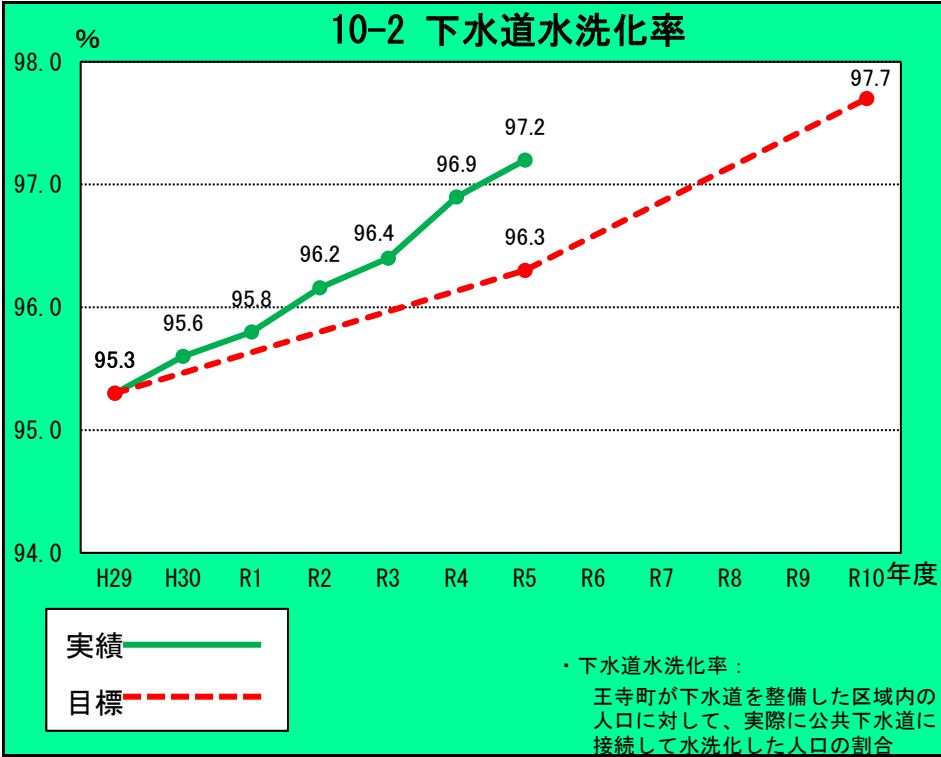
担当部署・指標管理責任者
水道部 上下水道課 課長 木下 秀紀



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
7.8	↑	33.2	49.1%	59.5
H29年度 (2017)	25.4 %	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
県内水道事業の統合を前に、留保資金を活用しながら水道配水管の耐用年数である40年を経過している老朽管のうち、管径250mm以上の基幹管路を中心に更新ペースを上げて耐震管への布設替えを実施している。 ○更新実績（管径250mm以上） H30年度 工事延長 L=260m R1年度 工事延長 L=410m R2年度 工事延長 L=510m R3年度 工事延長 L=665m R4年度 工事延長 L=795m R5年度 工事延長 L=1,081m ※管径250mm以上総延長 L=14,643m				

基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(4) 都市基盤の充実
具体的施策	(10) 上下水道

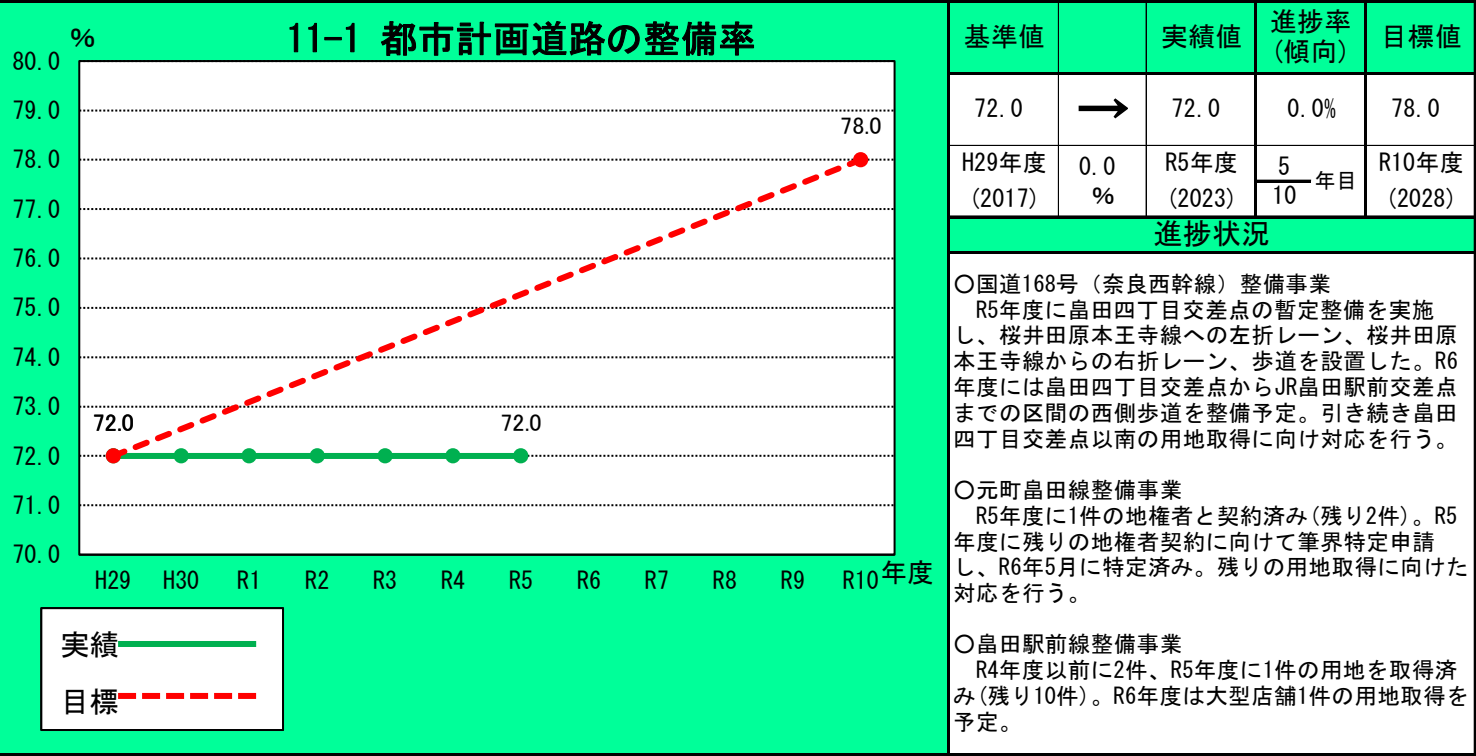
担当部署・指標管理責任者
水道部 上下水道課 課長 木下 秀紀



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
95.3	↑	97.2	79.2%	97.7
H29年度 (2017)	1.9 %	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
町公式サイトを通じた水洗化に関する啓発のほか、公共下水道への未接続者に対する個別訪問を継続的に実施しており、R5年度末時点での下水道水洗化率は97.21%となりR5年度の目標値を上回った。 今後も公共下水道への接続啓発を行い、R10年度の目標値である97.7%の早期達成を目指す。				

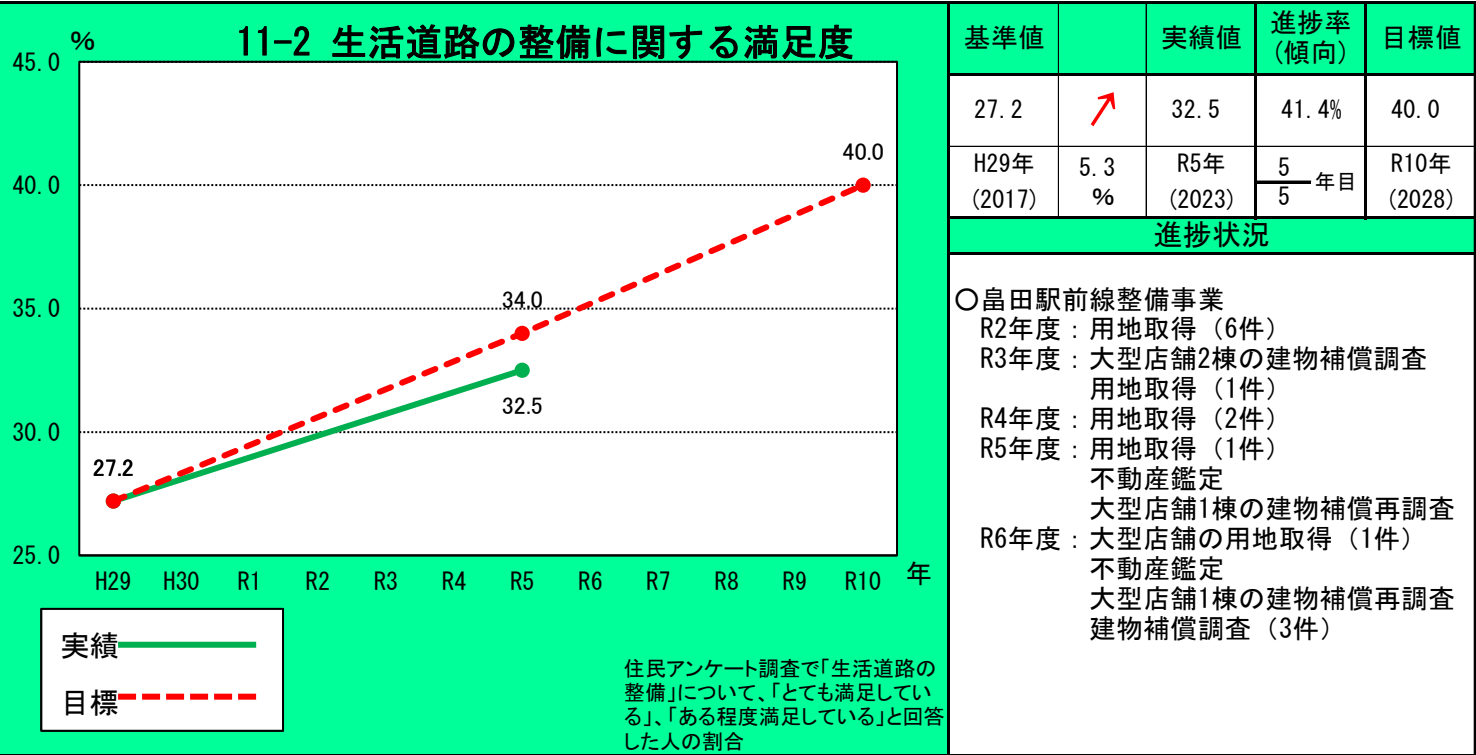
基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(5) 交通ネットワークの整備
具体的施策	(11) 道路

担当部署・指標管理責任者
地域整備部 都市計画課 課長 西村 幸晃



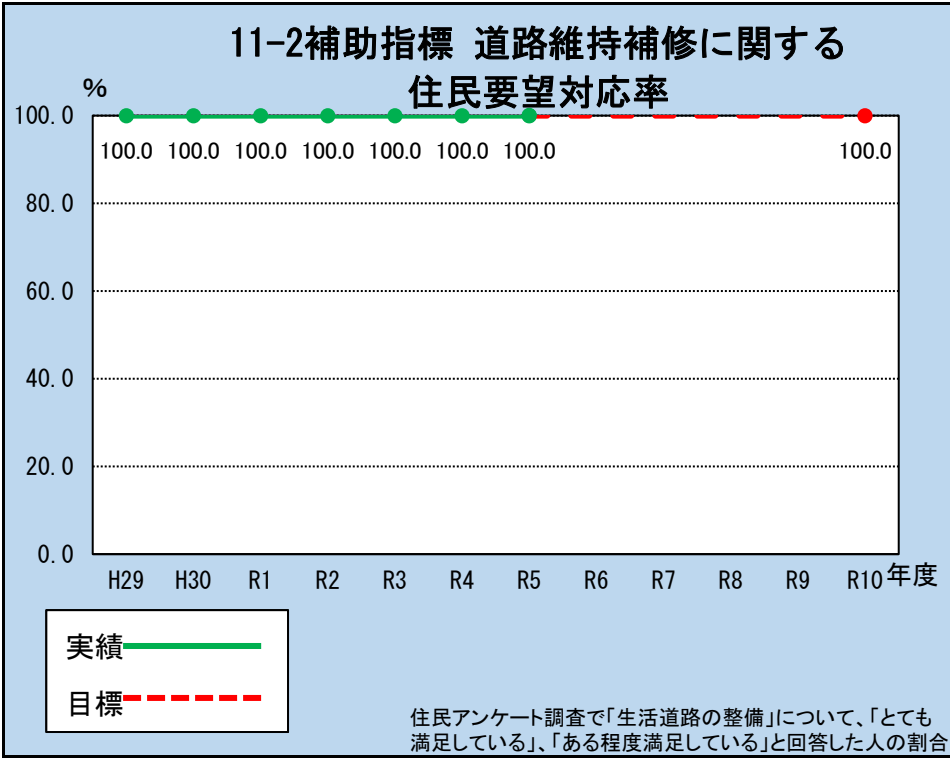
基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(5) 交通ネットワークの整備
具体的施策	(11) 道路

担当部署・指標管理責任者
地域整備部 都市計画課 課長 西村 幸晃



基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(5) 交通ネットワークの整備
具体的施策	(11) 道路

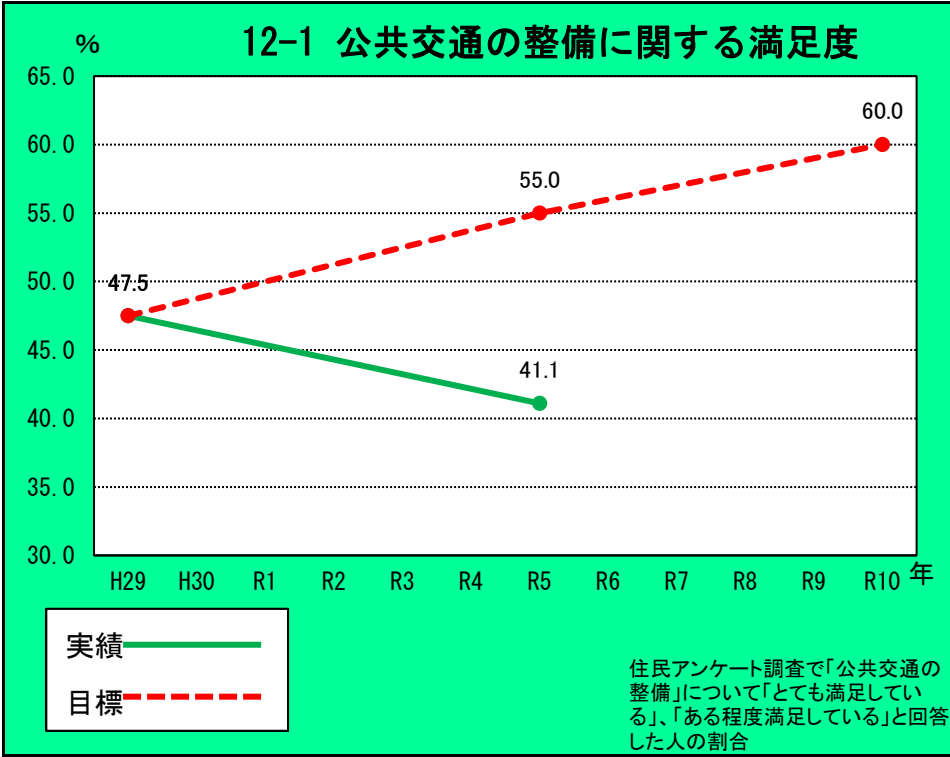
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 建設課 課長 池島 知



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
100.0	→	100.0	100.0%	100.0
H29年度 (2017)	0.0 %	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
町内土木要望工事については、すべて完了済。				

基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(5) 交通ネットワークの整備
具体的施策	(12) 公共交通

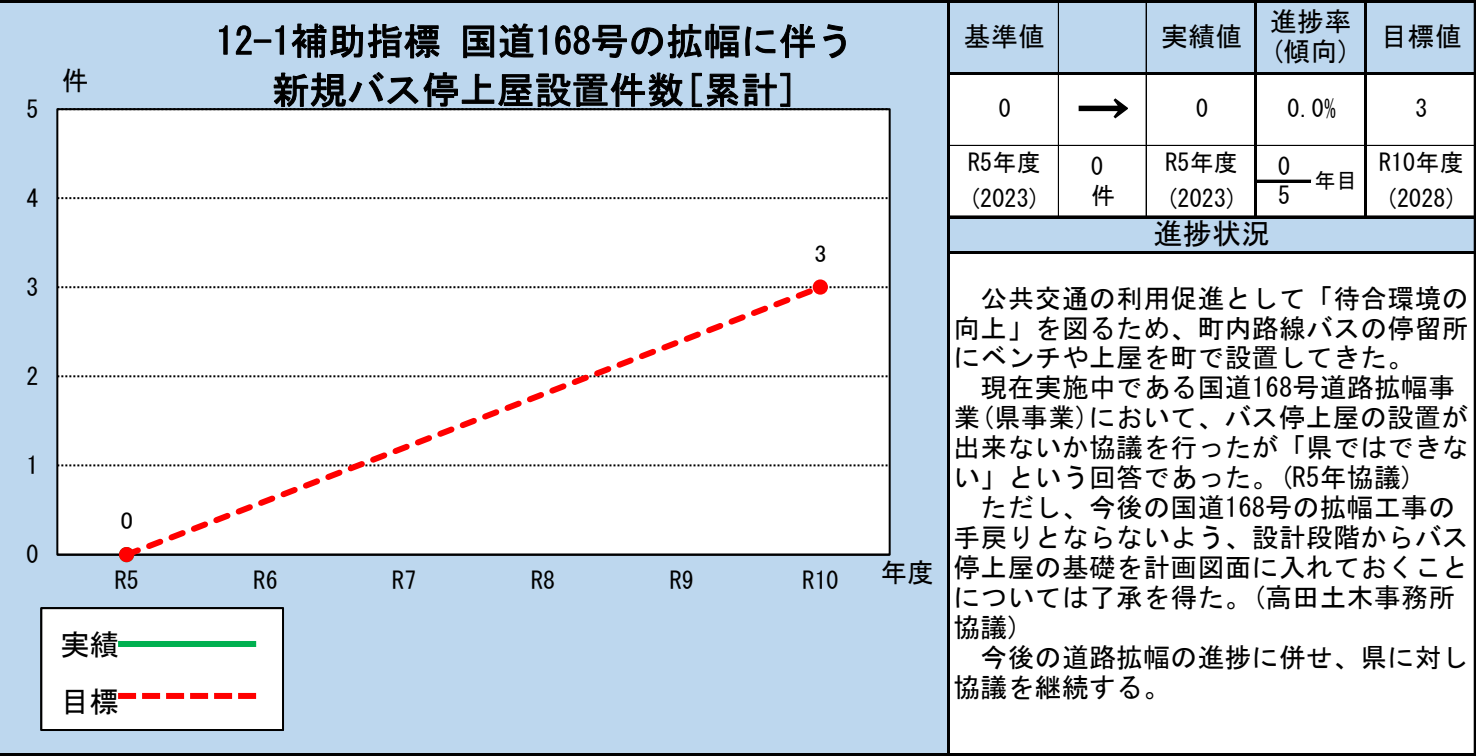
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 まちづくり推進課 課長 植村 哲史



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
47.5	↓	41.1	-51.2%	60.0
H29年 (2017)	-6.4 %	R5年 (2023)	5 10 年目	R10年 (2028)
進捗状況				
王寺町は鉄道のまちとして栄え、鉄道や路線バスといった公共交通が近隣市町より充実している。しかし、昨今ではコロナ禍による外出抑制で交通事業者の業績悪化が進んだ結果、全国と同様に「運賃値上げ・減便→利用者減」の負のスパイラルが起きている。また、最近の物価上昇が交通事業者へ追い打ちをかけている。 そのため、王寺町ではR4年から地域の公共交通であるタクシー事業者に対し燃料費の補助を実施している。(路線バスは県域の公共交通であるため県が実施) 町は、今ある「公共交通サービス」が今後も継続するよう、交通事業者と共に公共交通の利用を促進していく。				

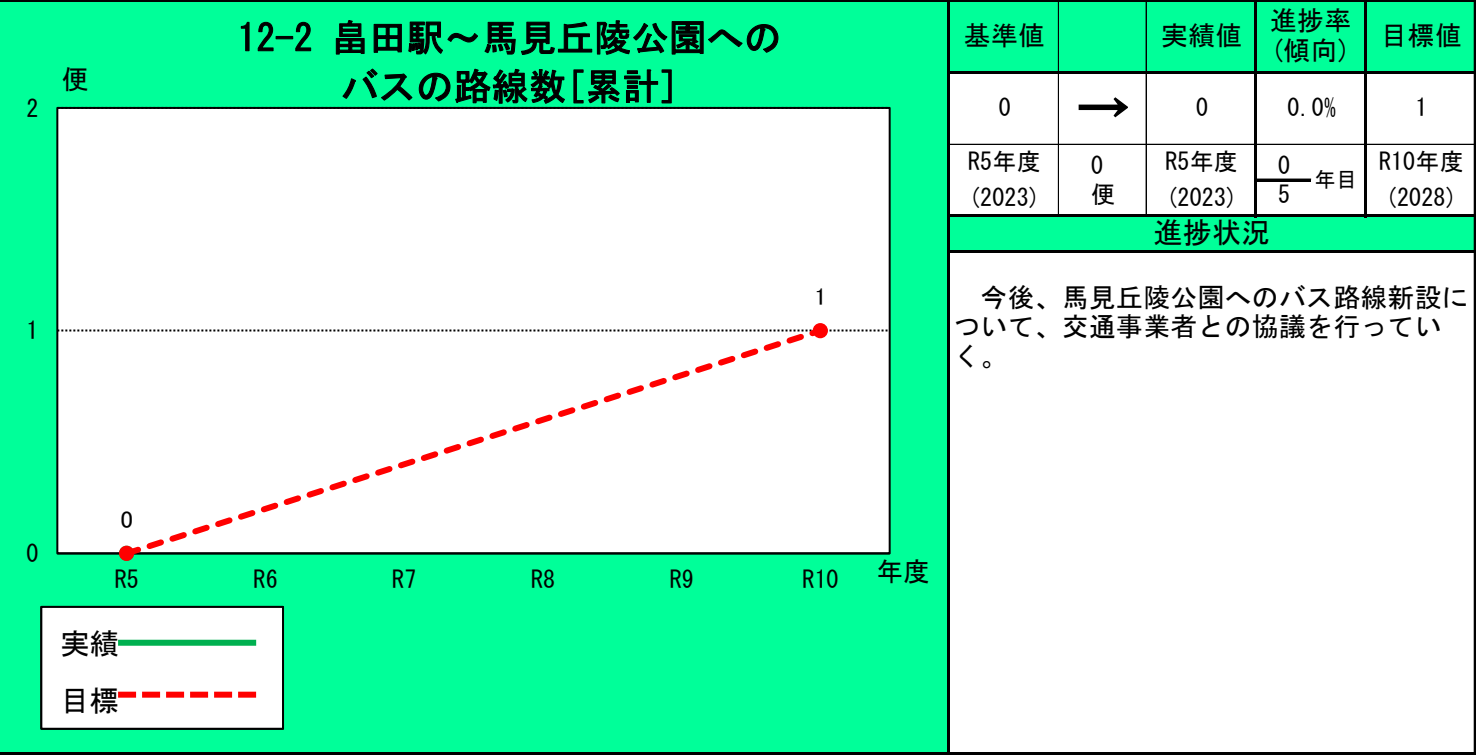
基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(5) 交通ネットワークの整備
具体的施策	(12) 公共交通

担当部署・指標管理責任者
地域整備部 まちづくり推進課 課長 植村 哲史



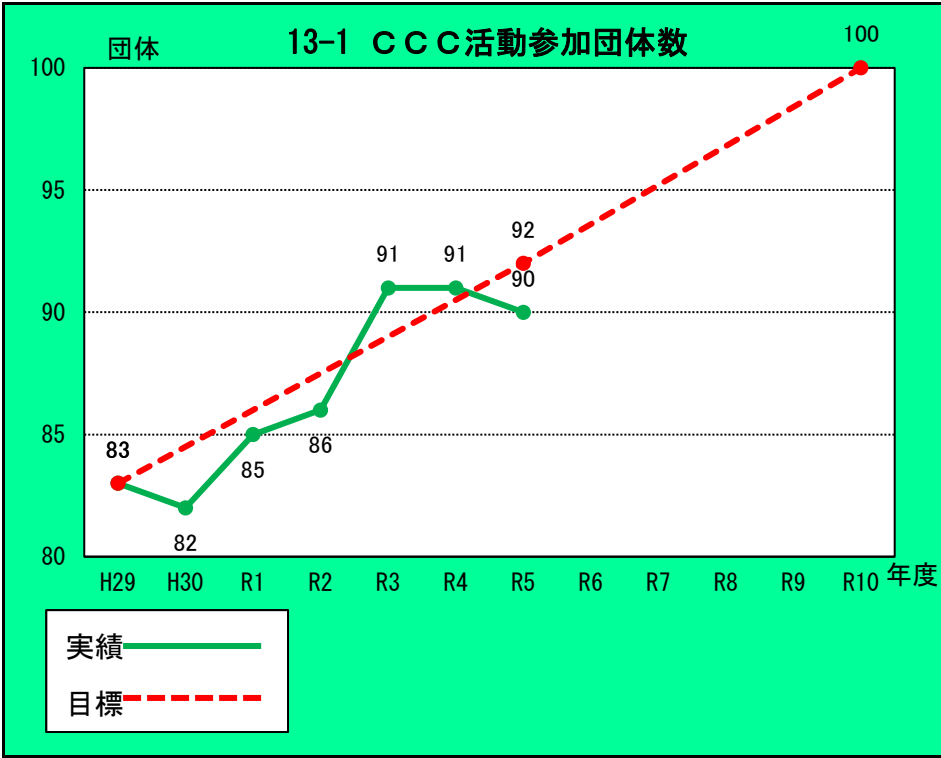
基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(5) 交通ネットワークの整備
具体的施策	(12) 公共交通

担当部署・指標管理責任者
地域整備部 まちづくり推進課 課長 植村 哲史



基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(6) 環境への配慮
具体的施策	(13) 環境保全

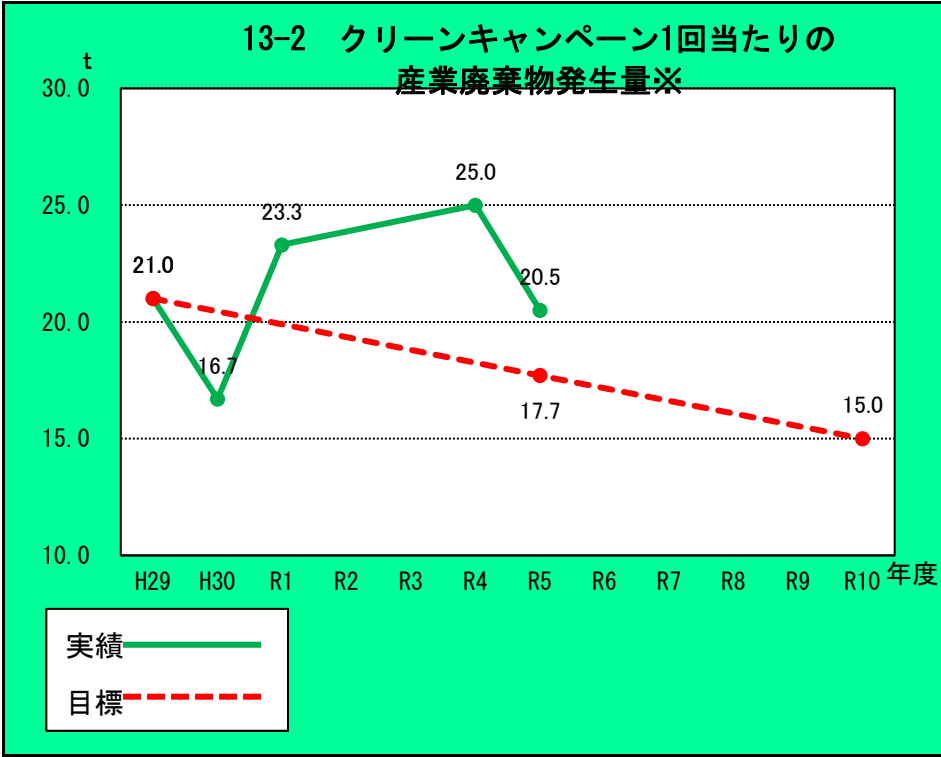
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 住民課 課長 成田 光大



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
83	↑	90	41.2%	100
H29年度 (2017)	7 団体	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R5年度のC C C団体数は、R4年度より1団体減少。コロナ禍となったR3年度より、ほぼ横ばいの状態が続いている。 あらためてC C C活動の目的、補助制度及び活動状況を知っていただくための広報を行い、町内の団体や企業からの新規参加を促進する。 〇C C C活動延べ人数 ・ R5年度 21,546人 (R4年度 21,875人)				

基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(6) 環境への配慮
具体的施策	(13) 環境保全

担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 住民課 課長 成田 光大

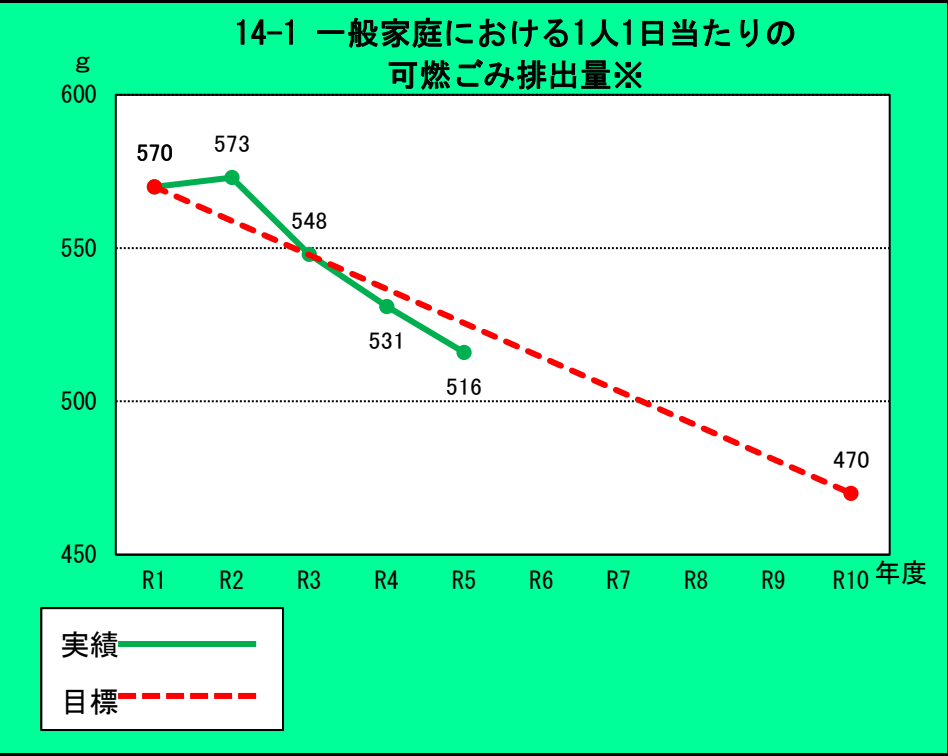


基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
21.0	↓	20.5	8.3%	15.0
H29年度 (2017)	-0.5 t	R5年度 (2025)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R5年度は年4回のクリーンキャンペーンを全て開催しており、開催当日に回収した産業廃棄物の総量は、2回開催であったR4年度を上回っているものの、開催1回当たりの回収量は減少した。 〇R5年度クリーンキャンペーン ・ 実施回数 4回 (R4年度 2回) ・ 産業廃棄物発生量 82 t (R4年度 50 t)				

※は数値が低い方が良くなる指標です。

基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(6) 環境への配慮
具体的施策	(14) 循環型社会

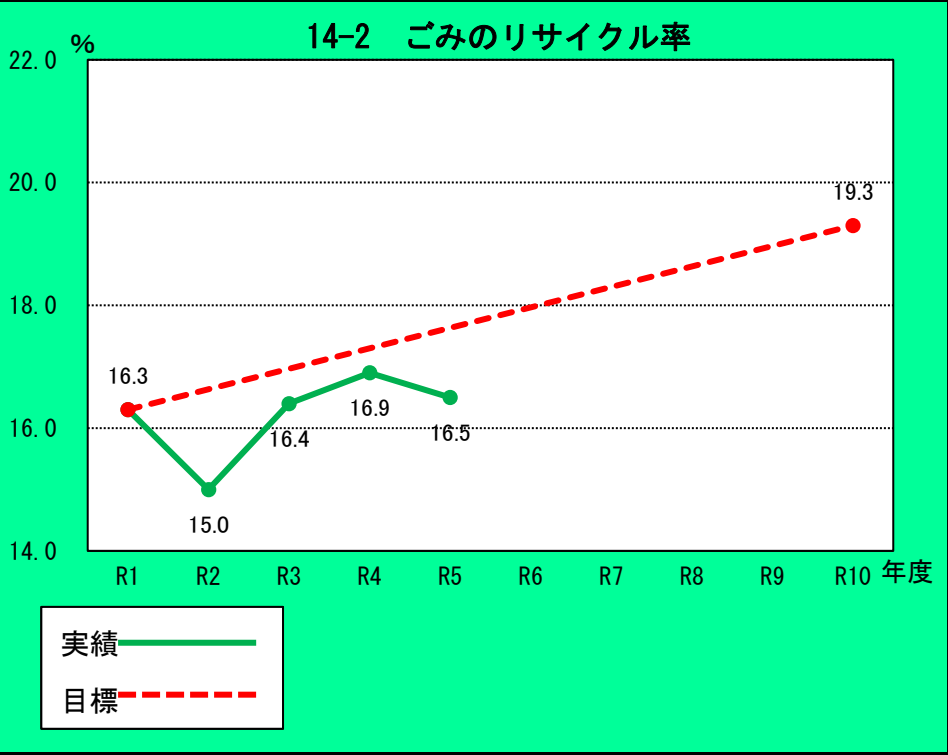
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 住民課 課長 成田 光大



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
570	↓	516	54.0%	470
R1年度 (2019)	-54 g	R5年度 (2023)	5/10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R3年11月よりスタートした「王寺町ごみ減量化プロジェクト」では、その取組として、雑がみ回収袋の全戸配布を行うほか、R4年4月には町内4カ所に資源ごみ回収ステーションを設置した。 その結果、家庭から出る可燃ごみ1人1日当たりの排出量は、R5年度でプロジェクト開始前より54 g 減少している。 R6年度では、再度、雑がみ回収袋を全戸配布する予定で、今後もプロジェクトの目標でもある「可燃ごみ1人1日当たりマイナス100 g」の達成に向けた取組を進める。				
※は数値が低い方が良くなる指標です。				

基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(6) 環境への配慮
具体的施策	(14) 循環型社会

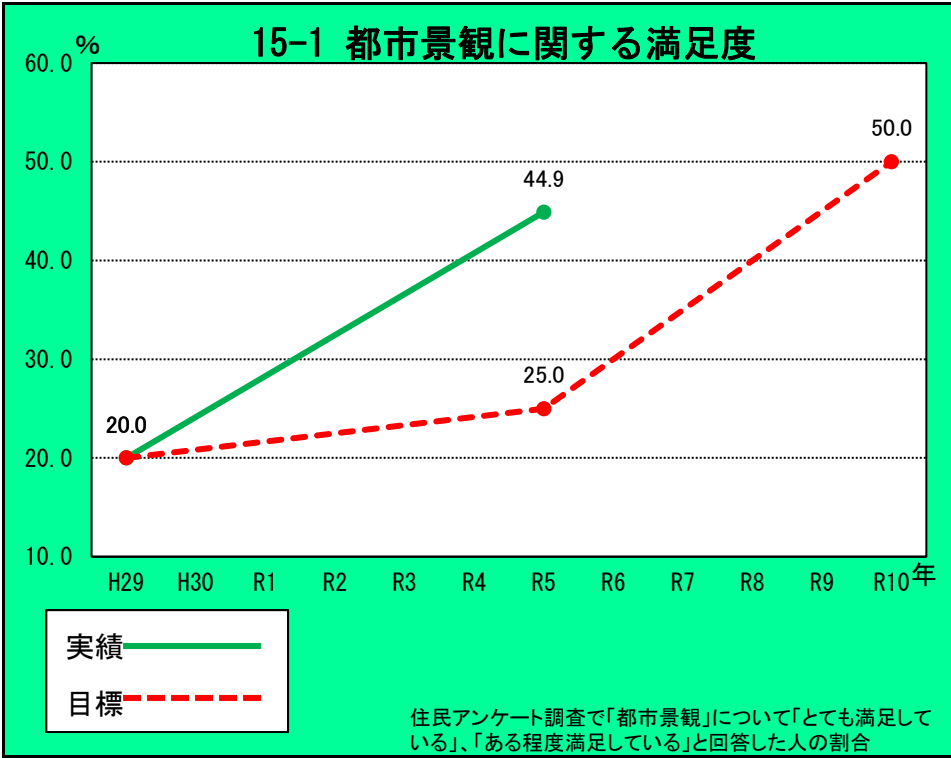
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 住民課 課長 成田 光大



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
16.3	↑	16.5	6.7%	19.3
R1年度 (2019)	0.2 %	R5年度 (2023)	5/10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R3年11月よりスタートした「王寺町ごみ減量化プロジェクト」では、その取組として、雑がみ回収袋の全戸配布や町内4カ所に資源ごみ回収ステーションを設置した。その結果、家庭から出る可燃ごみ1人1日当たりの排出量は、R5年度時点でプロジェクト開始前より54 g 減少した。 その一方で、リサイクル率は、ほぼ横ばい状態にあることから、R6年度では、再度、雑がみ回収袋の全戸配布を行うことで、リサイクル推進を図る。				
OR5年度実績				
・ 資源ごみ 955,772kg (対前年度△6.3%)				
・ 資源化率 16.5% (対前年度△0.4%)				

基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(7) 水と緑の保全の創出
具体的施策	(15) 都市景観

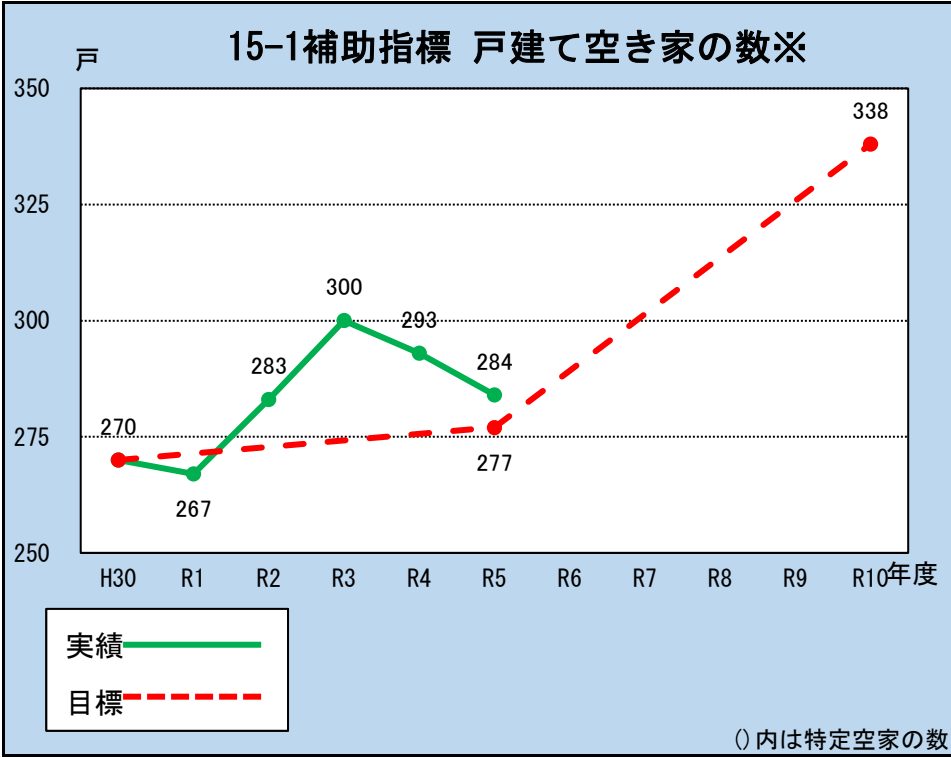
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 都市計画課 課長 西村 幸晃



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
20.0	↑	44.9	83.0%	50.0
H29年 (2017)	24.9 %	R5年 (2023)	5 10 年目	R10年 (2028)
進捗状況				
景観法に基づく届出対象となる行為の意見聴取についてR5年度は3件の照会があり、いずれも景観に配慮した計画であった。 今後も、良好な景観形成を図るため、適切に対応していく。				

基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(7) 水と緑の保全の創出
具体的施策	(15) 都市景観

担当部署・指標管理責任者
地域整備部 まちづくり推進課 課長 植村 哲史

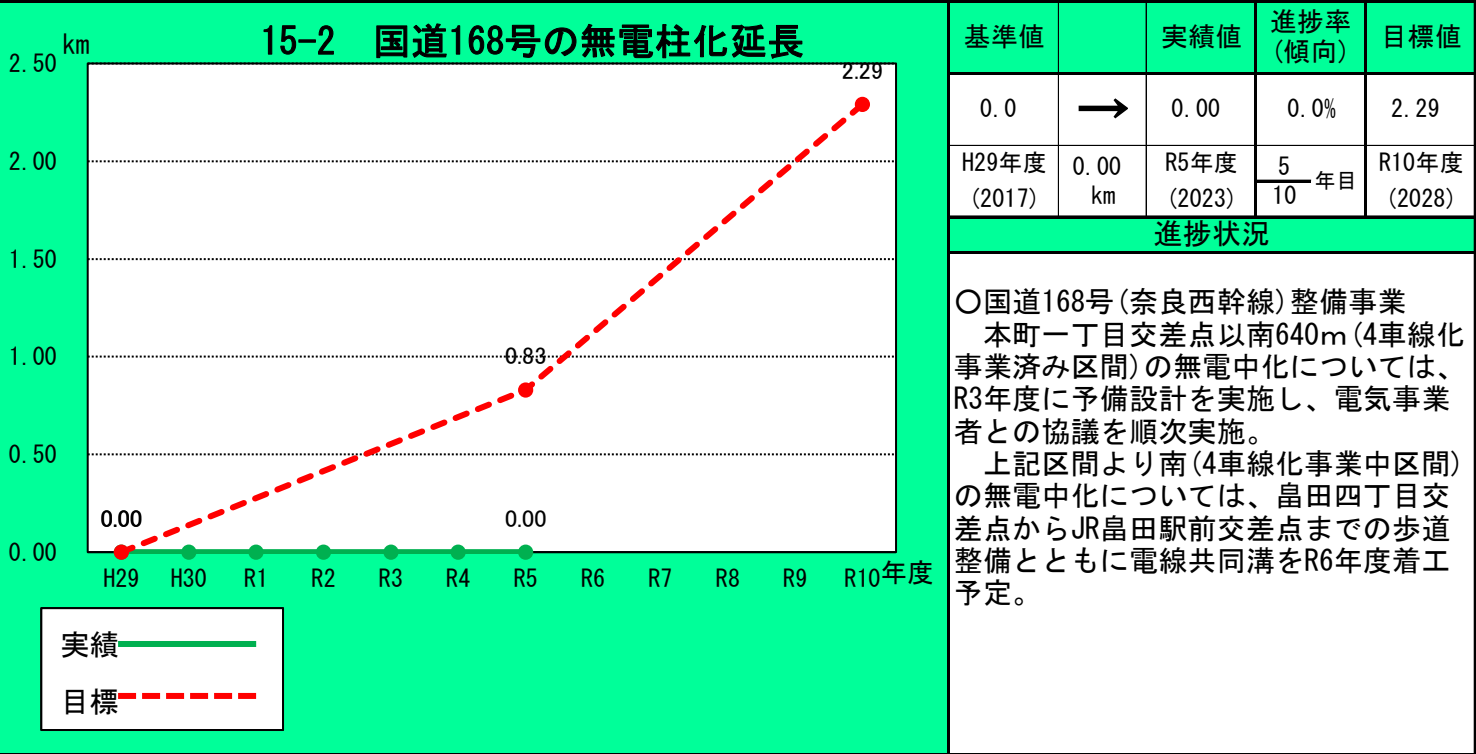


基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
270	↑	284	—	338
H29年度 (2017)	14 戸	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
管理に問題がある空家等の所有者等に対して、H28年から法に基づき行政指導を行い、概ね半数の物件が改善された。 H29年から毎年、町の空き家対策制度をまとめたリーフレットを作成・配布し、不動産所有者等に空家化防止の対策を講じている。H30から町独自で実施している「空き家の除却補助制度」は多くの実績があり、R5年度も9件の空き家が除却された。(6件/年) 利活用可能な空き家については「空き家・空き地バンク」への登録を所有者へ促しており、今までで数件の成約があった。 このように、町の空き家対策としては、空き家の段階に応じた対策を実施しており、今後もこれらの事業を継続し、空き家増加の歯止めとなるよう努めていく。				

※は数値が低い方が良くなる指標です。

基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(7) 水と緑の保全の創出
具体的施策	(15) 都市景観

担当部署・指標管理責任者
地域整備部 都市計画課 課長 西村 幸晃



3 安全で安心に暮らせるまちづくり

数値目標

3(1) 防災訓練を実施している自主防災組織の数

3(2) 防災士資格者数

K P I

具体的施策16 防災体制

16-1 「王寺町安全・安心メール」及び「LINE 公式アカウント」登録者数

具体的施策17 避難行動支援

17-1 「個別計画」を作成した団体数[累計]

具体的施策18 消防・救急体制

18-1 王寺町消防団の定員に対する充足率

18-2 救命講習会の年間受講者数

具体的施策19 防犯・交通安全

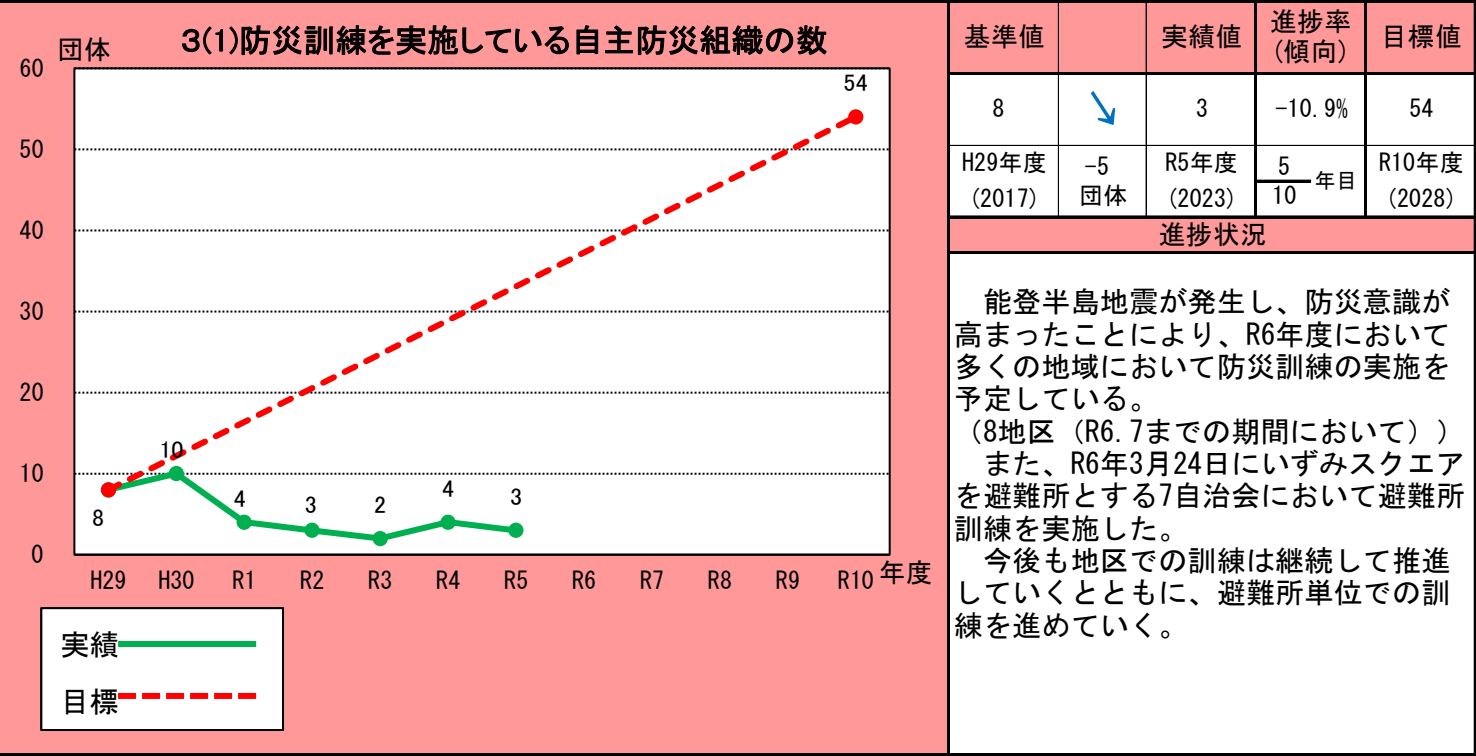
19-1 刑法犯年間認知件数（延べ）

19-2 町内で発生した交通事故のうち高齢者が関係した事故の割合

数値目標

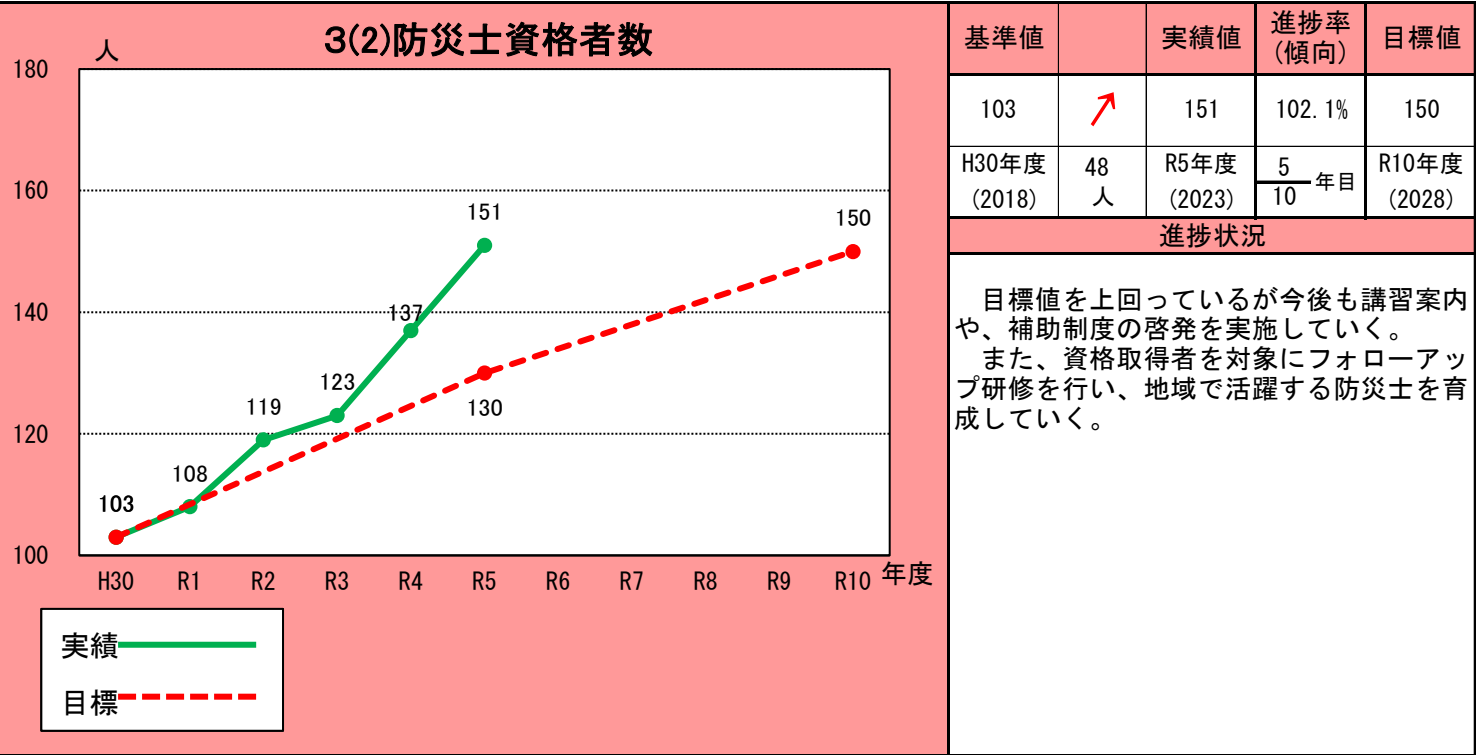
基本目標	3 安全で安心して暮らせるまちづくり
	住民が安心して暮らし続けられる安全な町をつくる

担当部署・指標管理責任者
総務部 参事 藤本 忠司



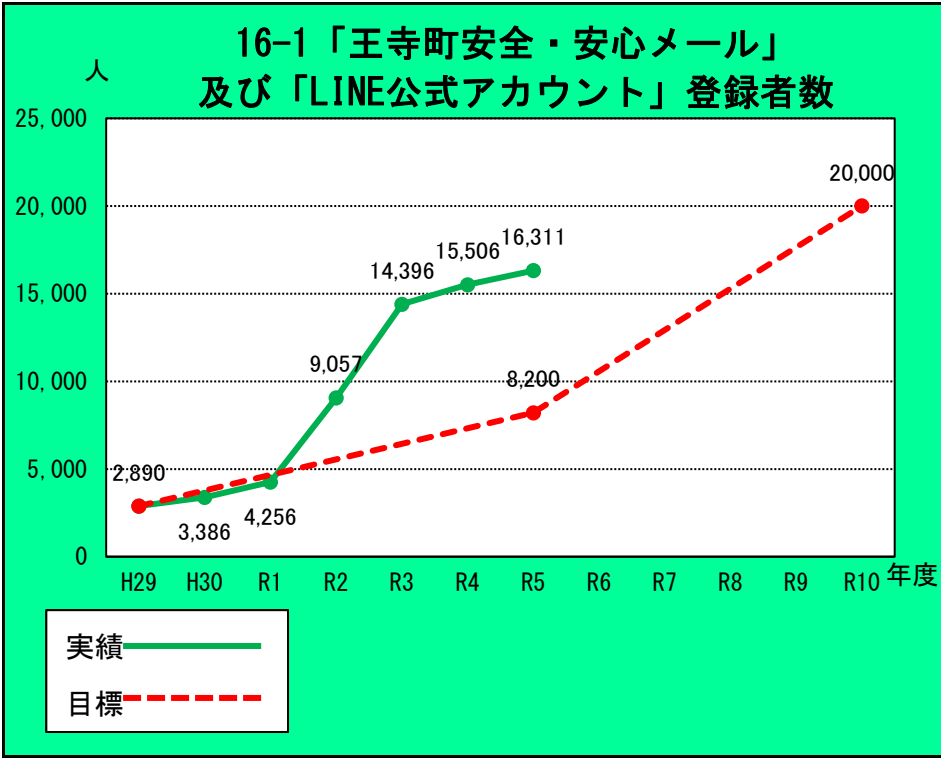
基本目標	3 安全で安心して暮らせるまちづくり
	住民が安心して暮らし続けられる安全な町をつくる

担当部署・指標管理責任者
総務部 参事 藤本 忠司



目標	3 安全で安心して暮らせるまちづくり
政策	(8) 地域防災の充実
施策	(16) 防災体制

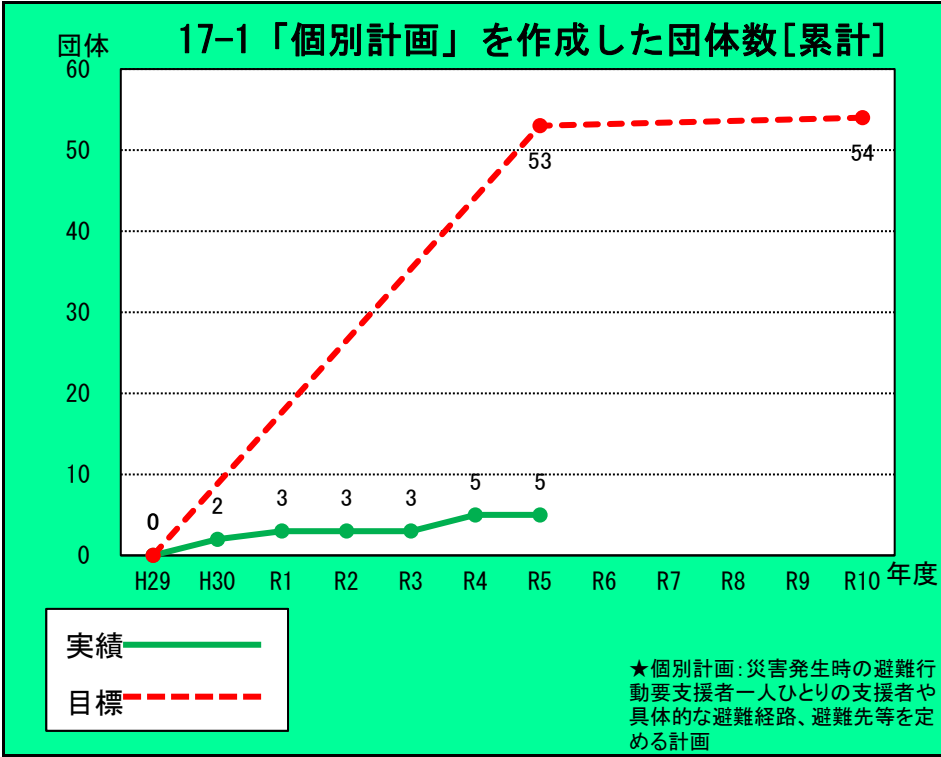
担当部署・指標管理責任者
総務部 参事 藤本 忠司



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
2,890	↑	15,506	73.7%	20,000
H29年度 (2017)	12,616 人	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
広報紙等で登録の啓発を行い、登録者数の増加に繋がることができている。 今後も窓口に来庁される方等への呼びかけを行い、更なる登録者の増加を目指す。 OR6年6月末時点登録者数 安全安心メール 5,112 人 LINE 11,348 人 合計 16,460 人				

目標	3 安全で安心して暮らせるまちづくり
政策	(8) 地域防災の充実
施策	(17) 避難行動支援

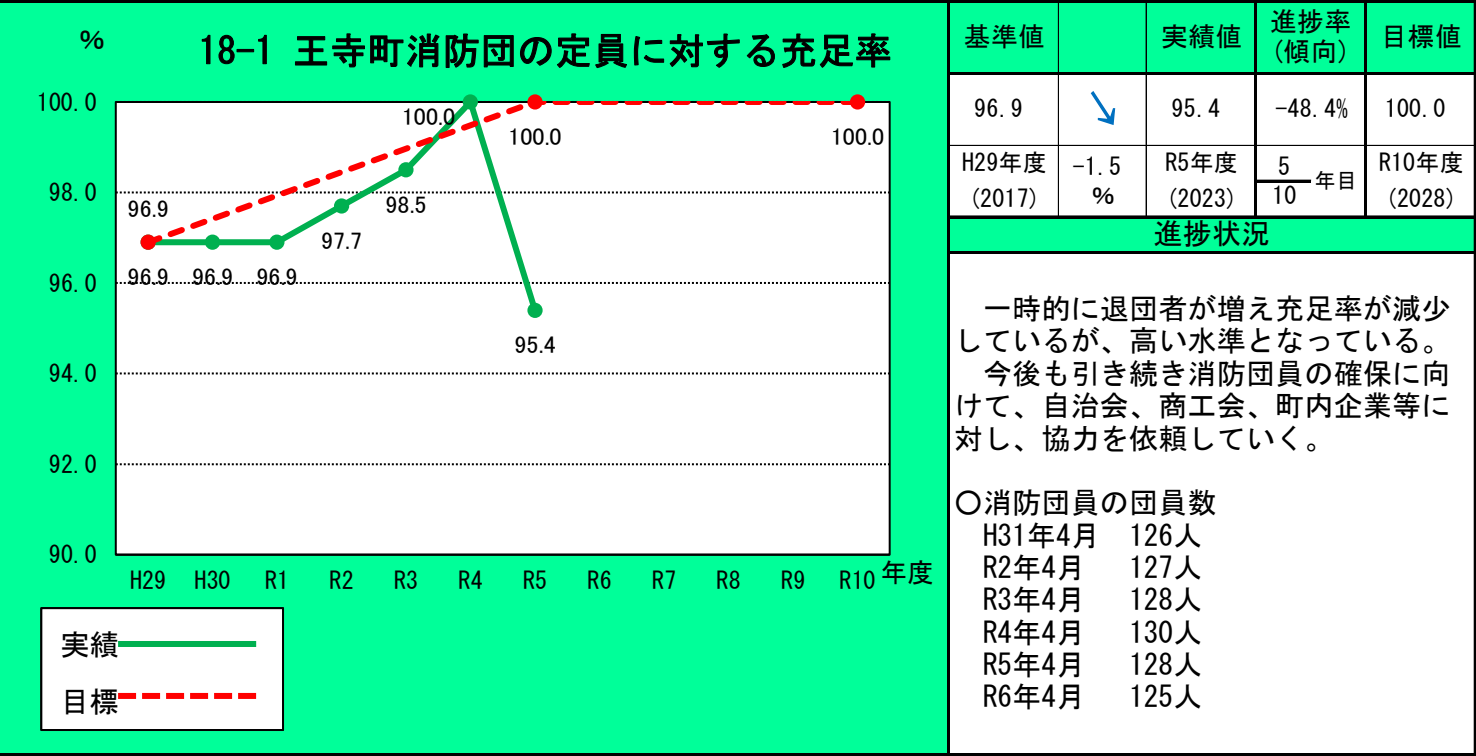
担当部署・指標管理責任者
総務部 参事 藤本 忠司



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
0	↑	5	9.3%	54
H29年度 (2017)	5 団体	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
計画の作成は、避難行動要支援者本人の同意が必要なおえ、個人情報取り扱いへの不安や既に独自の名簿で運用しているという理由から、平常時の名簿提供を希望する自治会数が伸びていないのが現状である。 引き続き、自治会や防災会に対し個別に説明を行うとともに計画の作成を依頼するとともに、専門職等と地域調整会議を実施し、支援体制を確立する。 OR6年5月末時点 5団体 155人分				

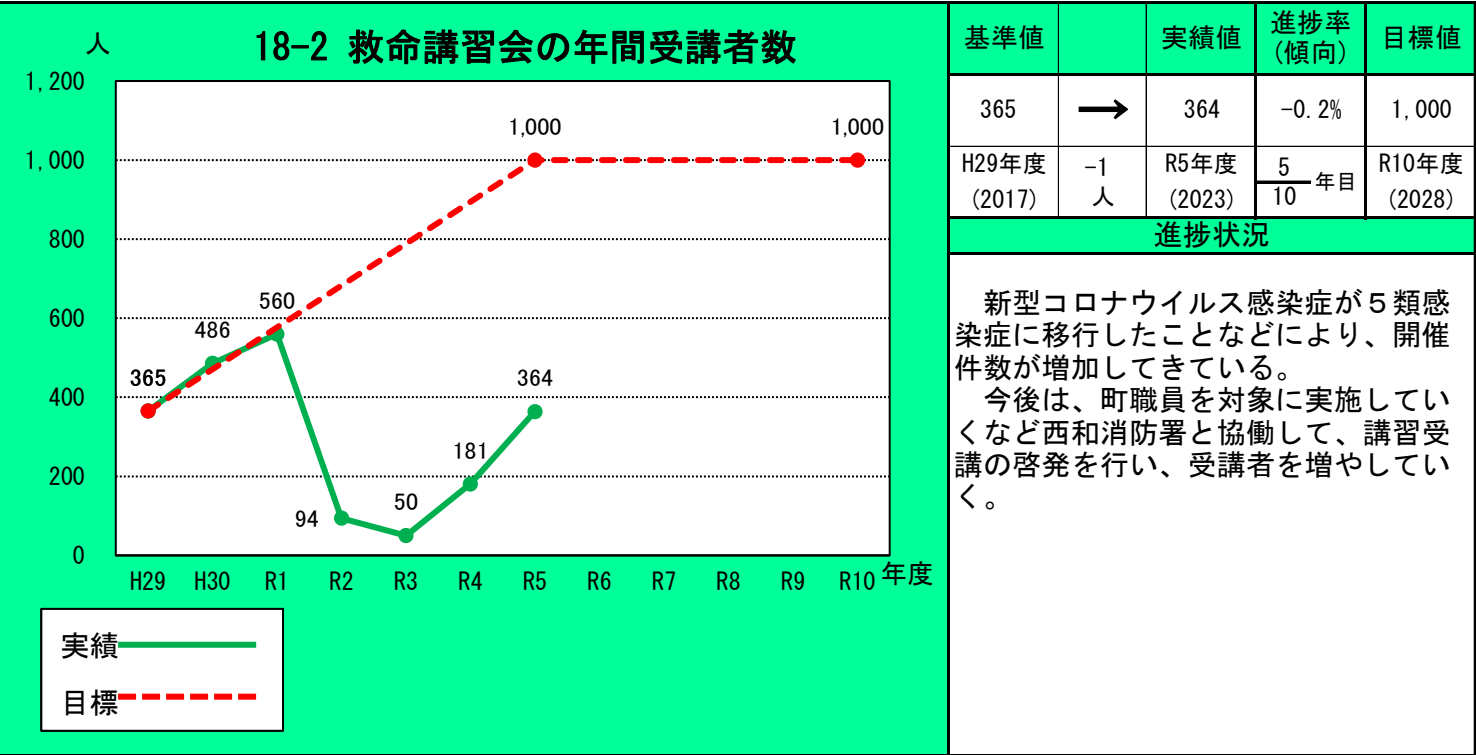
目標	3 安全で安心して暮らせるまちづくり
政策	(8) 地域防災の充実
施策	(18) 消防・救急体制

担当部署・指標管理責任者
総務部 参事 藤本 忠司



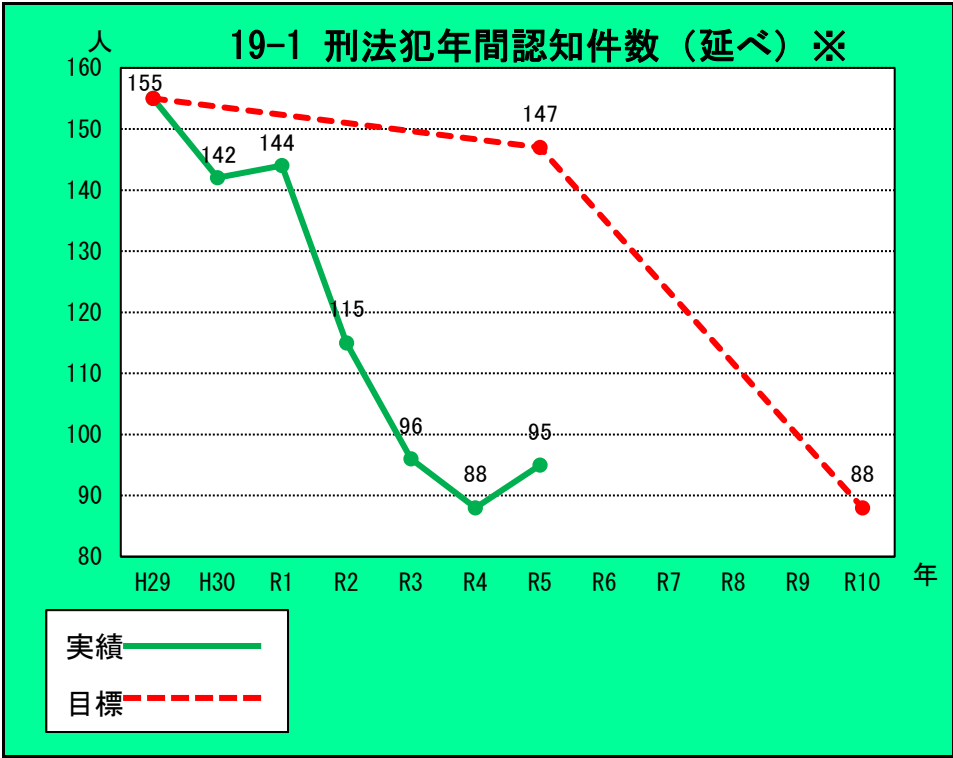
目標	3 安全で安心して暮らせるまちづくり
政策	(8) 地域防災の充実
施策	(18) 消防・救急体制

担当部署・指標管理責任者
総務部 参事 藤本 忠司



目標	3 安全で安心して暮らせるまちづくり
政策	(9) 日常生活の安全確保
施策	(19) 防犯・交通安全

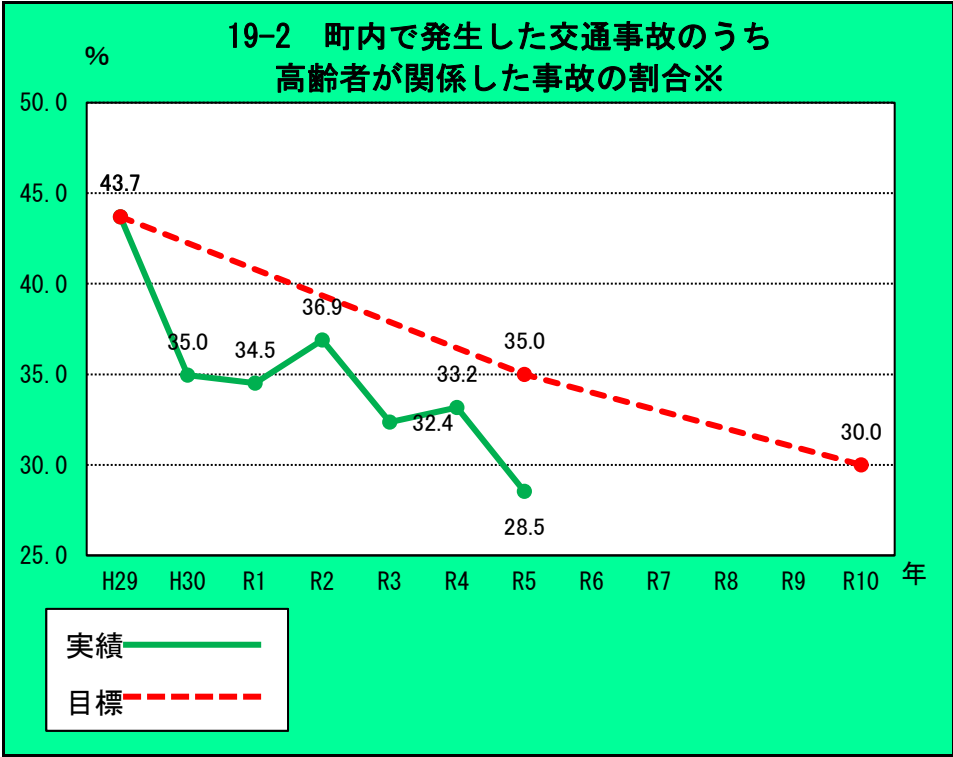
担当部署・指標管理責任者
総務部 参事 藤本 忠司



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
155	↓	95	89.6%	88
H29年 (2017)	-60 人	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年 (2028)
進捗状況				
刑法犯年間認知件数について、増加の主な要因は「傷害・暴行」「オートバイ・自転車盗難」の増加である。引き続き警察と連携を強化し、防犯啓発活動を実施するとともに、犯罪抑止に効果的な防犯カメラの設置を推進する。 ○防犯カメラ設置補助 R3年度 東御幸自治会（2箇所） 南駅前自治会（1箇所） R4年度 実績なし R5年度 つくし自治会（1箇所）				
※は数値が低い方が良くなる指標です。				

目標	3 安全で安心して暮らせるまちづくり
政策	(9) 日常生活の安全確保
施策	(19) 防犯・交通安全

担当部署・指標管理責任者
総務部 参事 藤本 忠司



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
43.7	↓	28.5	110.7%	30.0
H29年 (2017)	-15.2 %	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年 (2028)
進捗状況				
今後も、高齢者の交通事故件数を減少させるため、引き続き警察と連携し、交通安全団体による反射材クツズ配布等といった啓発活動や、主要幹線道路のカーブミラー清掃等を行う。				
※は数値が低い方が良くなる指標です。				

4 健やかに暮らせるまちづくり

数値目標

- 4(1) 健康寿命（65歳の平均自立期間）の県内市町村における順位〔男性〕
- 4(2) 健康寿命（65歳の平均自立期間）の県内市町村における順位〔女性〕

K P I

具体的施策20 高齢者福祉

- 20-1 65歳以上の介護保険認定者における「日常生活自立度Ⅱ」以上の認知症の人の割合
- 20-2 認知症サポーター養成講座年間受講者数

具体的施策21 介護保険

- 21-1 各種介護予防教室の年間受講者数（延べ）
- 21-2 65歳以上（介護保険第1号被保険者）の要支援・要介護認定者の割合

具体的施策22 障がい者福祉

- 22-1 福祉施設における就労から一般就労への年間移行者数
- 22-2 障がいに関わる一般相談の件数
- 22-3 手話奉仕員登録者数

具体的施策23 健康づくり

- 23-1 [マイアセスメント調査]1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上1年以上継続して実施している人の割合【男性】
- 23-1 補助指標 [特定健康診査]1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上1年以上継続して実施している人の割合【男性】
- 23-2 [マイアセスメント調査]1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上1年以上継続して実施している人の割合【女性】
- 23-2 補助指標 [特定健康診査]1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上1年以上継続して実施している人の割合【女性】
- 23-3 がん検診の受診率（胃）
- 23-4 がん検診の受診率（肺）
- 23-5 がん検診の受診率（大腸）
- 23-6 がん検診の受診率（子宮）
- 23-7 がん検診の受診率（乳）

具体的施策24 地域福祉

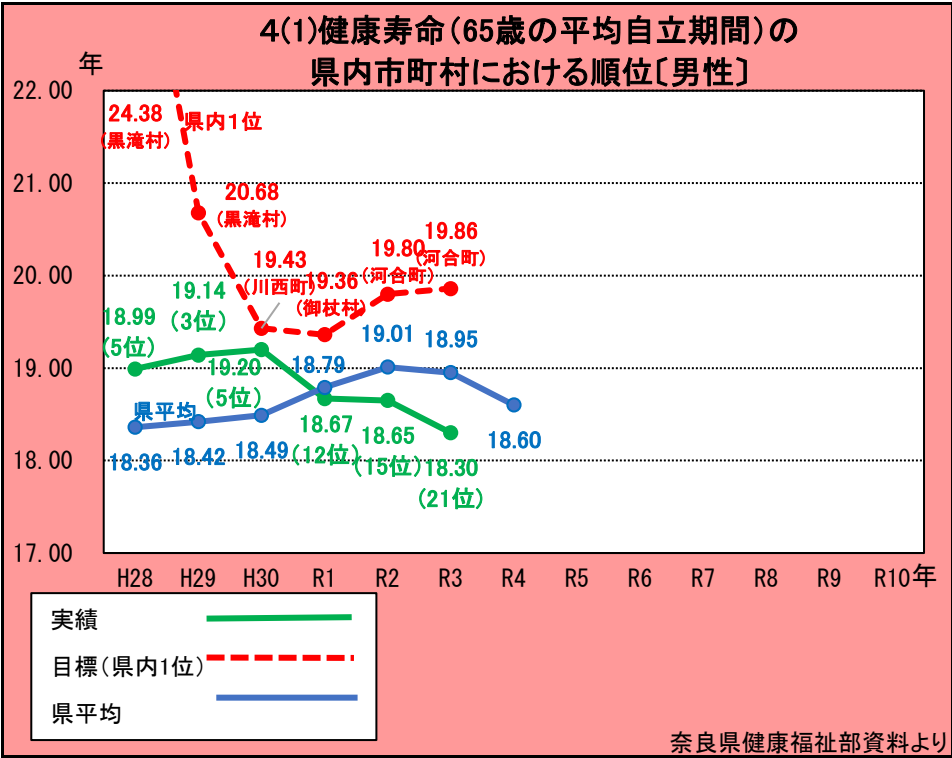
- 24-1 サロンの箇所数
- 24-1 補助指標 社協主催のサロン参加者数
- 24-2 介護（生活支援）ボランティア登録者数

具体的施策25 国民健康保険

- 25-1 国民健康保険被保険者の年間1人当たり医療費
- 25-2 国民健康保険被保険者の特定健康診査受診率

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
	健康寿命奈良県一を目標に、高齢者、障がい者を含む誰もが健やかに暮らせる町をつくる

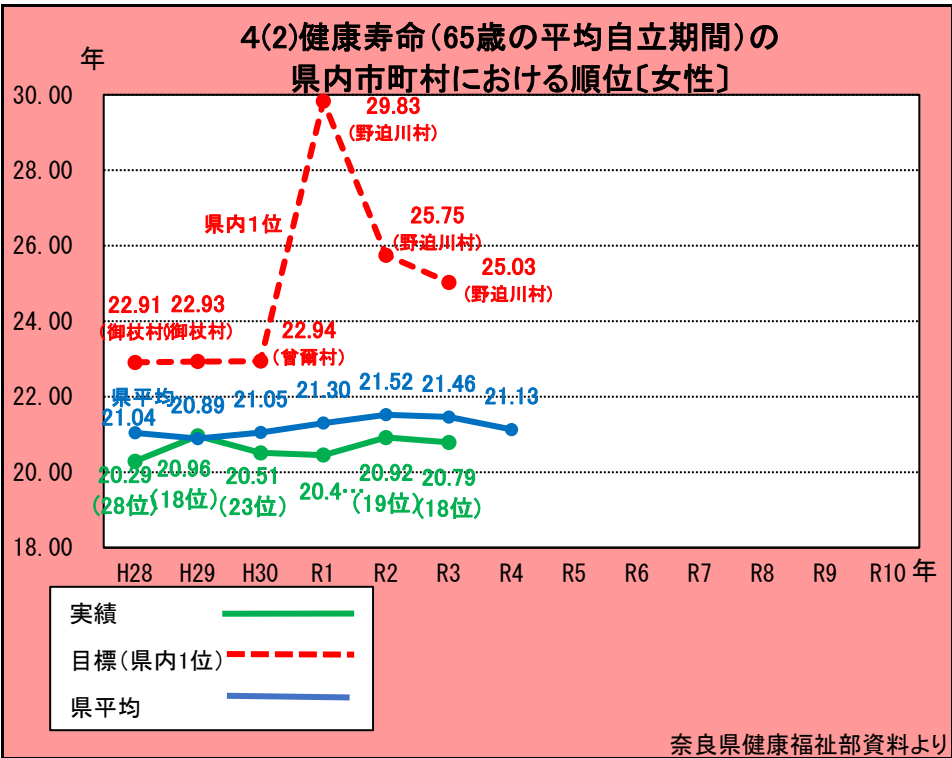
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 部長 増田 淳子



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
18.99 (5位)	↓	18.30 (21位)	—	県内1位
H28年度 (2016)	-0.69 年	R3年度 (2021)	3 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
前年より順位を下げ、県平均を下回る21位となった。長期のコロナ禍で、外出の機会が減って運動量が落ち、生活が不活発な状態が長期化したことが影響しているものとする。(R3年度：R2～R4年の3か年平均値で算出)				
R5年度より開始した町直営の健康ステーションで、引き続きおでかけ健康法や活動量計を利用した「歩く健康法」を推進する。また、令和4年度よりヘルスアップ教室開催時に男性優先回を実施しているが、今後も男性も参加しやすい健康づくりの機会を検討、実施していく。				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
	健康寿命奈良県一を目標に、高齢者、障がい者を含む誰もが健やかに暮らせる町をつくる

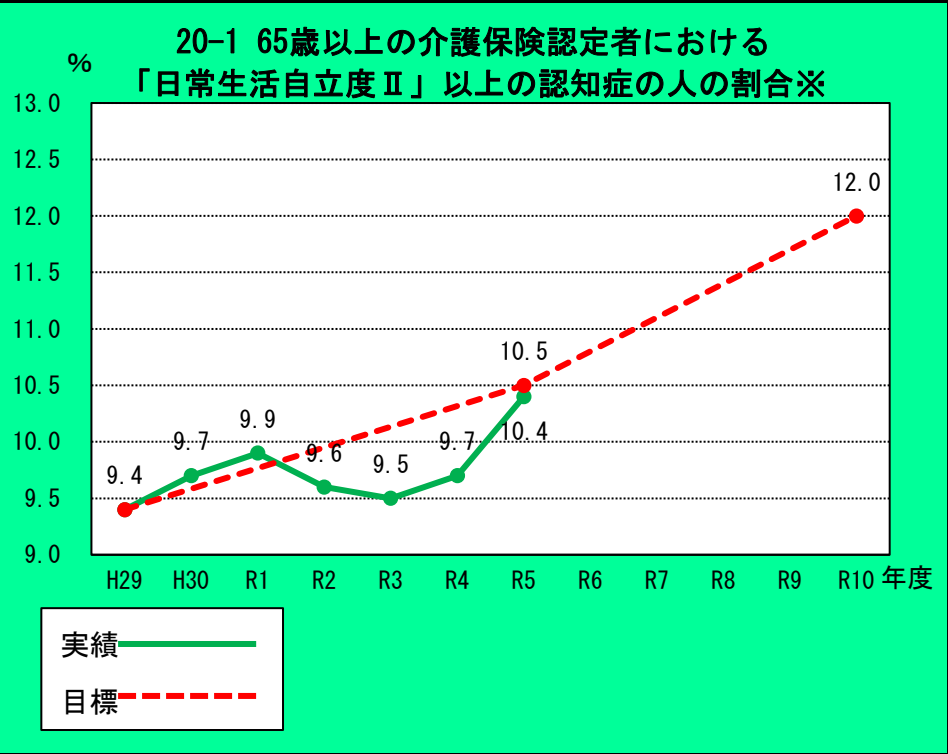
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 部長 増田 淳子



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
20.29 (28位)	↑	20.79 (18位)	—	県内1位
H28年度 (2016)	0.50 年	R3年度 (2021)	3 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
順位をひとつ上げて18位となったものの、県内の順位は低い状況が続いている。コロナ禍で、外に出る機会が減って運動量が落ち、生活が不活発な状態が長期化したことが大きな改善に繋がらない要因と考える。(R3年度：R2～R4年の3か年平均値で算出)				
R5年度より開始した町直営の健康ステーションで、引き続きおでかけ健康法や活動量計を利用した「歩く健康法」を推進する。今後は健康ステーションや健康サロン等で、自宅や日常生活で簡単に取り組むことができる運動を紹介するなど支援していく。				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(10) 高齢者支援の充実
具体的施策	(20) 高齢者福祉

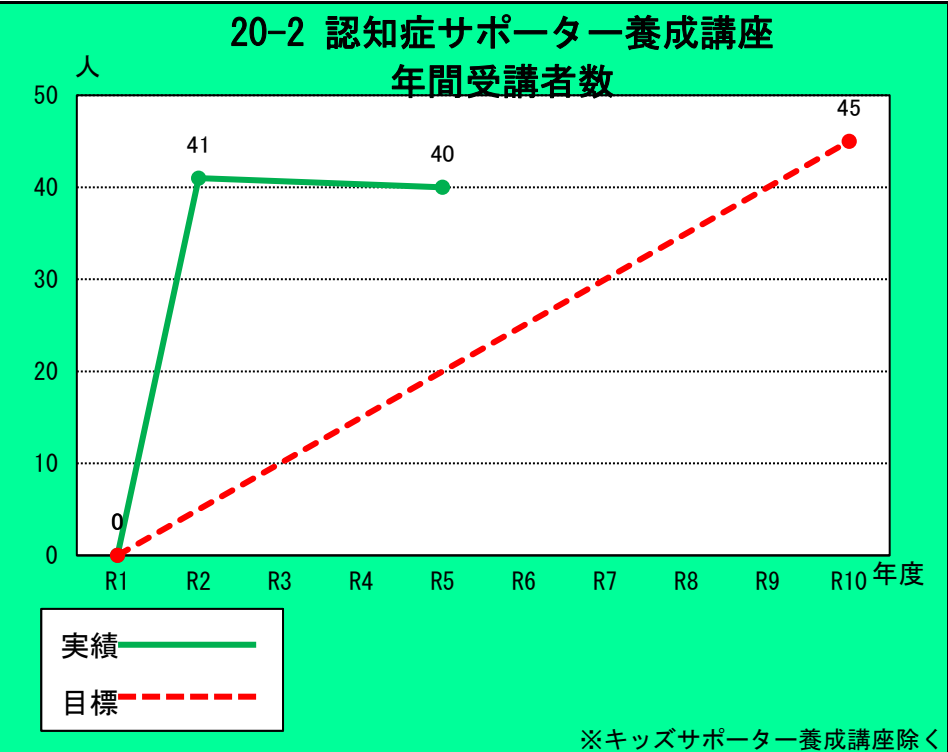
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 福祉介護課 課長 鬼頭 祐子



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
9.4	↓	10.4	115.4%	12.0
H29年度 (2013)	1.0 %	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
65歳以上の介護保険認定者のうち「日常生活自立度Ⅱ」以上の認知症の人の割合は、要介護3～5の重度者の増加によって、前年度より0.7ポイント増加。 対策として、R6年度よりフレイル予防のための体操や知識を学ぶ介護予防教室を増設。新たに、介護付き有料老人ホームだるま苑で毎月1回開催する。 また引き続き、サロンなどの「通いの場」に専門職を派遣して、認知症に関する相談の受付を行っていく。 万が一、認知症の人が行方不明になった場合に早期発見につながる「QRコードシールの配布」（携帯電話で読み取ると西和警察署等の連絡先が表示される）の利用促進を図る。				
※は数値が低い方が良くなる指標です。				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(10) 高齢者支援の充実
具体的施策	(20) 高齢者福祉

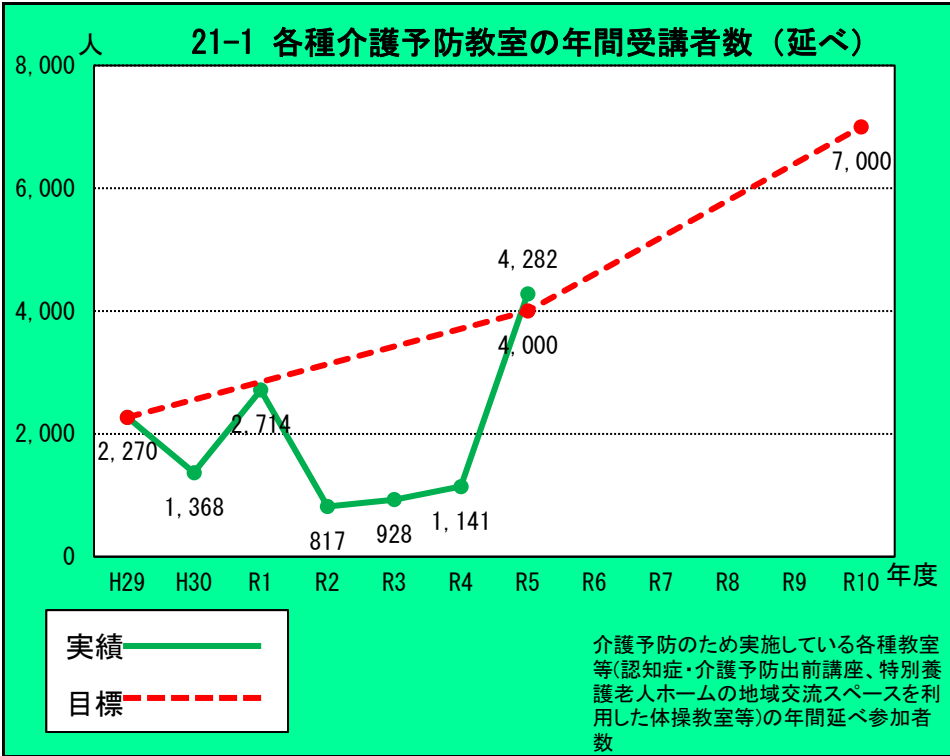
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 福祉介護課 課長 鬼頭 祐子



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
0	↑	40	88.9%	45
R1年度 (2019)	40 人	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、認知症サポーター養成講座を再開しており、年間受講者数（修了者数）は40人と目標をクリアした。 R6年度では、新たに「認知症予防啓発講演会」を開催し、住民の方に認知症の方への接し方を学んでいただき、地域での見守り活動につなげていく。				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(10) 高齢者支援の充実
具体的施策	(21) 介護保険

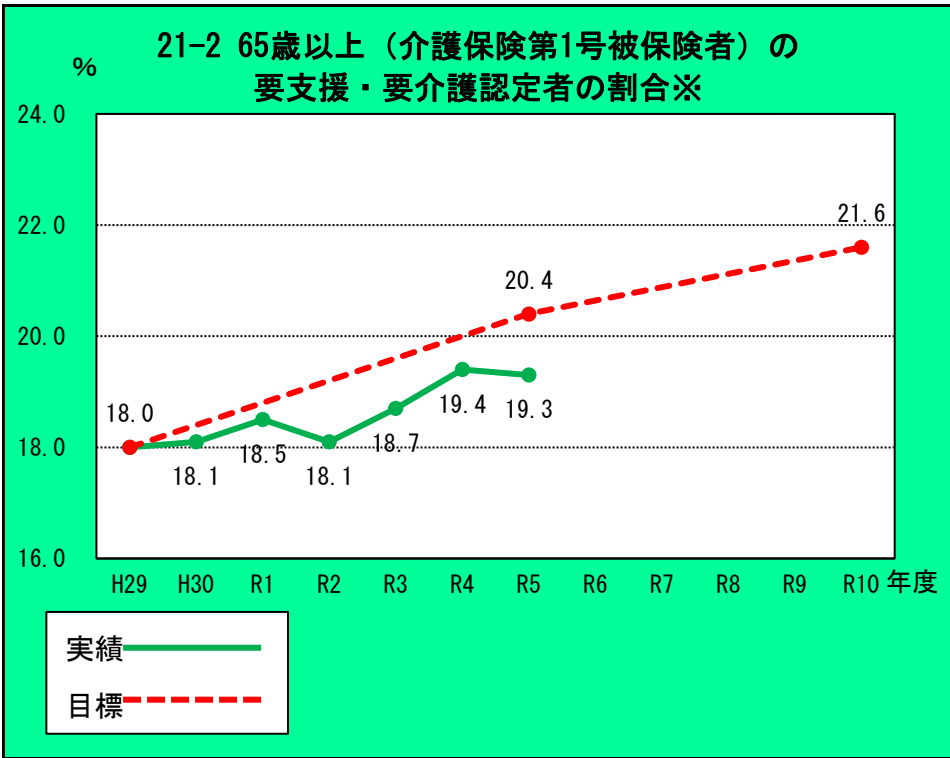
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 福祉介護課 課長 鬼頭 祐子



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
2,270	↑	4,282	42.5%	7,000
H29年度(2017)	2,012人	R5年度(2023)	5/10年目	R10年度(2028)
進捗状況				
R5年5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、介護予防教室参加者数の人数制限を解除したこと、及び出前講座の依頼件数が増加したことにより、年間受講者数は目標値を上回った。 R5年度において、町内の介護付き有料老人ホームだるま苑で試験的に開催した介護予防教室が好評だったことから、R6年度からは月1回の定期開催に変更しており、さらに受講者数を伸ばしていきたい。				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(10) 高齢者支援の充実
具体的施策	(21) 介護保険

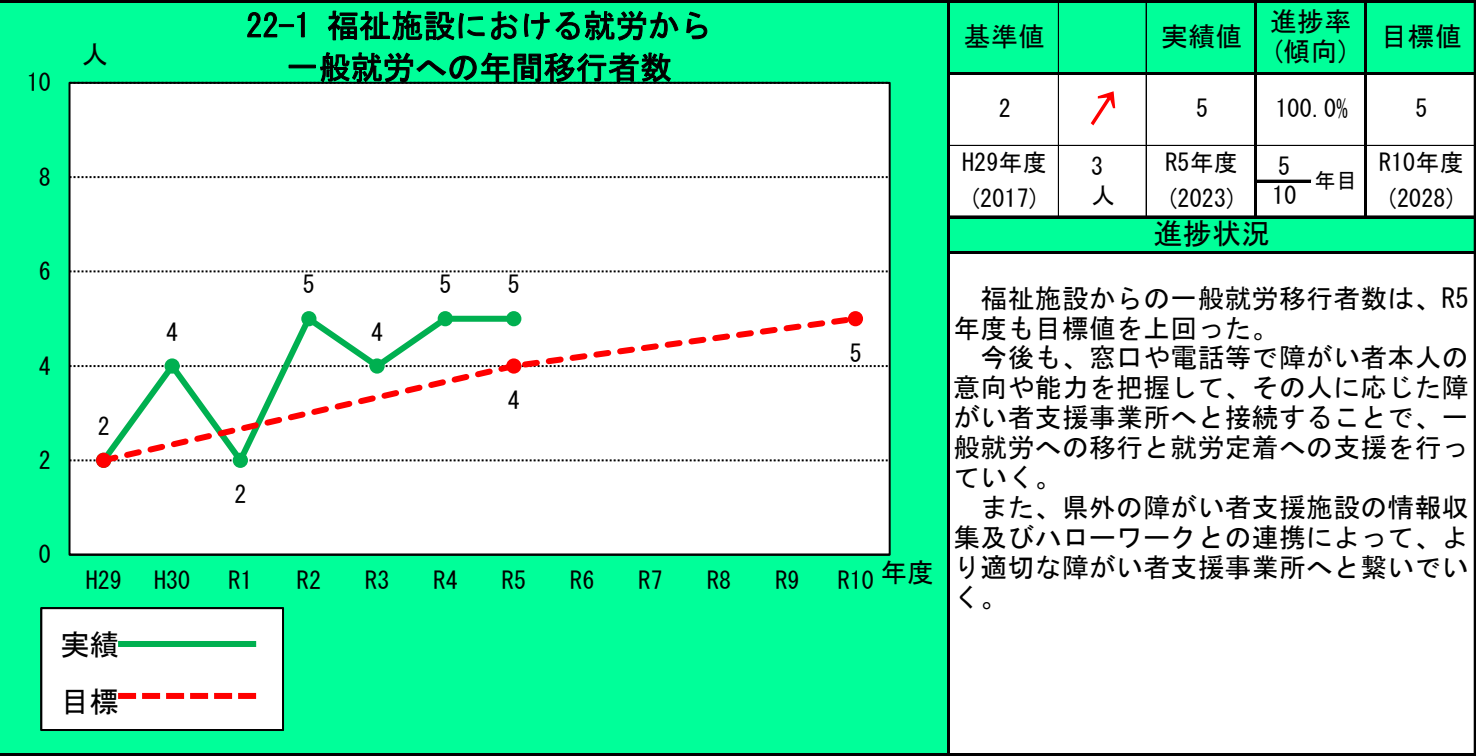
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 福祉介護課 課長 鬼頭 祐子



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
18.0	↓	19.3	111.9%	21.6
H29年度(2013)	1.3%	R5年度(2023)	5/10年目	R10年度(2028)
進捗状況				
要支援・要介護認定者の割合は、前年度より0.1ポイント減少し、引き続いて目標値をクリアした。 全国の大学や国立研究所等の研究者が集う日本老年学的評価研究機構（JAGES）に、王寺町の介護予防事業の効果測定を依頼したところ、介護予防教室等で実施している専門職によるエビデンスに基づいた体操が効果的であるとされたことから、R6年度では介護予防教室の開催場所を増設し、高齢者が教室に参加して体操できる機会を増やしている。				

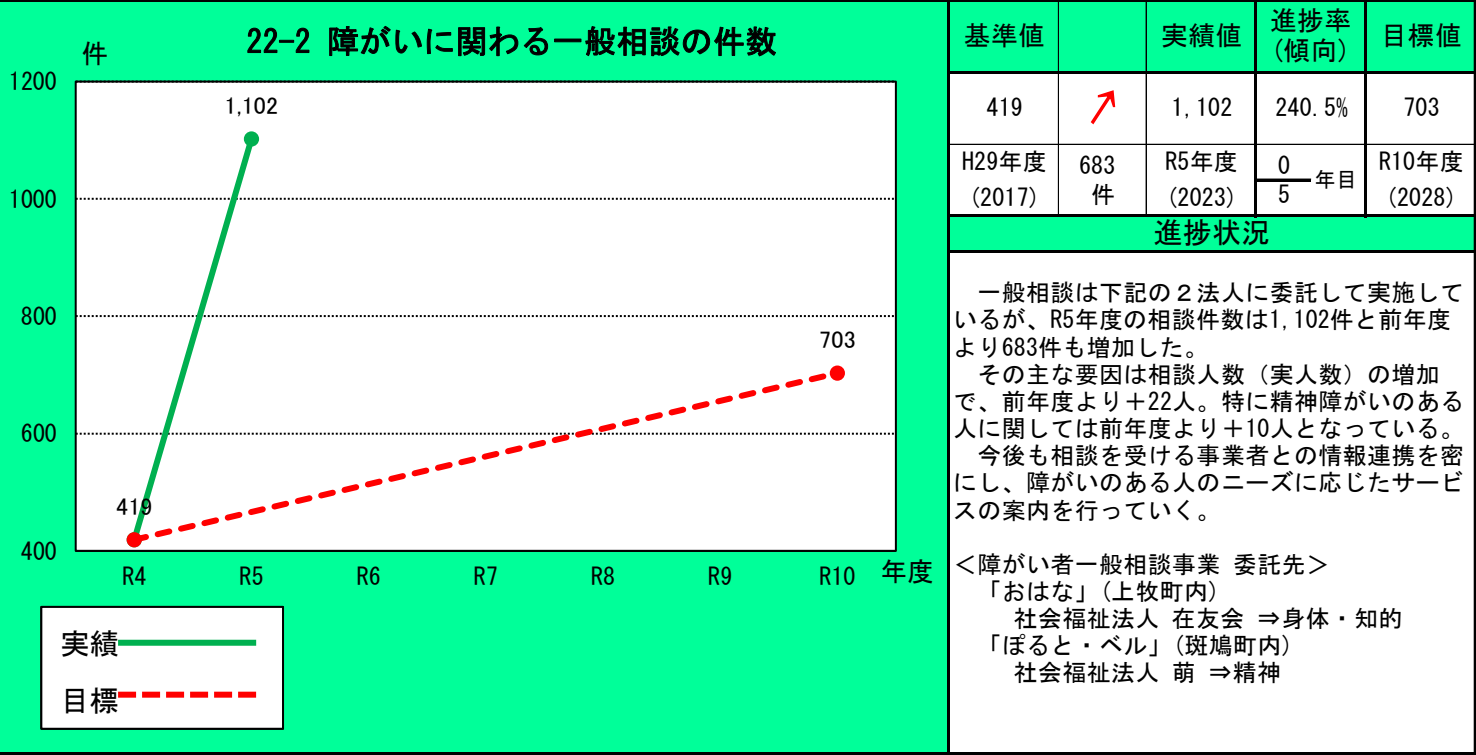
基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(11)障がい者支援の充実
具体的施策	(22)障がい者福祉

担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 福祉介護課 課長 鬼頭 祐子



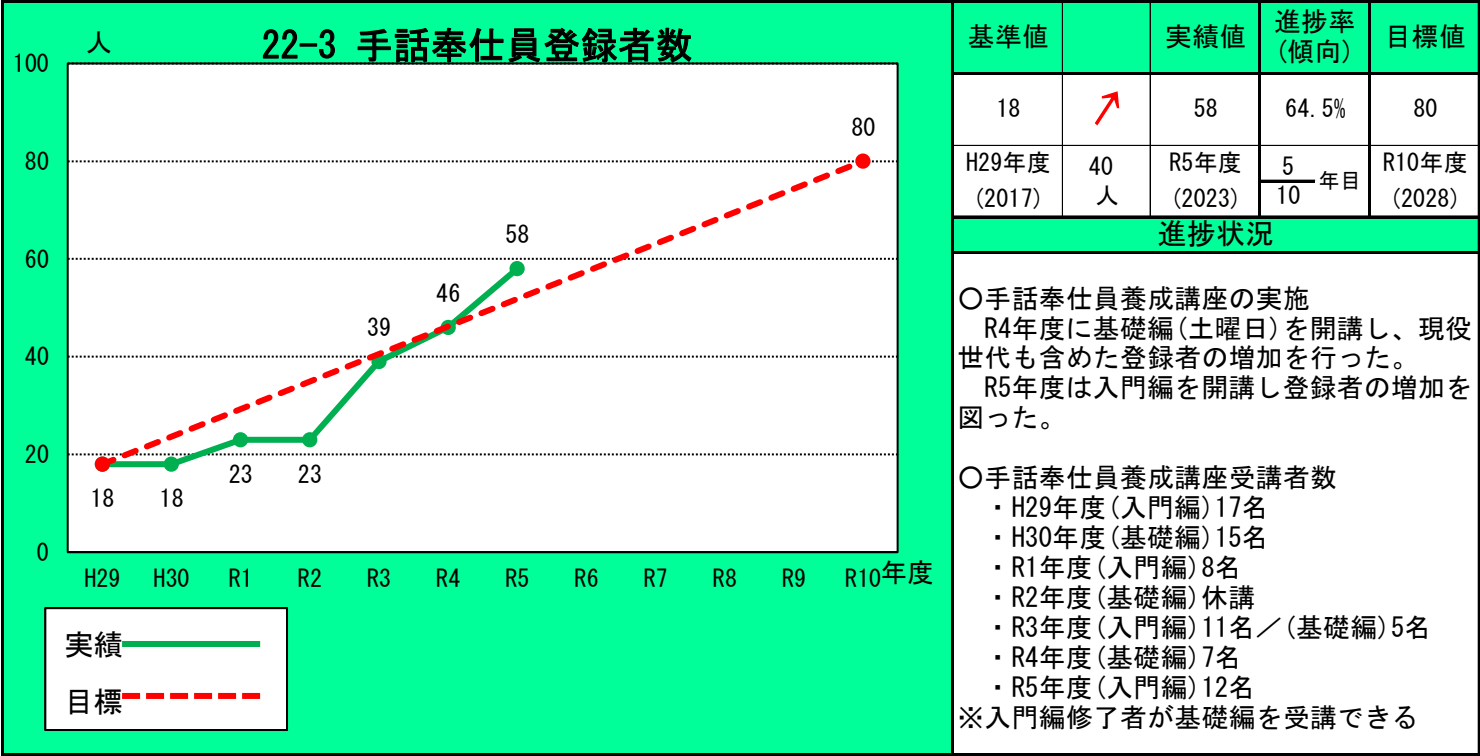
基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(11)障がい者支援の充実
具体的施策	(22)障がい者福祉

担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 福祉介護課 課長 鬼頭 祐子



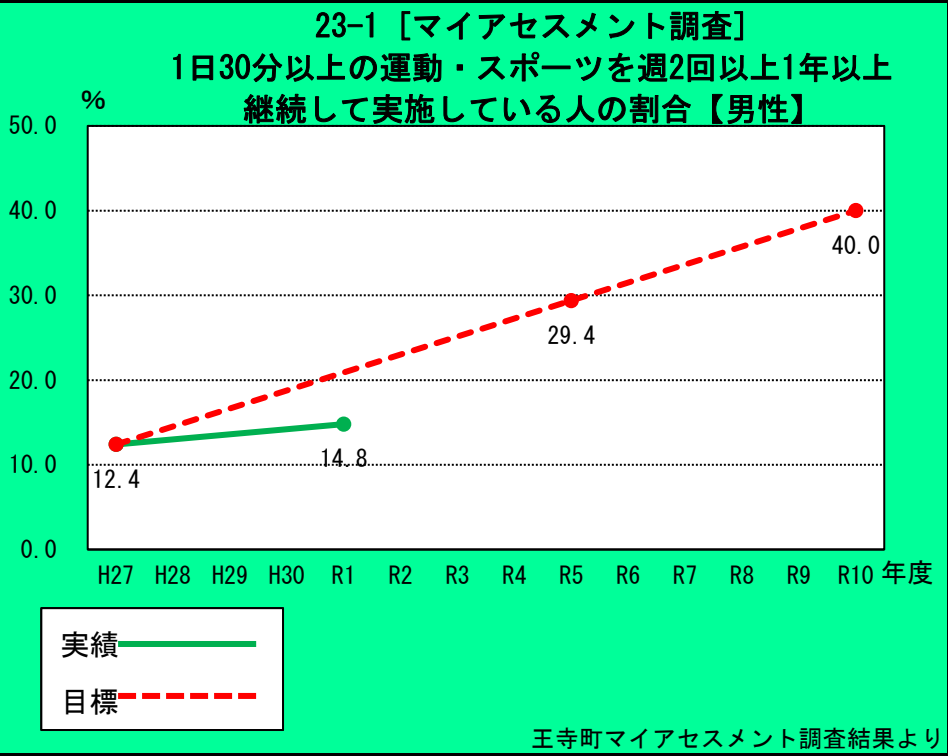
基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(11) 障がい者支援の充実
具体的施策	(22) 障がい者福祉

担当部署・指標管理責任者
社会福祉協議会 課長 坂本 晃之



基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(12) 健康づくりの推進
具体的施策	(23) 健康づくり

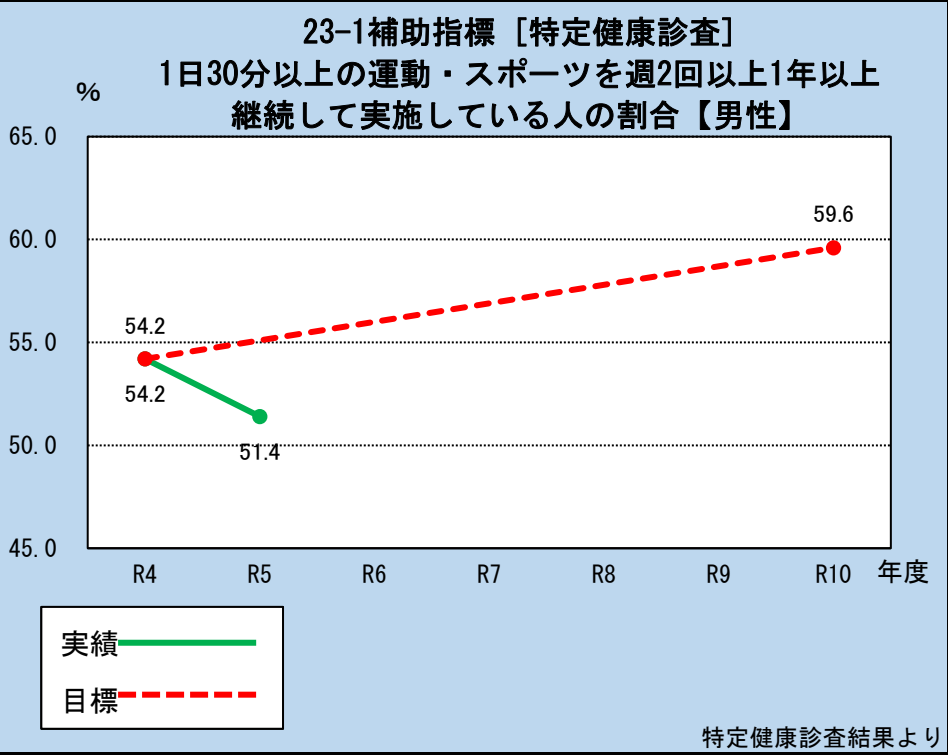
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 植山 裕美



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
12.4	↑	14.8	8.7%	40.0
H27年度 (2015)	2.4 %	R2年度 (2020)	$\frac{2}{10}$ 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
運動習慣のある男性の割合は増加傾向にある。中でも20～24歳・30～34歳・55～59歳が高く、経済的又は時間的に余裕のある世代が高い。活動量計の販売やウォーキングロードの整備など歩く健康づくり施策も功を奏したと考えられる。 歩く健康づくりの一つとして、ウォーキングアプリだけでなく健康ポイントを含めたアプリの導入を検討してきた。アプリの導入については、「行政のデジタル化」のひとつとして庁内ワーキンググループ（DX推進室・政策推進課・地域交流課・保健センター）を立ち上げ、自治体マイナポイントとデジタル地域通貨導入するシステムを検討したが事業実施までは至っていない。R5年度からは、DX推進に関するワーキンググループに参加し、利用可能なツールの運用情報等の情報収集を行った。 引き続き、DX推進に関するワーキンググループと連携し、利用可能なツールの情報収集を行う。R6年度中に指標を含むアンケート調査を実施予定。				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(12) 健康づくりの推進
具体的施策	(23) 健康づくり

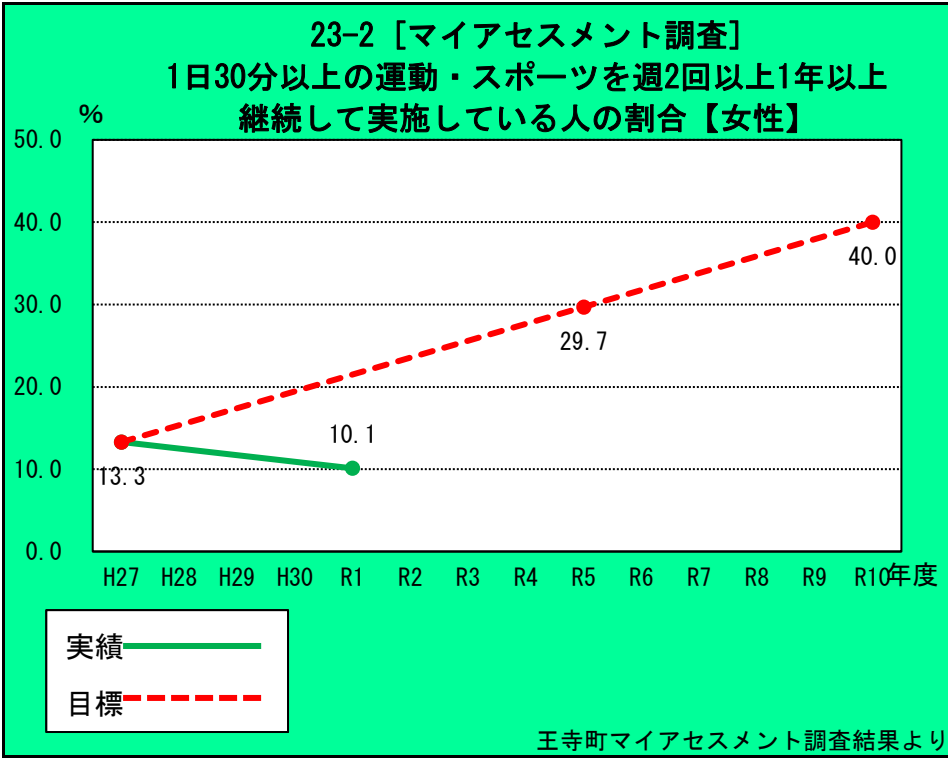
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 植山 裕美



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
54.2	↓	51.4	-51.9%	59.6
R4年度 (2022)	-2.8 %	R5年度 (2023)	$\frac{0}{5}$ 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
運動習慣のある男性の割合は減少傾向にある。 運動をするきっかけづくりになるように、健康ポイント事業やヘルスアップ教室、王寺町健康ステーションについて広報や各種保健事業等で参加を呼びかけていく。ヘルスアップ教室では、今後も男性優先日を設ける等、男性が参加しやすい環境作りに務めていく。				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(12) 健康づくりの推進
具体的施策	(23) 健康づくり

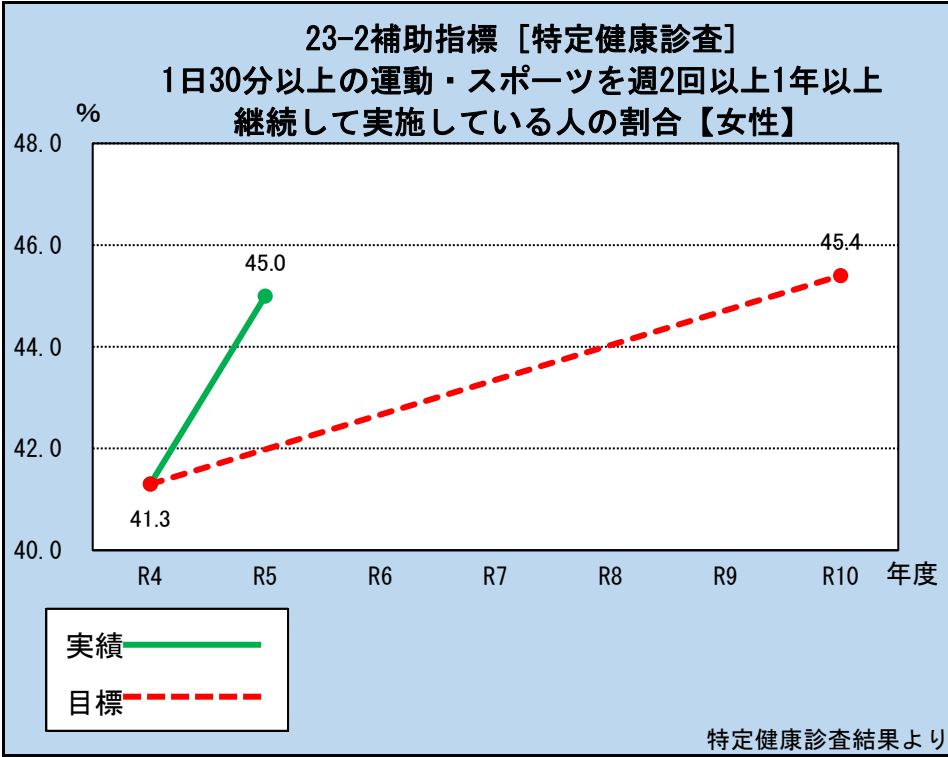
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 植山 裕美



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
13.3	↓	10.1	-12.0%	40.0
H29年度 (2017)	-3.2 %	R2年度 (2020)	$\frac{2}{10}$ 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
運動習慣のある女性の割合は、男性より低く、減少傾向にある。女性の社会進出に伴い、育児と仕事の両立で、時間的に余裕がないことが考えられる。 歩く健康づくりの一つとして、ウォーキングアプリだけでなく健康ポイントを含めたアプリの導入を検討してきた。アプリの導入については、「行政のデジタル化」のひとつとして庁内ワーキンググループ（DX推進室・政策推進課・地域交流課・保健センター）を立ち上げ、自治体マイナポイントとデジタル地域通貨導入するシステムを検討したが事業実施までは至っていない。R5年度からは、DX推進に関するワーキンググループに参加し、利用可能なツールの運用情報等の情報収集を行った。 引き続き、DX推進に関するワーキンググループと連携し、利用可能なツールの情報収集を行う。R6年度中に指標を含むアンケート調査を実施予定。				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(12) 健康づくりの推進
具体的施策	(23) 健康づくり

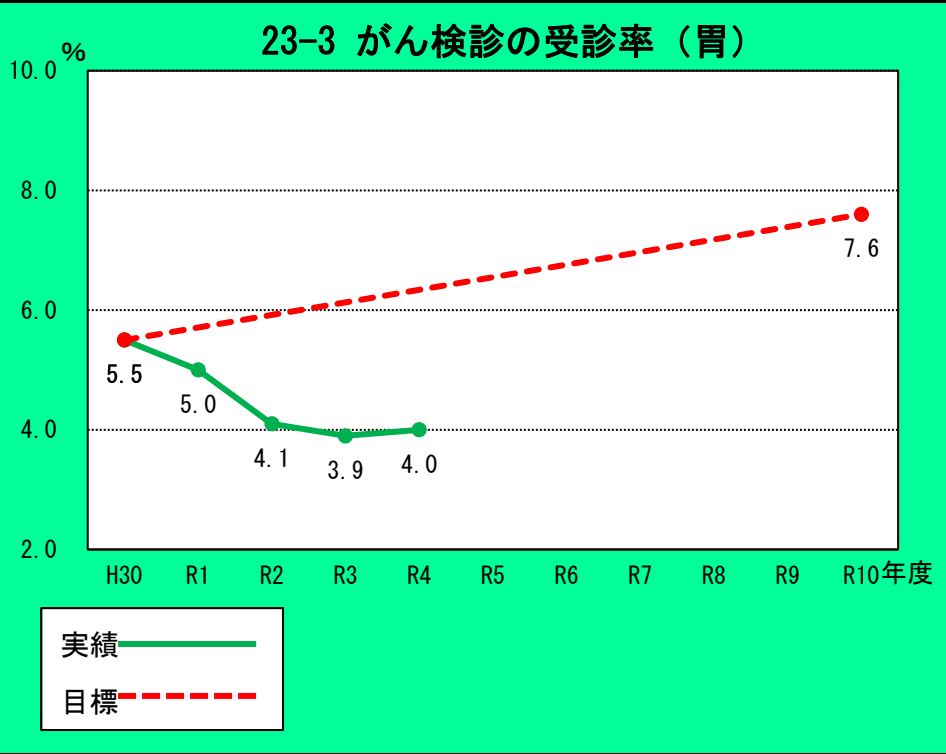
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 植山 裕美



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
0.0	↑	45.0	99.1%	45.4
R4年度 (2022)	45.0 %	R5年度 (2023)	$\frac{0}{5}$ 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
運動習慣のある女性の割合は、男性より低いものの増加傾向にある。 目標達成に向けて、運動をするきっかけづくりになるように、健康ポイント事業やヘルスアップ教室、王寺町健康ステーションについて広報や各種保健事業等で参加を呼びかけていく。				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(12) 健康づくりの推進
具体的施策	(23) 健康づくり

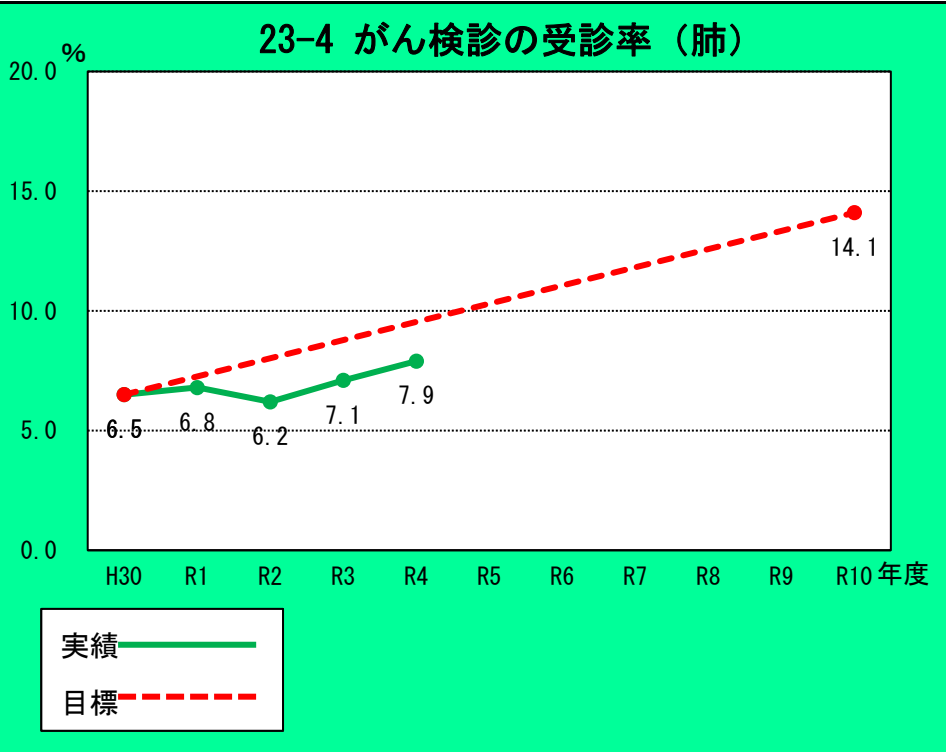
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 植山 裕美



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
5.5	↓	4.0	-71.4%	7.6
H30年度 (2018)	-1.5 %	R4年度 (2022)	4 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
受診率は減少傾向にあったが、R4年度は横ばい傾向となっている。その理由として、胃がん検診はバリウム又は胃カメラを選択できるが、どちらにしても身体的負担が大きいことやコロナ禍での受診控えが考えられる。また、胃カメラを受けると次年度はバリウムも胃カメラも受けることができないことも理由と考えられる。 今後も生活習慣病予防に関する普及啓発や受診勧奨を継続する。				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(12) 健康づくりの推進
具体的施策	(23) 健康づくり

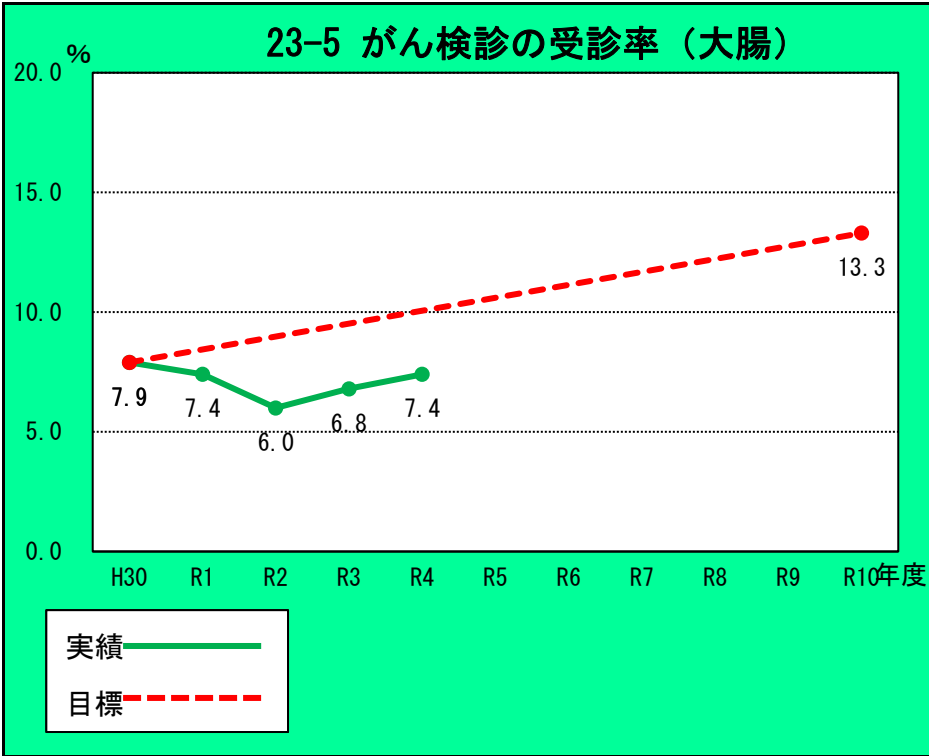
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 植山 裕美



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
6.5	↑	7.9	18.4%	14.1
H30年度 (2018)	1.4 %	R4年度 (2022)	4 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
受診率は増加傾向にある。その理由として、H30年度から肺がん健診のコールリコール事業を実施していることが一因と考える。王寺町の死因第1位は悪性新生物で、中でも「気管、気管支及び肺」が最も多いため対象としている。（出典：第4次王寺町健康増進計画及び食育推進計画） 今後も生活習慣病予防に関する普及啓発や受診勧奨を継続する。				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(12) 健康づくりの推進
具体的施策	(23) 健康づくり

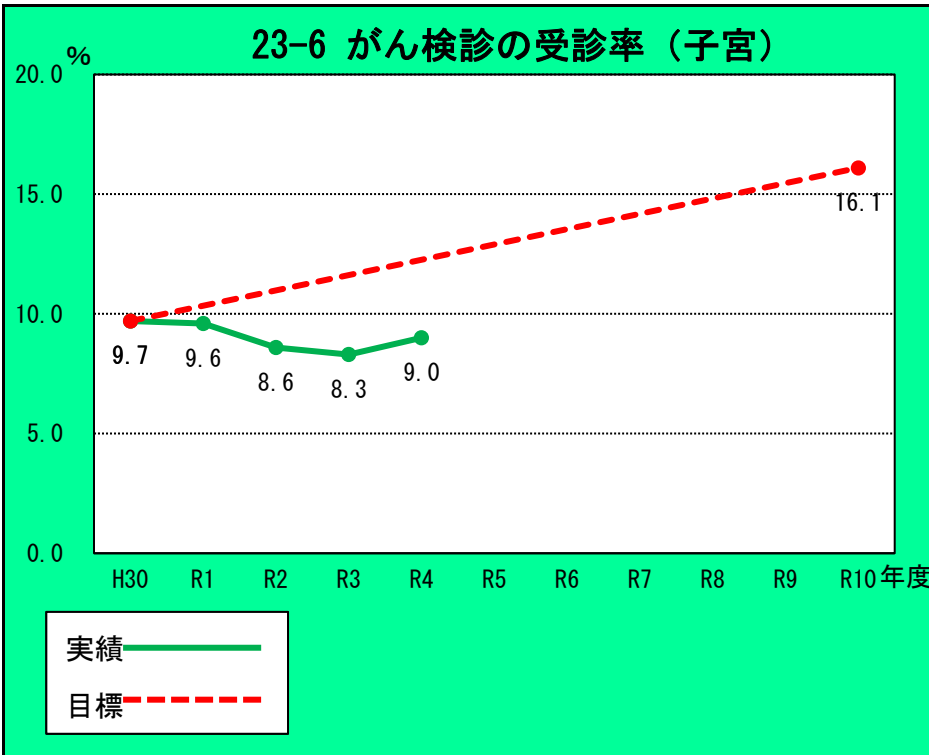
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 植山 裕美



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
7.9	↓	7.4	-9.3%	13.3
H30年度 (2018)	-0.5 %	R4年度 (2022)	$\frac{4}{5}$ 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
受診率はR2年度までは減少傾向となっているが、その後回復している。減少の理由としては、コロナ禍での受診控えが考えられる。 今後も生活習慣病予防に関する普及啓発や受診勧奨を継続する。				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(12) 健康づくりの推進
具体的施策	(23) 健康づくり

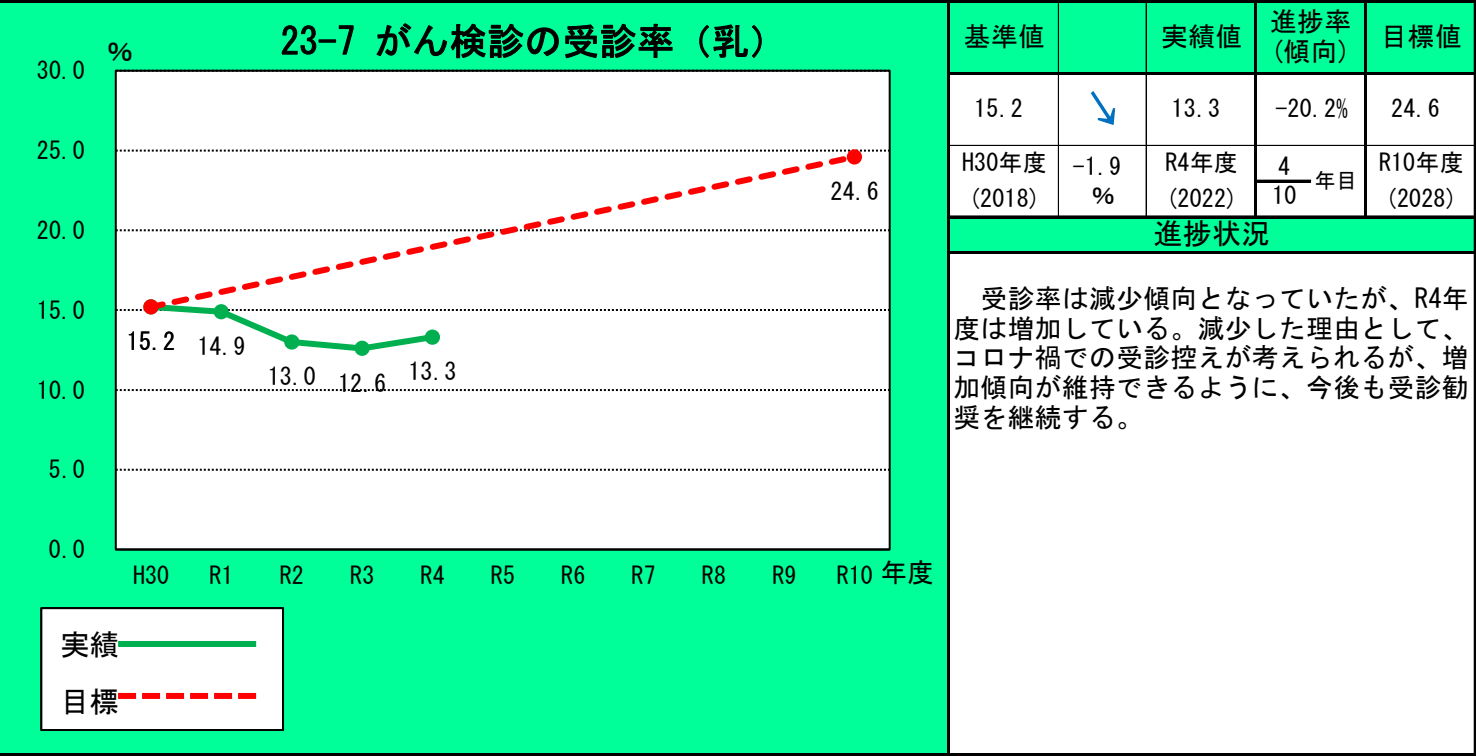
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 植山 裕美



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
9.7	↓	9.0	-10.9%	16.1
H30年度 (2018)	-0.7 %	R4年度 (2022)	$\frac{4}{10}$ 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
受診率は減少傾向となっていたが、R4年度は増加している。減少した理由として、コロナ禍での受診控えが考えられるが、増加傾向が維持できるように、今後も受診勧奨を継続する。				

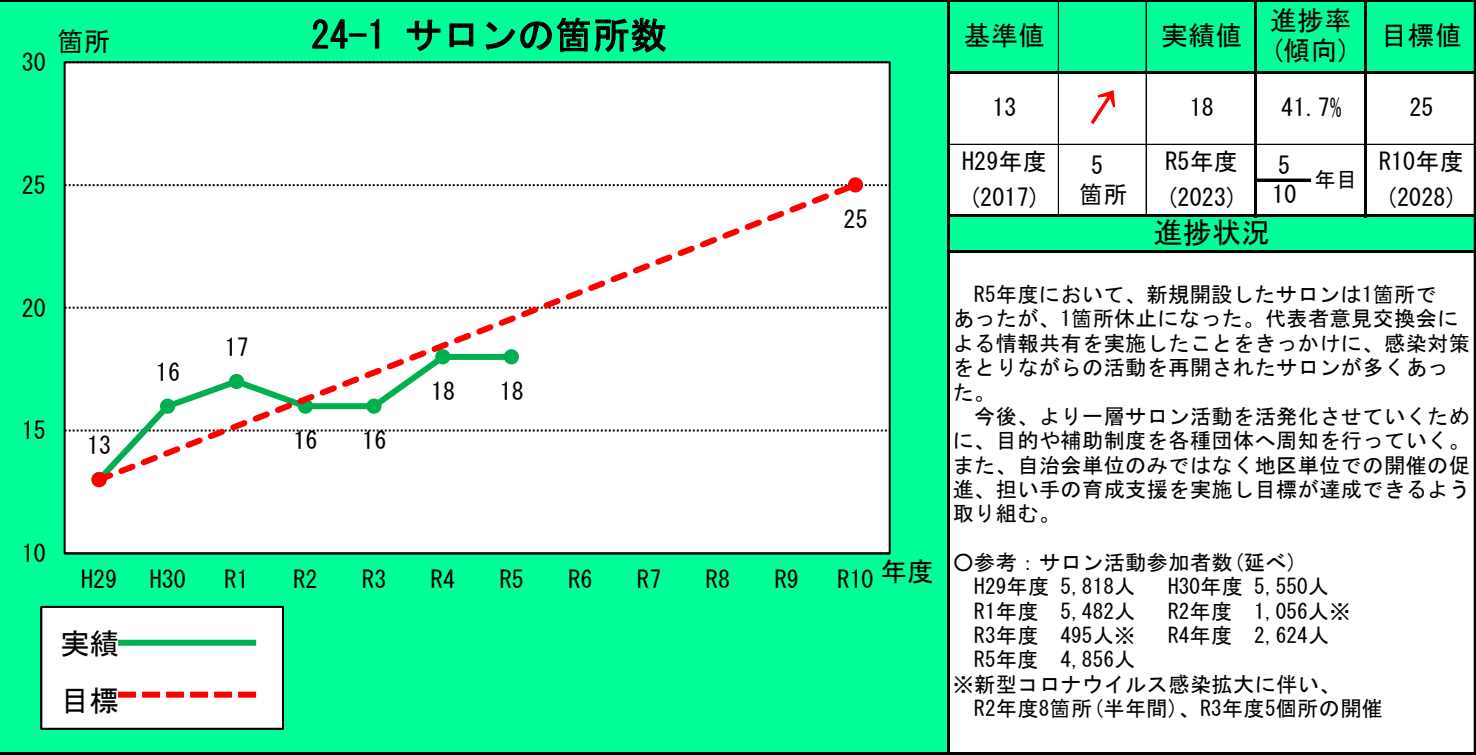
基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(12) 健康づくりの推進
具体的施策	(23) 健康づくり

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 植山 裕美



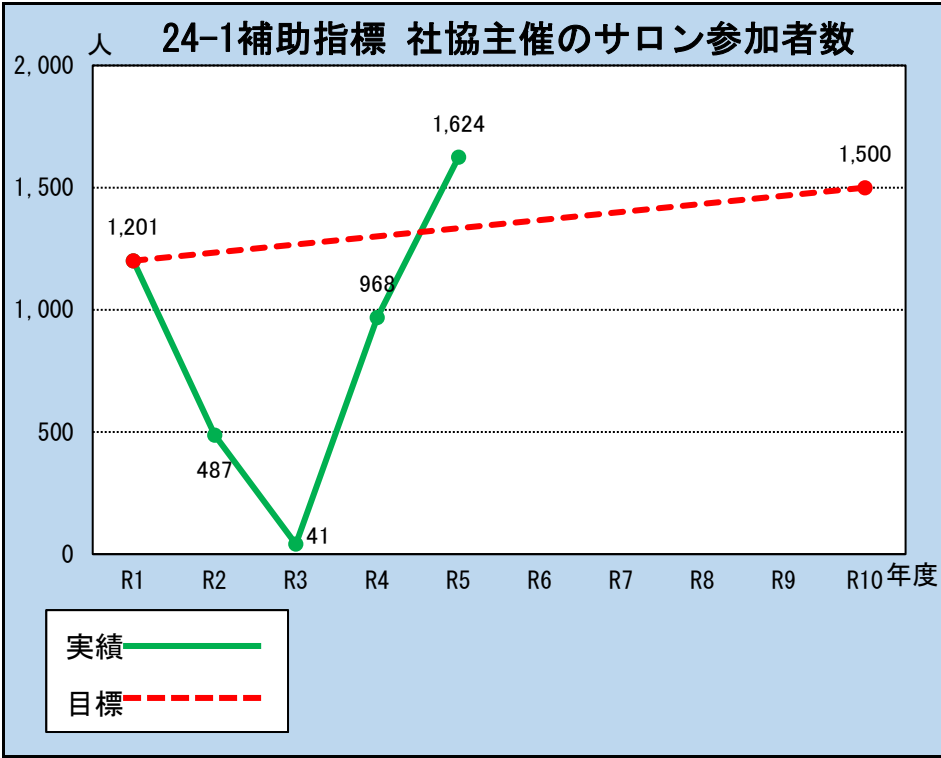
基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(13) 地域で支え合うまちづくり
具体的施策	(24) 地域福祉

担当部署・指標管理責任者
社会福祉協議会 課長 坂本 晃之



基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(13) 地域で支え合うまちづくり
具体的施策	(24) 地域福祉

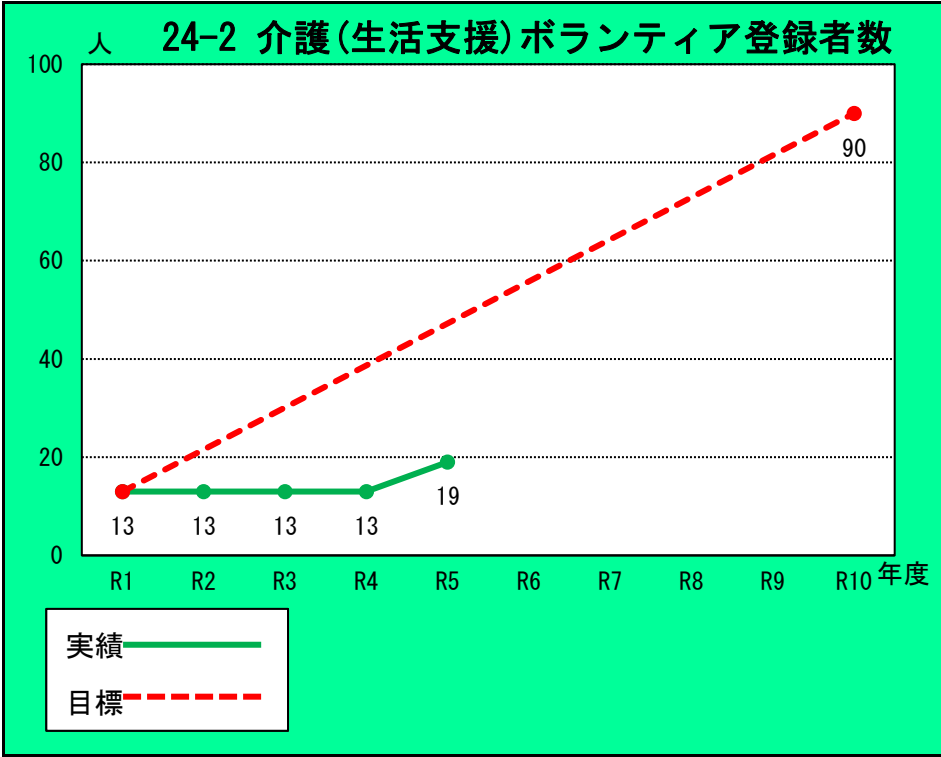
担当部署・指標管理責任者
社会福祉協議会 課長 坂本 晃之



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
1,201	↑	1,624	141.5%	1,500
R1年度 (2019)	423 人	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
社会福祉協議会が主催するサロン。やわらぎ会館(北部)、老人憩の家「片岡の家」(中部)、文化福祉センター(南部)の参加人数。				
○参考：サロン活動参加者数				
R1年度 1,201人				
R2年度 487人				
R3年度 41人				
R4年度 968人				
R5年度 1,624人				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(13) 地域で支え合うまちづくり
具体的施策	(24) 地域福祉

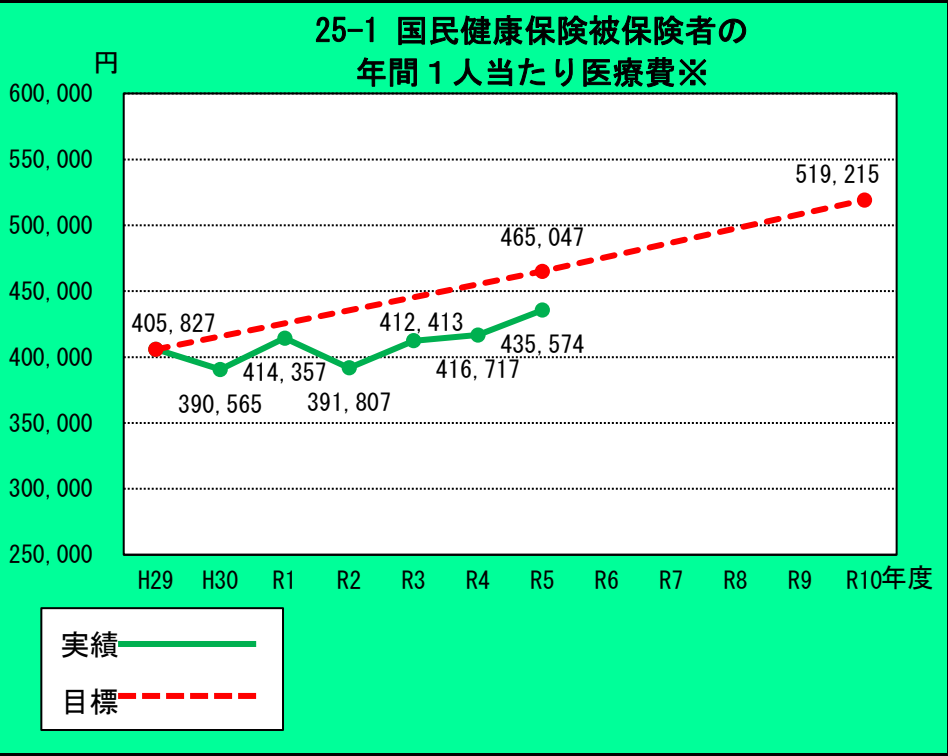
担当部署・指標管理責任者
社会福祉協議会 課長 坂本 晃之



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
13	↑	19	7.8%	90
R1年度 (2019)	6 人	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
介護(生活支援ボランティア)養成講座について、R2～4年度はコロナ禍により休講していたが、R5年度から再開した。				
また卒業生に対してフォローアップ講座を実施し登録者の拡大を行う。				
・実績 R1年度 13名				
R5年度 6名				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(13) 地域で支え合うまちづくり
具体的施策	(25) 国民健康保険

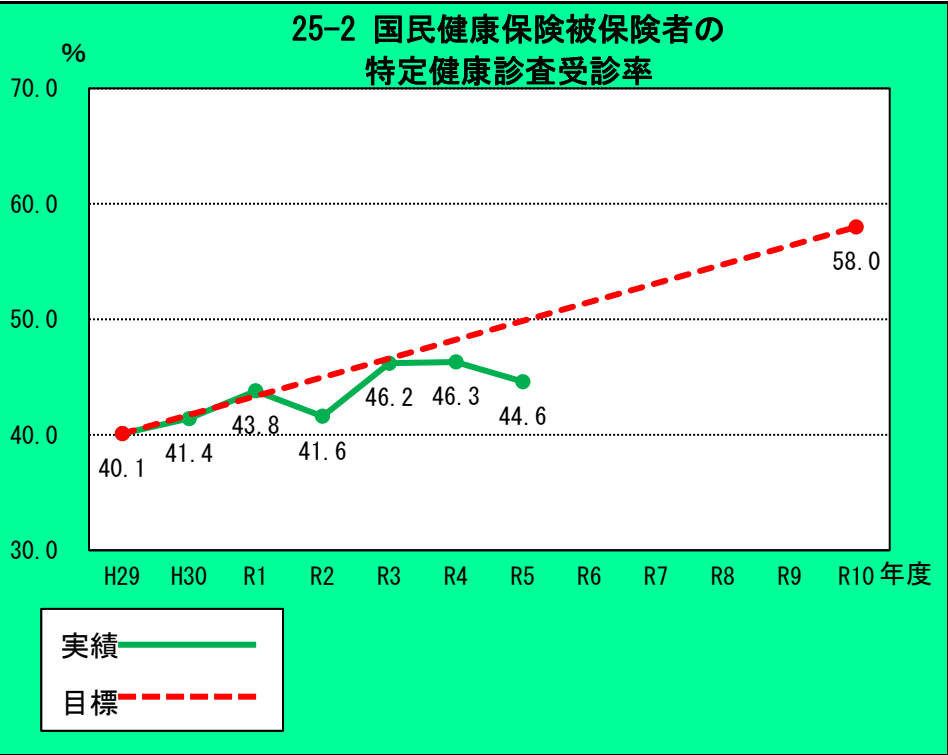
担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 国保健康推進課 課長 大崎 真由美



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
405,827	↑	435,574	119.2%	519,215
H29年度 (2017)	29,747 円	R5年度 (2023)	5/10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
国民健康保険被保険者の年間1人当たりの医療費は、昨年度より18,857円増加した。R5年5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、「受診控え」という現象が見られなくなったためと思われる。 R5年度に実施したレセプト分析では、医療費の上位1位が慢性腎臓病(透析あり)、2位が糖尿病であったことから、第3期データヘルス計画の期間(R6～R11年度の6年間)においても、糖尿病性腎症重症化予防事業を実施する。また、ジェネリック医薬品の利用促進や重複・多剤投薬者への注意喚起も継続して実施することで、被保険者の健康寿命の延伸と医療費の適正化を図っていく。				
※は数値が低い方が良くなる指標です。				

基本目標	4 健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(13) 地域で支え合うまちづくり
具体的施策	(25) 国民健康保険

担当部署・指標管理責任者
住民福祉部 国保健康推進課 課長 大崎 真由美



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
40.1	↑	44.6	25.1%	58.0
H29年度 (2017)	4.5 %	R5年度 (2023)	5/10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R5年度の受診率(暫定値)は44.6%で、前年度実績(11月頃に出る最終値)より1.7ポイント減となっているものの、昨年同時期の暫定値と比べれば±0であった。 R6年度からは、人間ドック費用助成事業を拡充(補助率1/2→10/10、助成上限額2万円。但し、当該年度中に節目年齢(40歳から5歳刻みの年齢)に達する方については助成上限額3万円。)するとともに、集団での特定健康診査に合わせて骨密度測定を行うことで、受診率アップにつなげる。				

5 人を育みみんなが学べるまちづくり

数値目標

5(1) 合計特殊出生率

K P I

具体的施策26 子育て支援

- 26-1 子育て広場の年間利用者数(延べ)
- 26-2 補助指標「日常の育児の相談相手」がいない保護者の割合【乳幼児健診】
- 26-3 「子育てをする上で気軽に相談できる人や場所」がない保護者の割合【義務教育学校1～6年生(小学生)児童を持つ保護者】

具体的施策27 母子保健

- 27-1 王寺町で子育てをしたいと思う親の割合【4か月児の親】
- 27-2 王寺町で子育てをしたいと思う親の割合【3歳6か月児の親】
- 27-3 夜10時までに寝る生活リズムを持つ1歳6か月児の割合

具体的施策28 保育環境

- 28-1 保育園入所待機児童数
- 28-2 保育サービスに関する満足度
- 28-2 補助指標 保育サービスに関する満足度【3歳6か月児健診時アンケート】

具体的施策29 就学前教育

- 29-1 「子どもをこの幼稚園に通わせてよかった」と思う保護者の割合
- 29-2 「子どもは幼稚園で自分らしさを出し、思っていることが言える」と思う保護者の割合

具体的施策30 学校教育

- 30-1 全国学力・学習状況調査(9年生(中3))平均正答率【国語】
- 30-2 全国学力・学習状況調査(9年生(中3))平均正答率【数学】
- 30-3 全国学力・学習状況調査(9年生(中3))平均正答率【英語】

30-3 補助指標 総合学力調査(9年生(中3))

IRT 平均到達スコア【英語】

- 30-4 全国学力・学習状況調査(9年生(中3))の「規範意識」
- 30-5 全国体力・運動能力、運動習慣等調査(8年生(中2))における平均点【男子】
- 30-6 全国体力・運動能力、運動習慣等調査(8年生(中2))における平均点【女子】

具体的施策31 生涯学習

- 31-1 生涯学習施設の利用者数
- 31-2 住民1人当たりの図書貸出冊数

具体的施策32 青少年健全育成

- 32-1 青少年リーダー(中高生)の登録者数
- 32-2 地域の行事に参加している6年生の割合
- 32-3 地域の行事に参加している9年生の割合

具体的施策33 文化財

- 33-1 国・県・町指定文化財及び国登録文化財の件数
- 33-2 観光協会やボランティアガイドによる文化財の年間観光案内人数

具体的施策34 芸術・文化活動

- 34-1 町主催の文化事業の来場者数
- 34-2 「音楽のあるまちづくり」団体加入者数

具体的施策35

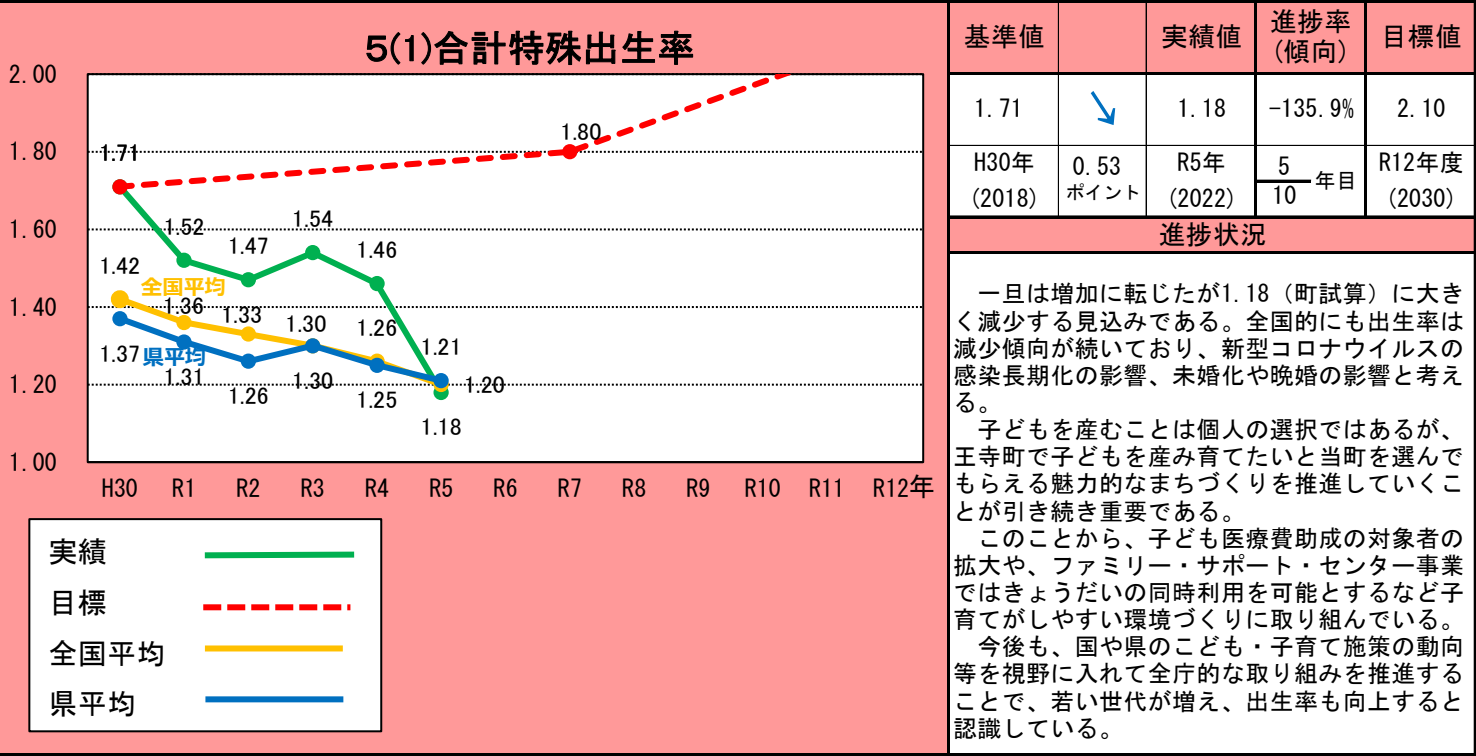
スポーツ・レクリエーション

- 35-1 「総合型地域倶楽部王寺やわらぎトラスト」の年間参加者数
- 35-2 町内体育施設の年間利用者数

数値目標

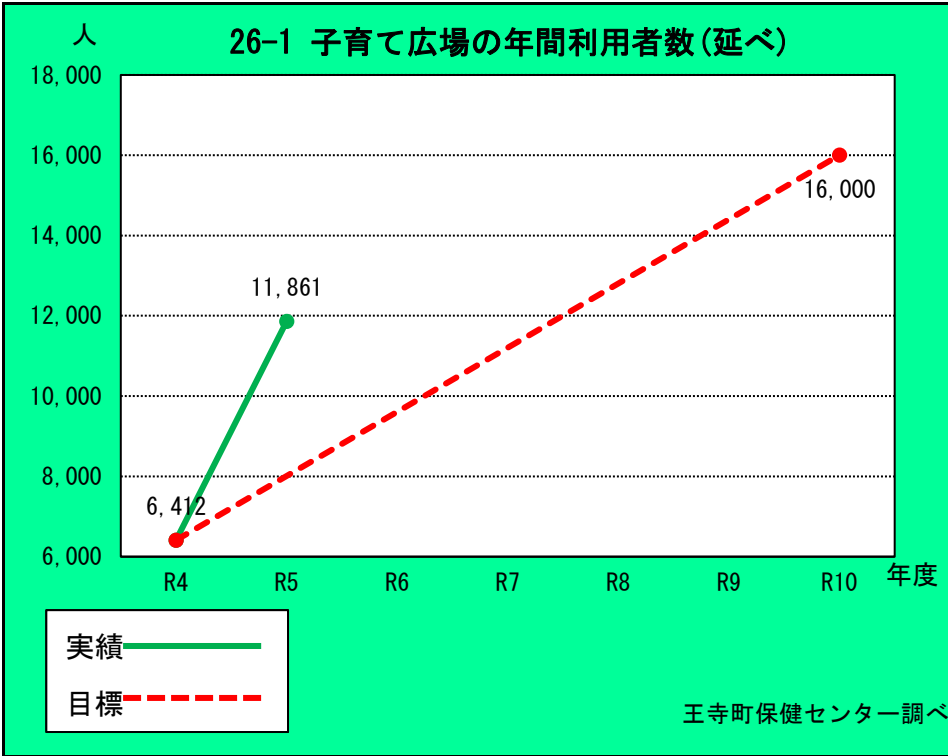
基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	すべての住民が生涯学び続けることができ、地域の歴史文化に親しめる町をつくる

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 部長 増田 淳子



基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(14) 子ども・子育て支援の充実
具体的施策	(26) 子育て支援

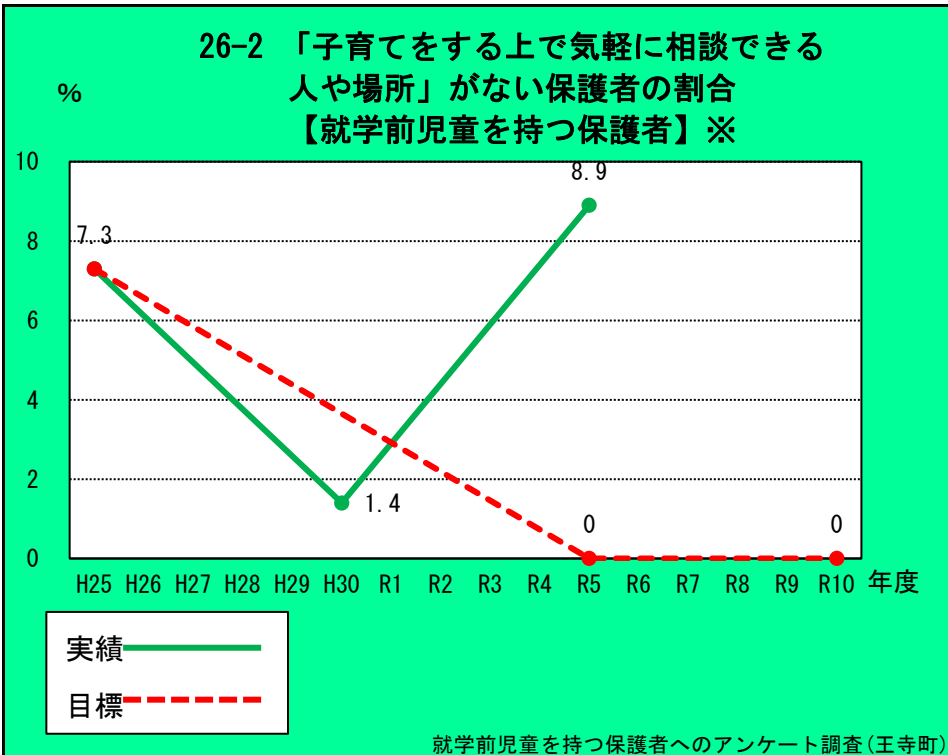
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 植山 裕美



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
6,412	↑	11,861	56.8%	16,000
R4年度 (2022)	5,449 人	R5年度 (2023)	0 5 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
コロナ禍を脱し、R5年度より定員を拡大し実施したため利用者は増加した。お誕生日会や「作ってあそぼう」「絵本のひろば」も再開し、利用者は楽しんで参加されている。また、保健師や専門職による子育て相談等を実施している。 個別相談が必要な親子には、広場に参加していない日にも保健師等から積極的に電話や訪問をして対応している。 OR4年度の子育て広場中止状況 ・ R4. 1. 20～R4. 5. 22の間 ・ R4. 7. 23～9. 19の間				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(14) 子ども・子育て支援の充実
具体的施策	(26) 子育て支援

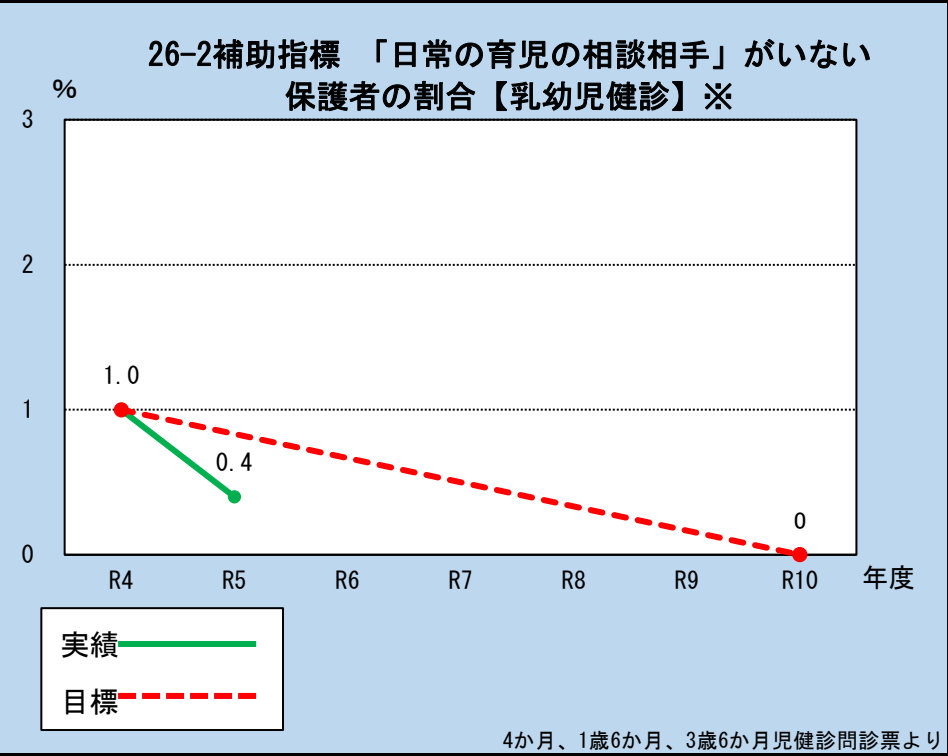
担当部署・指標管理責任者
健康・子育て支援部 子育て支援課 課長 芳川 典生



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
7.3	↑	8.9	-21.9%	0
H25年度 (2013)	1.6 %	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R5年度(R6年2月)に実施したこども・子育てに関するニーズ調査結果は、前回調査より大きく割合が増加する結果となった。相談できる相手として「配偶者」「自分または配偶者の両親、兄弟姉妹」「友人や知人」と回答した割合が減少しており、「相談先がない」とした理由としては、「誰に相談していいのかわからない」が最も多く、次いで「人づきあいが苦手だから」となっている。 R6年度から、全ての妊産婦、子育て世帯、こどもへ一体的に相談支援を行う、こども家庭センターを新たに開設し、身近で気軽に相談できる窓口(場所)として、子育てに困難を抱える家庭等を支援していく。また保健センターで実施している子育て広場(すくすく広場)においても、引き続き子育て相談を実施し、「相談先がない」割合が減少するよう取り組んでいく。				
※は数値が低い方が良くなる指標です。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(14)子ども・子育て支援の充実
具体的施策	(26)子育て支援

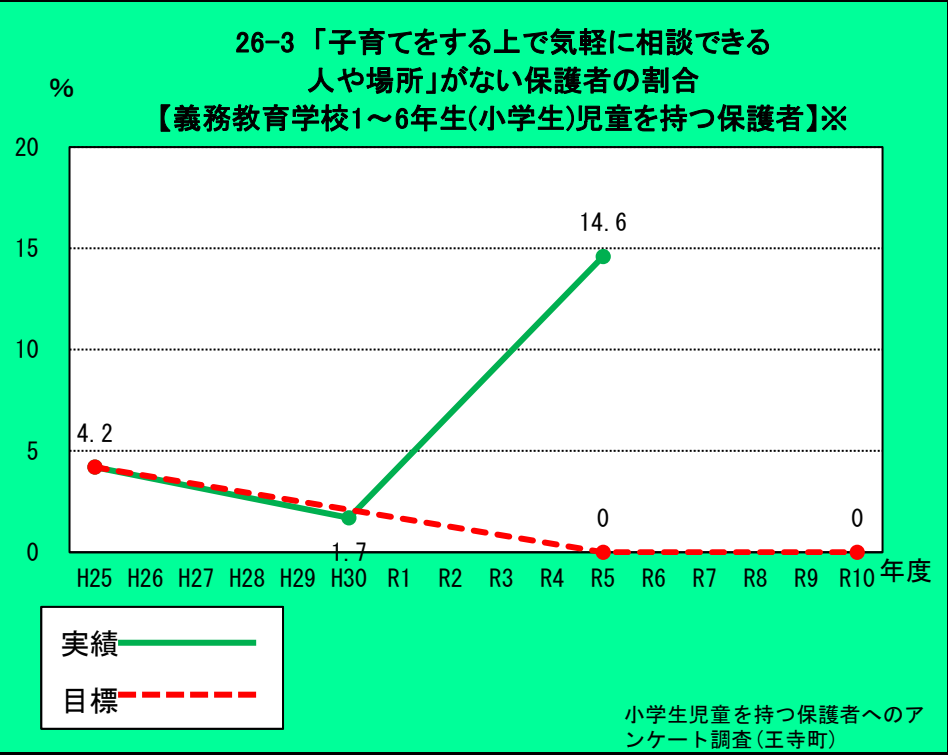
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 植山 裕美



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
1.0	↓	0.4	60.0%	0
R4年度 (2012)	-0.6 %	R5年度 (2023)	0 5 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
日常の育児の相談相手がない保護者の割合は、減少傾向にある。保健センターで実施している事業（子育て広場や子育て教室など）が交流の場となっているほか、妊娠初期からの継続的な関わりをを提供しており、気軽に子育てについて相談できる環境があると思われる。今後も妊娠期からの切れ目のない支援を継続し、必要な子育て支援策を提案していく。				
※は数値が低い方が良くなる指標です。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(14)子ども・子育て支援の充実
具体的施策	(26)子育て支援

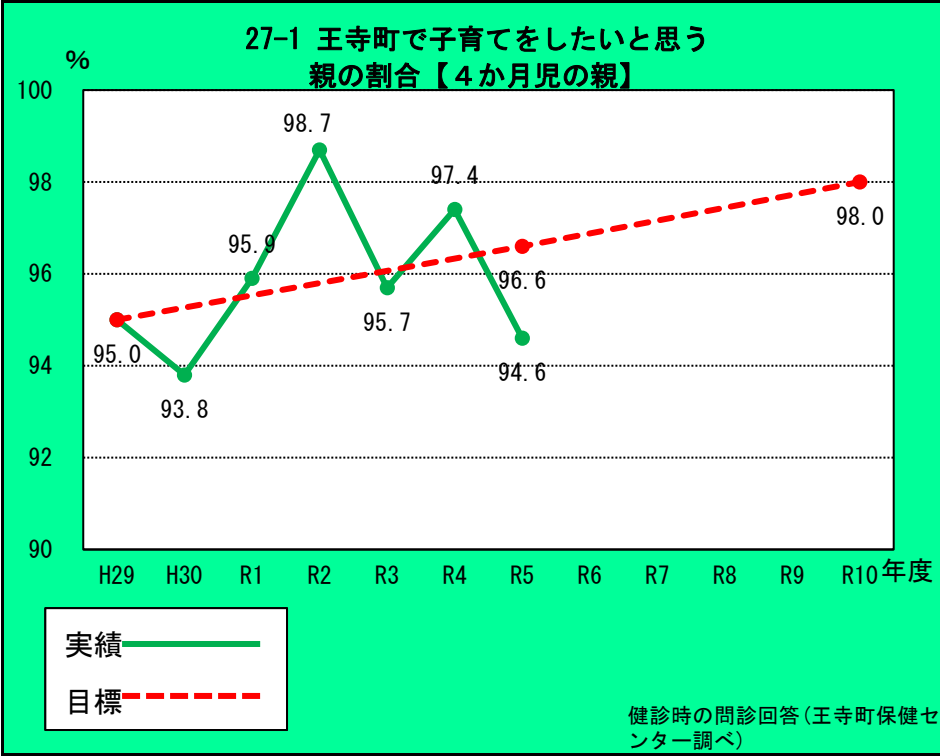
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 子育て支援課 課長 芳川 典生



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
4.2	↑	14.6	-247.6%	0
H25年度 (2013)	10.4 %	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R5年度（R6年2月）に実施したこども・子育てに関するニーズ調査結果は、前回調査より大きく割合が増加する結果となった。相談できる相手として「配偶者」「自分または配偶者の両親、兄弟姉妹」「友人や知人」と回答した割合が減少しており、「相談先がない」とした理由としては、「誰に相談していいかわからない」が最も多く、次いで「人づきあいが苦手だから」となっている。R6年度から、全ての妊産婦、子育て世帯、こどもへ一体的に相談支援を行う、こども家庭センターを新たに開設し、身近で気軽に相談できる窓口（場所）として、子育てに困難を抱える家庭等を支援していく。また保健センターで実施している子育て広場（すくすく広場）においても、引き続き子育て相談を実施し、「相談先がない」割合が減少するよう取り組んでいく。				
※は数値が低い方が良くなる指標です。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(14) 子ども・子育て支援の充実
具体的施策	(27) 母子保健

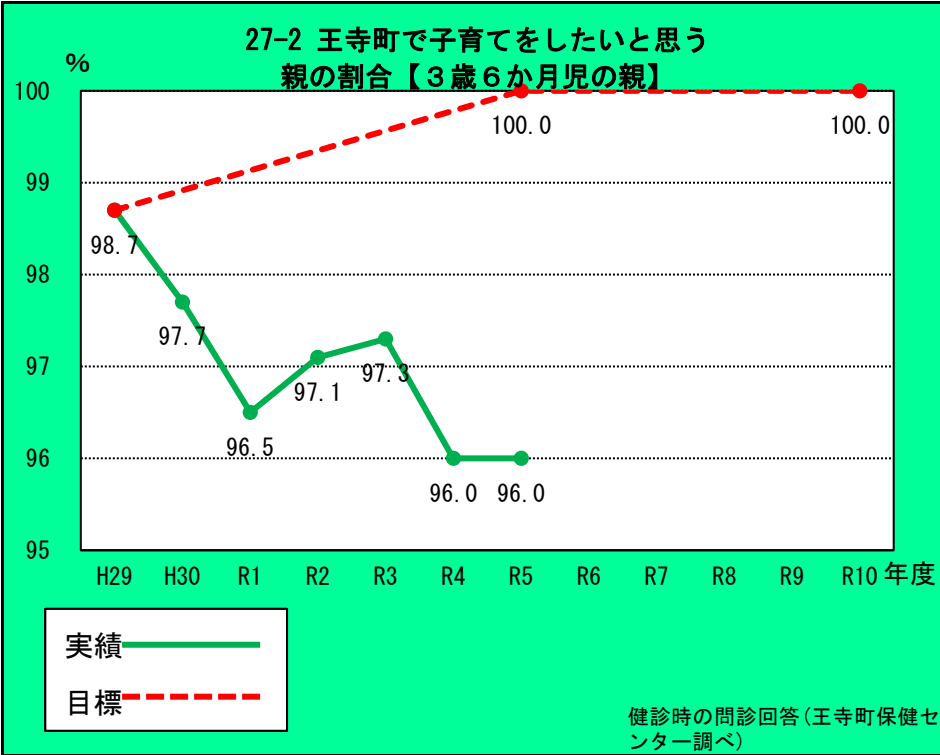
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 植山 裕美



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
95.0	↓	94.6	-13.3%	98.0
H29年度(2017)	-0.4%	R5年度(2023)	5/10年目	R10年度(2028)
進捗状況				
王寺町で子育てをしたいと思う親の割合は、多少の増減はあるものの、高い水準を保っている。 保健センターで実施している事業（任意接種費用助成[おたふくかぜ・子どもインフルエンザ]、不育治療費助成等）だけでなく、在園第2子目の保育料減免や町立幼稚園の預かり保育の実施等、子育て施策を推進してきた結果と考える。 今後も現状値が維持できるよう、親の困り事やニーズの把握に努め、必要な子育て支援策を提案していきたい。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(14) 子ども・子育て支援の充実
具体的施策	(27) 母子保健

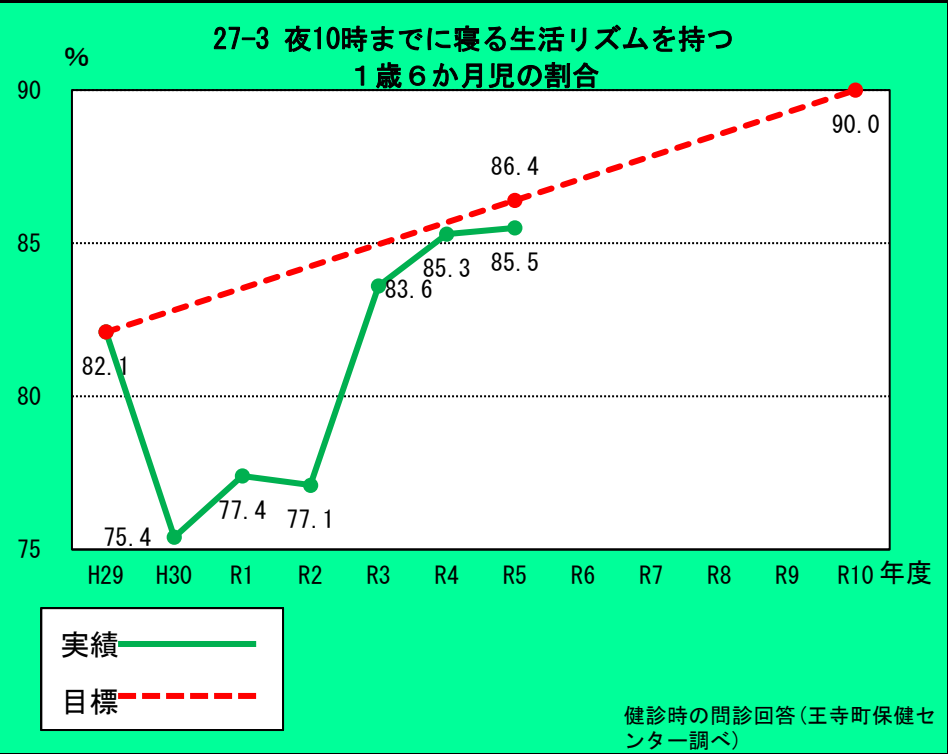
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 植山 裕美



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
98.7	↓	96.0	-207.7%	100
H29年度(2017)	-2.7%	R5年度(2023)	5/10年目	R10年度(2028)
進捗状況				
王寺町で子育てをしたいと思う親の割合は非常に高く、H29年度より減少したもののかかなり高い水準となっている。 保健センターで実施している事業だけでなく、町全体で実施している子育て施策を推進してきた結果と考える。 子どもが成長するに伴い子育ての悩み等も多様化していくため、親の困り事やニーズの把握に努め、必要な子育て支援策を提案していきたい。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(14) 子ども・子育て支援の充実
具体的施策	(27) 母子保健

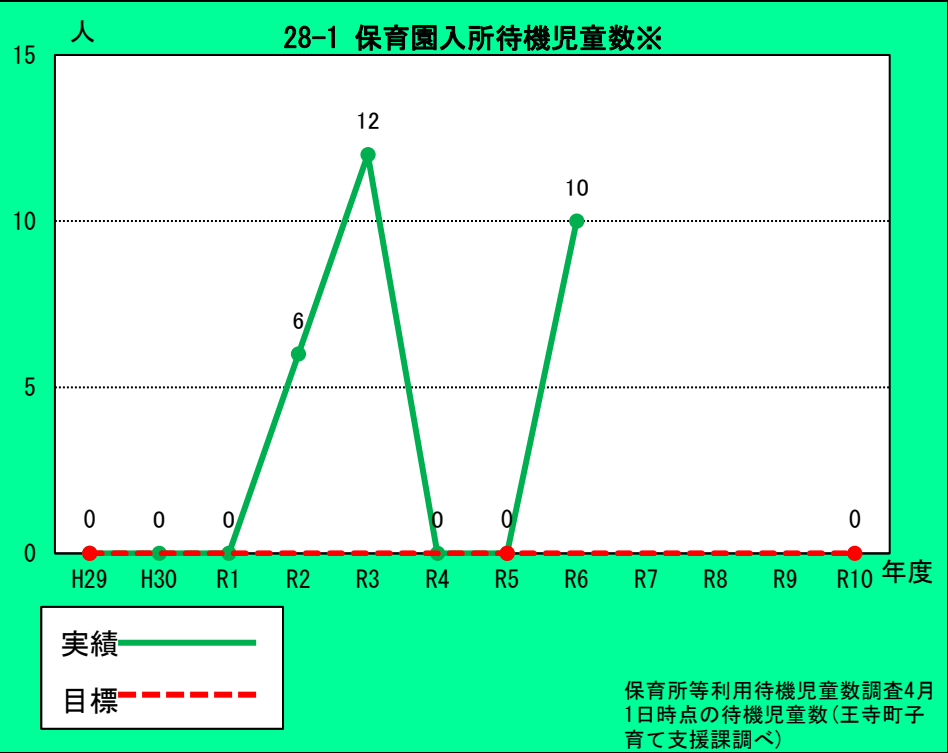
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 保健センター 課長 植山 裕美



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
82.1	↑	85.5	43.0%	90.0
H29年度 (2017)	3.4 %	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
夜10時までに寝る生活リズムを持つ子どもの割合は、一時期は大きく減少したものの増加傾向にある。 減少した背景には、働く母親の増加により時間に余裕がなく、親自身も就寝時間が遅いことが考えられるが、乳幼児健診や母子教室の機会を通して、生活リズムを整えることの大切さを保護者に啓発し、その結果として増加傾向に転じたと考えられる。 今後も、子どもの成長には規則正しい生活リズムが大切であることに加え、幼児期の生活リズムは親が形成していくものであることを含めて啓発を続けていきたい。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(14) 子ども・子育て支援の充実
具体的施策	(28) 保育環境

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 子育て支援課 課長 芳川 典生

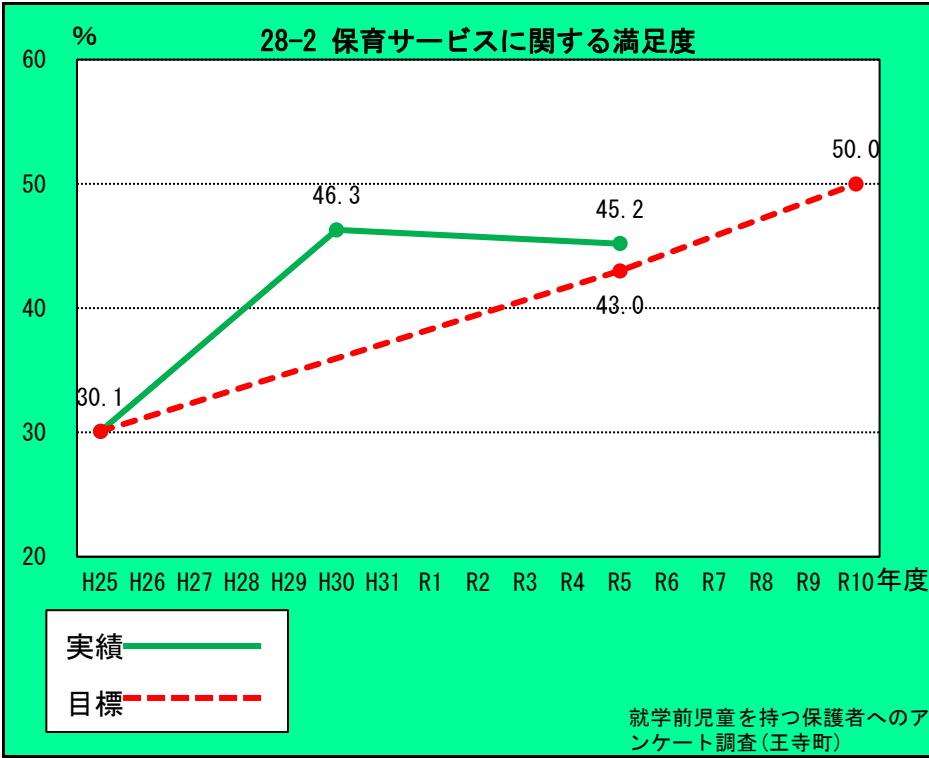


基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
0	↑	10	—	0
H29年度 (2017)	10 人	R6年度 (2024)	6 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R6年度の待機児童数は、10人で、R3年度以来の発生となった。町内保育所等の保育士不足により、入所調整ができなかったことが原因である。 現在、待機児童対策、また女性の就業率増加や国の子育て政策の強化による保育ニーズの増加に対応するため、定員90人の民間の認定こども園整備を進めており、R7年4月に開園予定となっている。 また、保育士確保対策として、民間保育所等の常勤保育士への処遇改善(給与加算)を実施することにより、引き続き待機児童対策に取り組んでいく。				

※は数値が低い方が良くなる指標です。

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(14) 子ども・子育て支援の充実
具体的施策	(28) 保育環境

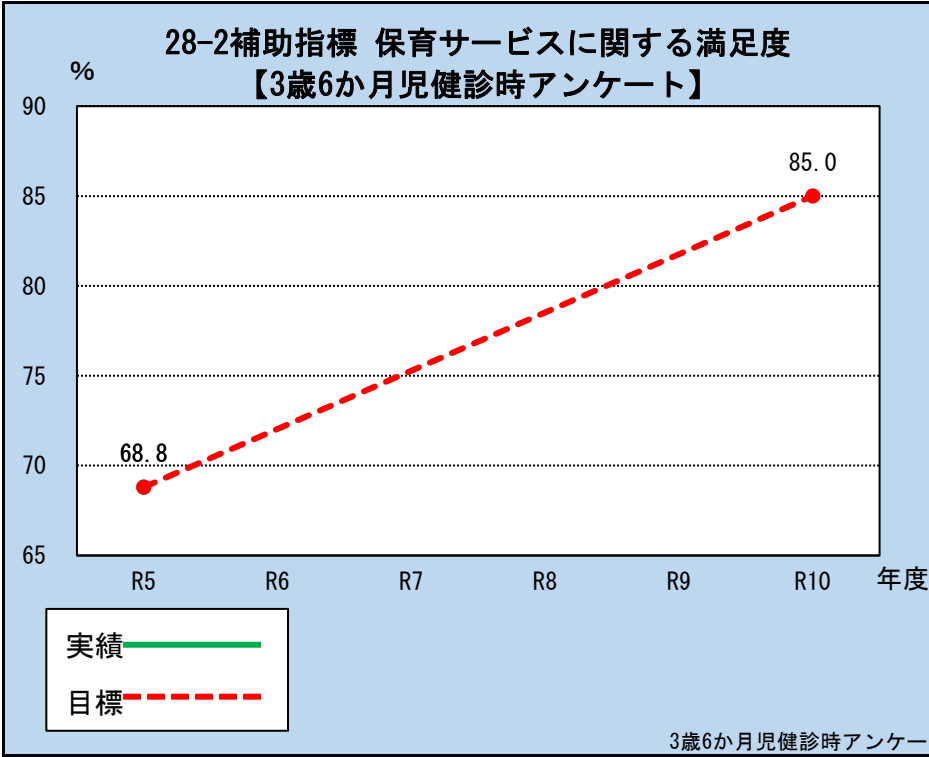
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 子育て支援課 課長 芳川 典生



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
30.1	↑	45.2	75.9%	50.0
H25年度 (2013)	15.1 %	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
前回調査時の満足度と比較すると、少し減少しているが、R5年度の目標値はクリアできている。 補助指標として実施している3.6ヶ月児健診時の保育サービスに関する満足度のアンケート結果では、68.8% (R5年度) となっている。 R7年4月には、民間の認定こども園が開園予定であり、それに合わせて第2子目以降(0~2歳児)の保育料完全無償化も実施する予定としている。 引き続き、満足度の向上に向けて取り組んでいく。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(14) 子ども・子育て支援の充実
具体的施策	(28) 保育環境

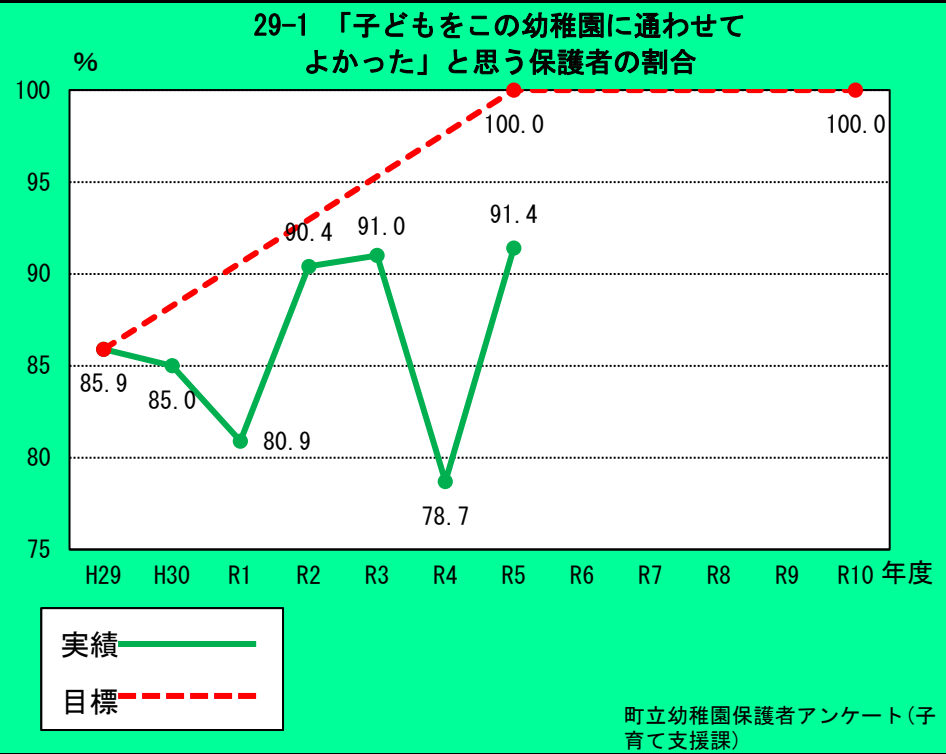
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 子育て支援課 課長 芳川 典生



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
68.8	→	68.8	0.0%	85.0
R5年度 (2023)	0.0 %	R5年度 (2023)	0 5 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
3歳6か月児健診時の保育サービスに関する満足度のアンケート結果では、68.8% (R5年度) となっている。 R7年4月には、民間の認定こども園が開園予定であり、それに合わせて第2子目以降(0~2歳児)の保育料完全無償化も実施する予定としている。 引き続き、満足度の向上に向けて取り組んでいく。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(15) 学校教育の充実
具体的施策	(29) 就学前教育

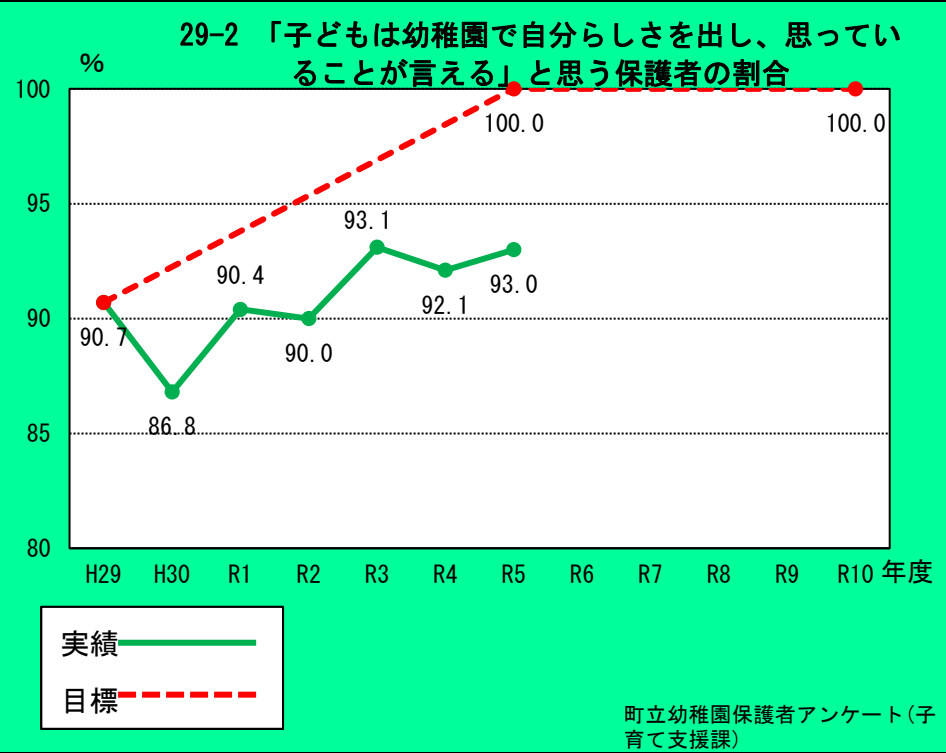
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 子育て支援課 課長 芳川 典生



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
85.9	↑	91.4	39.0%	100
H29年度(2017)	5.5%	R5年度(2023)	5/10年目	R10年度(2028)
進捗状況				
昨年度と比較すると、大幅な上昇となった。幼児一人一人の姿を園全体で把握することを丁寧に行って幼児理解を深め、幼児が安心して自己発揮できる環境を職員一丸となって整えてきたこと等により、保護者が信頼し、安心して通園させることにつながった。 引き続き、家庭や地域との連携を図り、信頼される園づくりに努め、目標値の達成に向け、取り組んでいく。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(15) 学校教育の充実
具体的施策	(29) 就学前教育

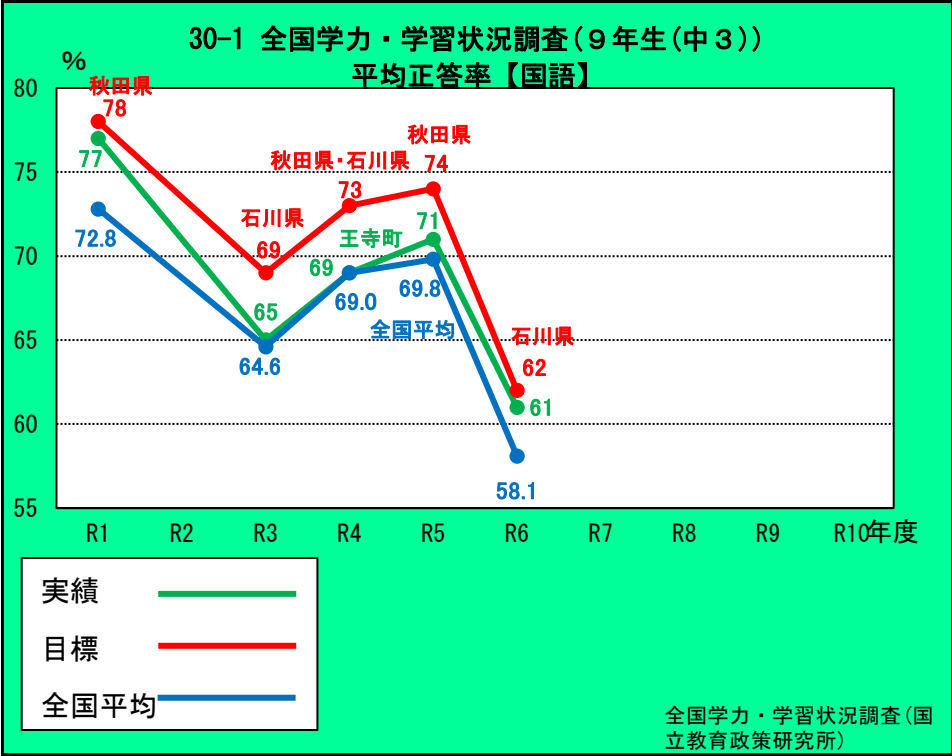
担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 子育て支援課 課長 芳川 典生



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
90.7	↑	93.0	24.7%	100
H29年度(2017)	2.3%	R5年度(2023)	5/10年目	R10年度(2028)
進捗状況				
昨年度からは、割合が上昇している。園では、幼児が教師や友達と信頼関係を築き、安心して園生活を送ることを基礎とし、発達段階に応じた取組を進めてきた。また、個人懇談等の機会を通じて、個々の幼児の周囲との関わり方、育ちや課題について保護者と確認し合い、理解を促してきたことが、評価につながっている。 引き続き、目標値の達成に向け、取り組んでいく。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(15) 学校教育の充実
具体的施策	(30) 学校教育

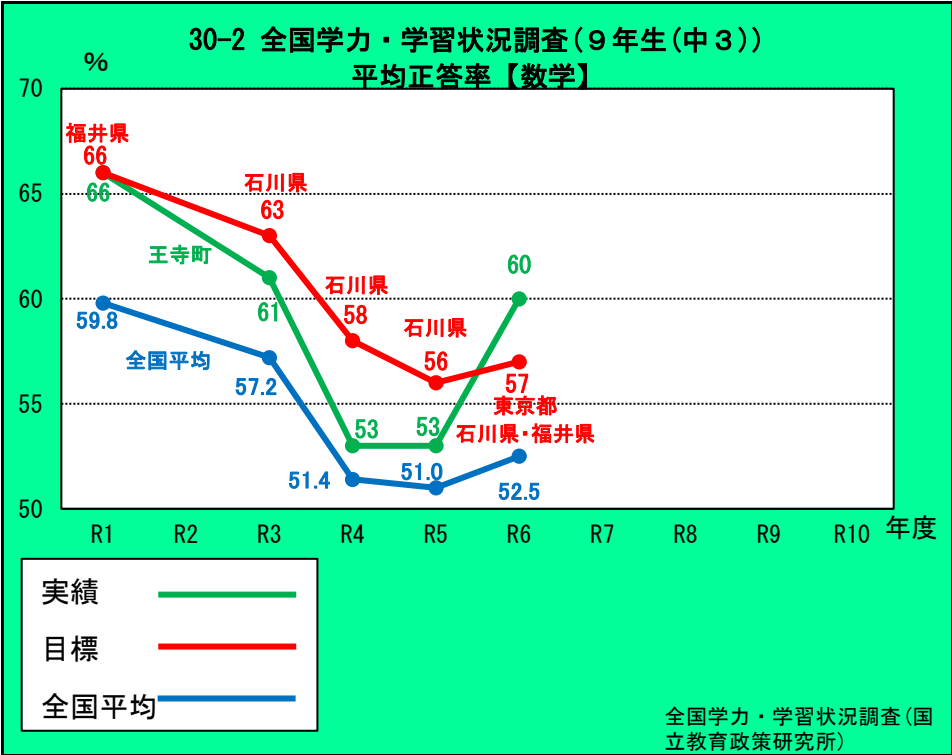
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 学校教育課 課長 小野 貴史



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
58.1	↑	61	74.4%	62
R6年度 全国平均	2.9 %	R6年度 2024	6 10 年目	R6年度 石川県
進捗状況				
図書室機能をもつICTを駆使したメディアセンターを整備し、読書活動と調べ学習の推進に取り組んだ。また、朝の読書活動の継続的な実施等により生徒の読解力向上に努めた。 本町のR6年度の平均正答率は全国平均より高く、目標値である全国1位の石川県の数値に比べ1ポイント差である。 ※R1年度から、国語に関する調査が知識・活用を一体的に問う調査に変更されたため、R1年度からの実績を掲載。 ※R2年度については、コロナ禍により全国学力・学習状況調査が実施されなかった。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(15) 学校教育の充実
具体的施策	(30) 学校教育

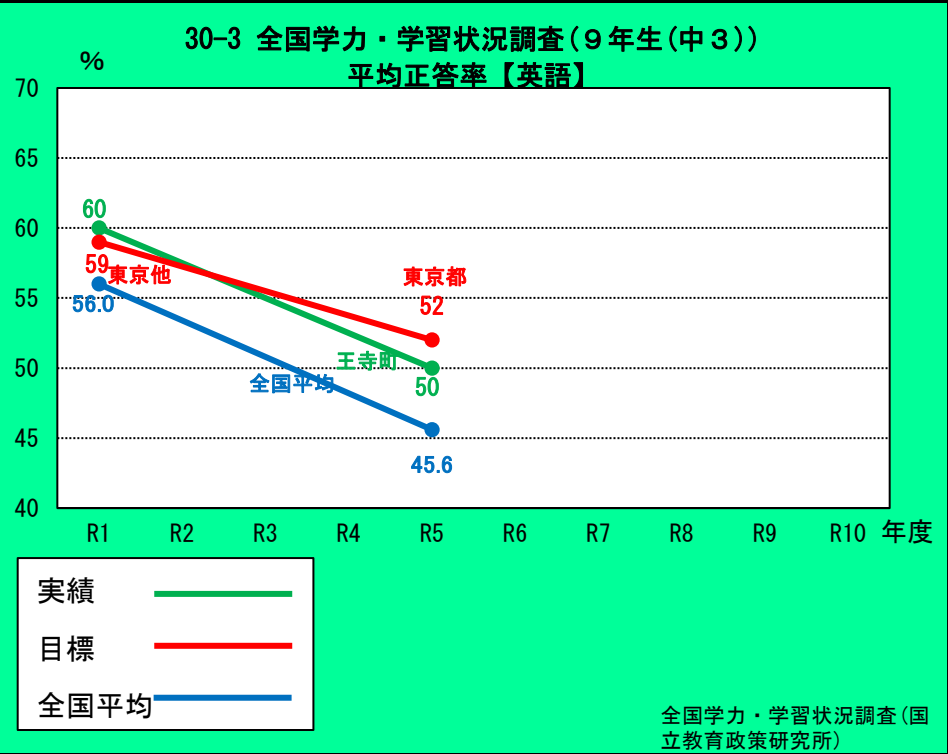
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 学校教育課 課長 小野 貴史



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
52.5	↑	60	166.7%	57
R6年度 全国平均	7.5 %	R6年度 (2024)	6 10 年目	R6年度 東京都 他
進捗状況				
5・6年生から取り組んでいる専科教員による指導や放課後の王寺町寺子屋塾(雪丸サポートスクール)等きめ細やかな学習指導の実施により、生徒の単元に対する理解の向上に努めた。 本町のR6年度の平均正答率は、目標値である全国1位の東京都・石川県・福井県を3ポイント上回った。 ※R1年度から、数学に関する調査が知識・活用を一体的に問う調査に変更されたため、R1年度からの実績を掲載。 ※R2年度については、コロナ禍により全国学力・学習状況調査が実施されなかった。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(15) 学校教育の充実
具体的施策	(30) 学校教育

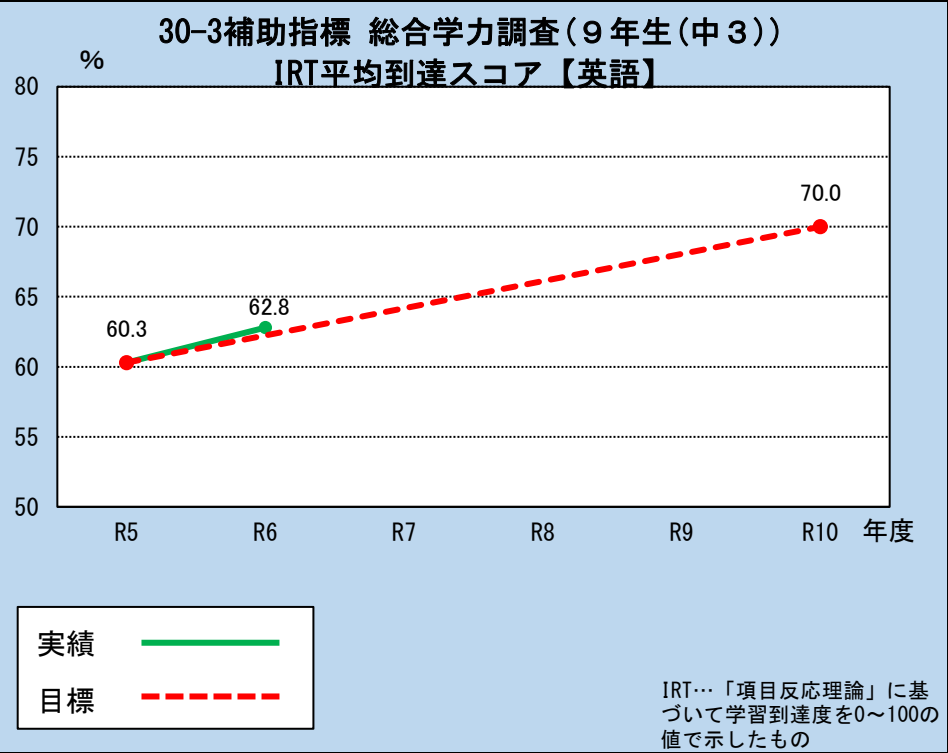
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 学校教育課 課長 小野 貴史



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
45.6	↑	50	68.8%	52
R5年度 全国平均	4.4 %	R5年度 (2023)	5 10 年目	R5年度 東京都
進捗状況				
外国語指導助手（ALT）を両義務教育学校に配置し、実践的な英語教育を実施している。また、英検対策講座を実施し、英検合格者の向上を目指す等の取組により、本町のR5年度の平均正答率は、全国平均より高く、目標値である全国1位の東京都に比べ2ポイント差である。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(15) 学校教育の充実
具体的施策	(30) 学校教育

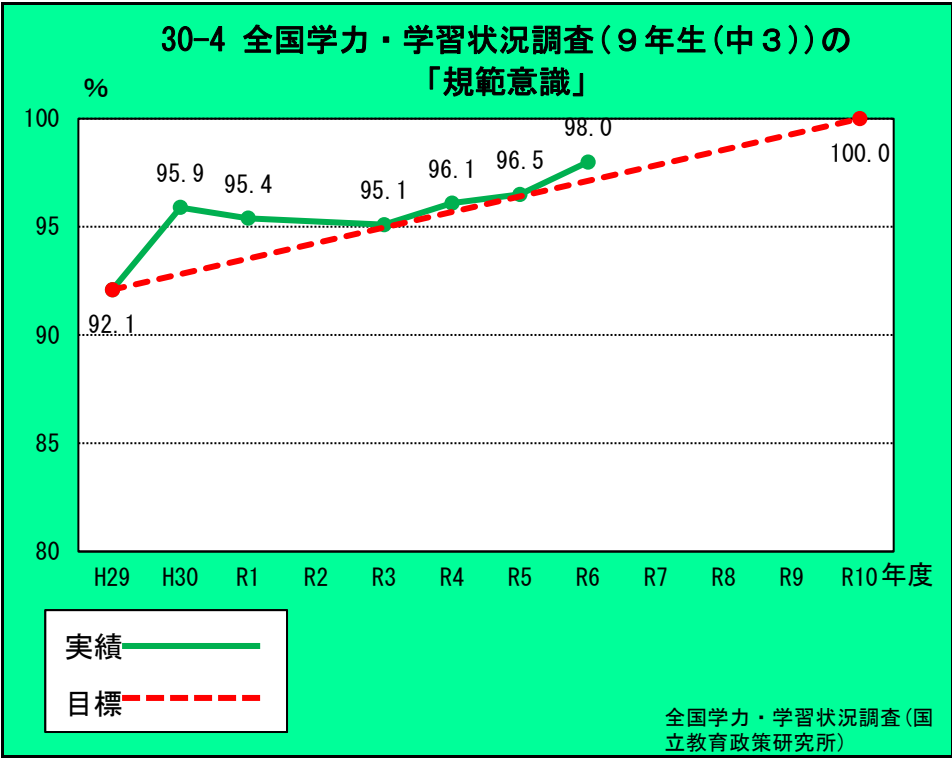
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 学校教育課 課長 小野 貴史



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
60.3	↑	62.8	25.8%	70.0
R5年度 (2023)	2.5 %	R6年度 (2024)	1 5 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R6年度の町独自で実施した総合学力調査【英語】におけるIRT（平均到達スコア）は、R5年度に対し2.5ポイント増加した。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(15) 学校教育の充実
具体的施策	(30) 学校教育

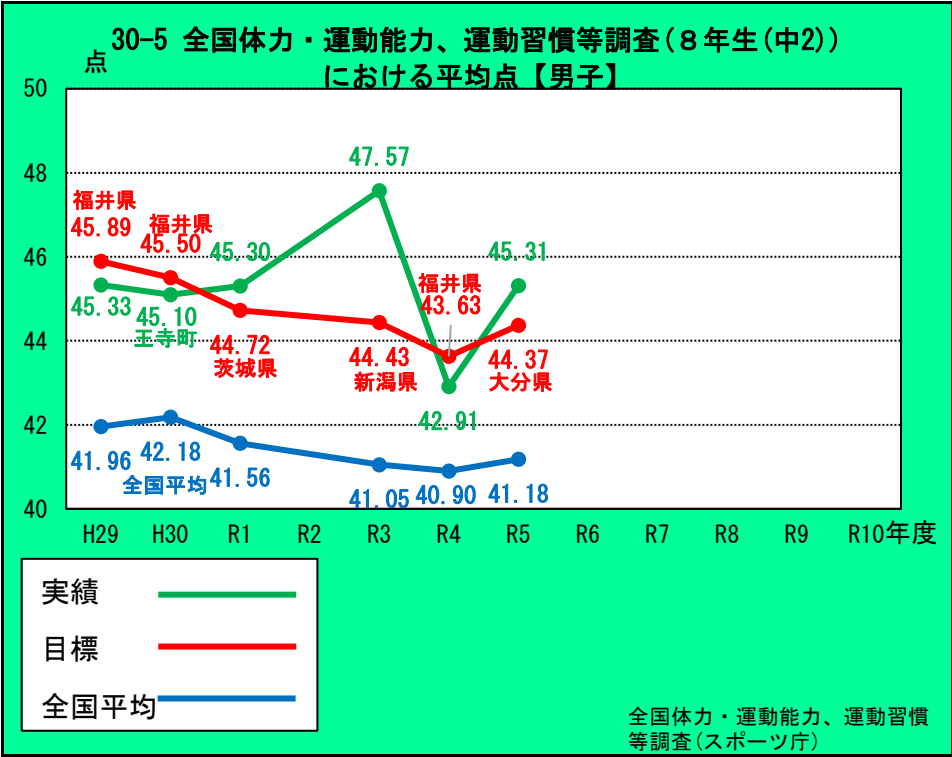
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 学校教育課 課長 小野 貴史



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
92.1	↑	98.0	74.7%	100
H29年度(2017)	5.9%	R6年度(2024)	6/10年目	R10年度(2028)
進捗状況				
道徳や特別活動などあらゆる機会をとらえ、生徒自身が考える学習を積み重ねる取組等により、R6年度全国学力・学習状況調査における「いじめはどんな理由があってもいけない」と「人の役に立つ人間になりたい」の問いに対し、「当てはまる」「どちらかという当てはまる」と回答した生徒の割合が、R5年度に対し1.5ポイント増加した。				
※R2年度については、コロナ禍により、全国学力・学習状況調査が実施されなかった。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(15) 学校教育の充実
具体的施策	(30) 学校教育

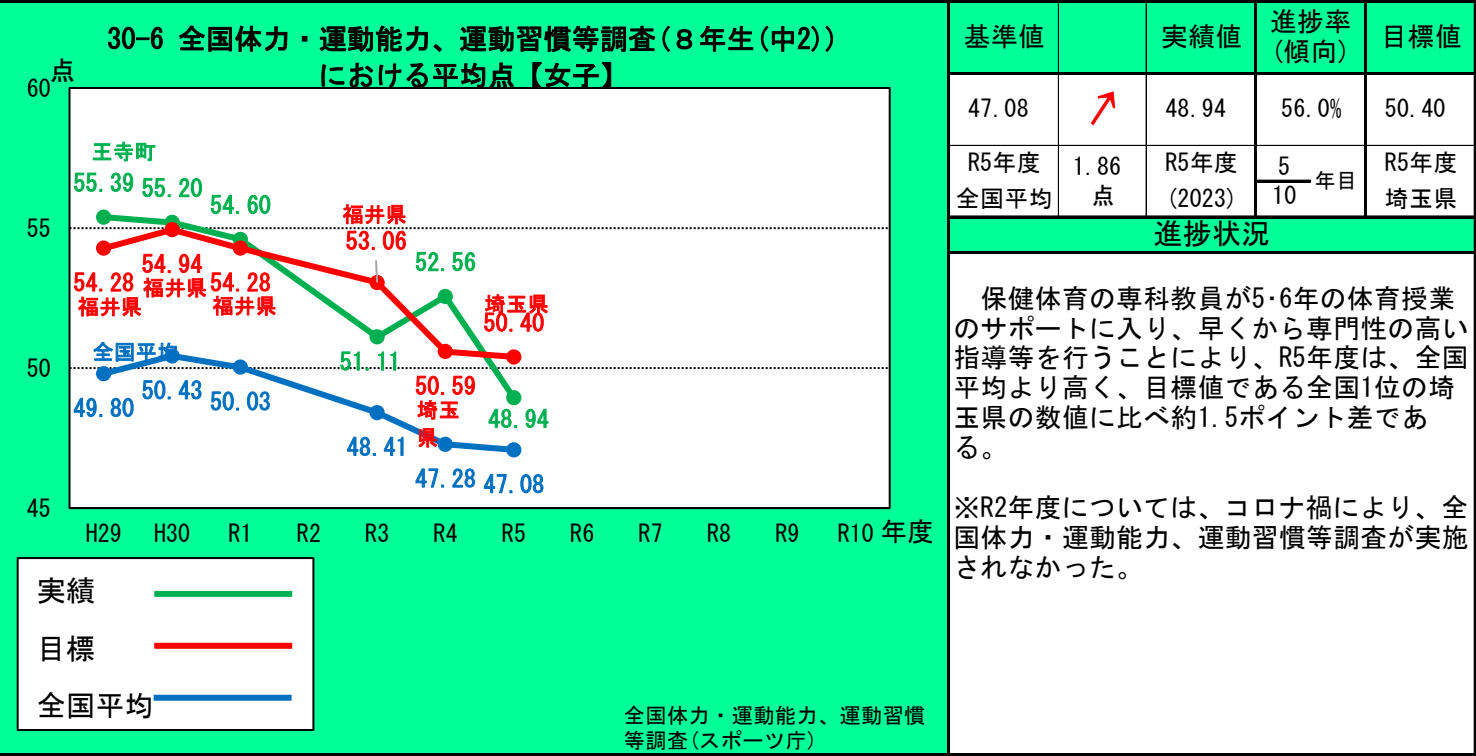
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 学校教育課 課長 小野 貴史



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
41.18	↑	45.31	129.5%	44.37
R5年度全国平均	4.13点	R5年度(2023)	5/10年目	R5年度大分県
進捗状況				
保健体育の専科教員が5・6年の体育授業のサポートに入り、早くから専門性の高い指導等を行うことにより、R5年度は、目標値である全国1位の大分県の数値を約1ポイント上回った。				
※R2年度については、コロナ禍により、全国体力・運動能力、運動習慣等調査が実施されなかった。				

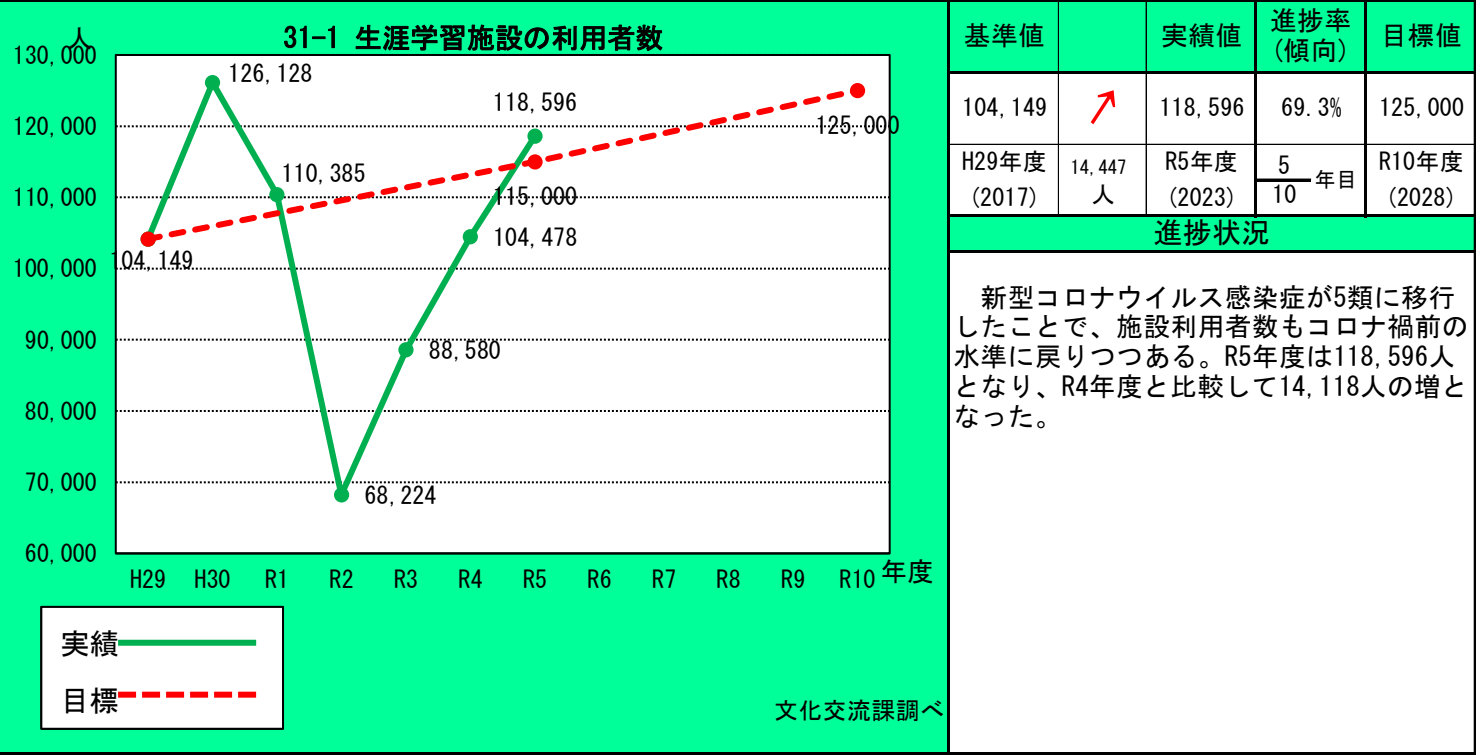
基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(15) 学校教育の充実
具体的施策	(30) 学校教育

担当部署・指標管理責任者
教育総務部 学校教育課 課長 小野 貴史



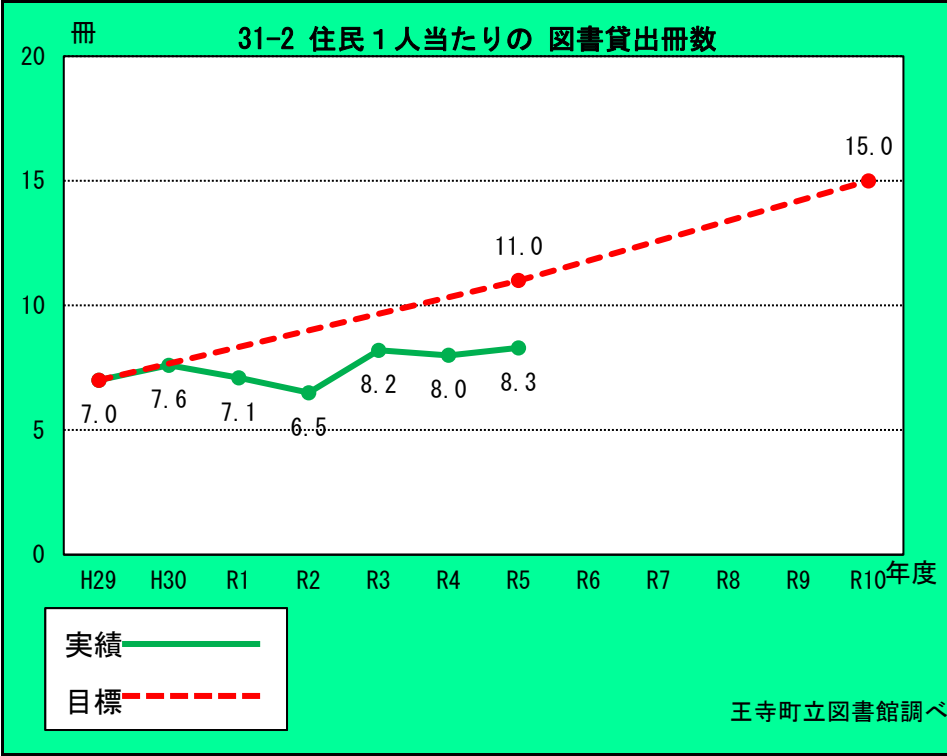
基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(16) 生涯学習の充実
具体的施策	(31) 生涯学習

担当部署・指標管理責任者
教育総務部 文化交流課 課長 田中 宏佳



基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(16)生涯学習の充実
具体的施策	(31)生涯学習

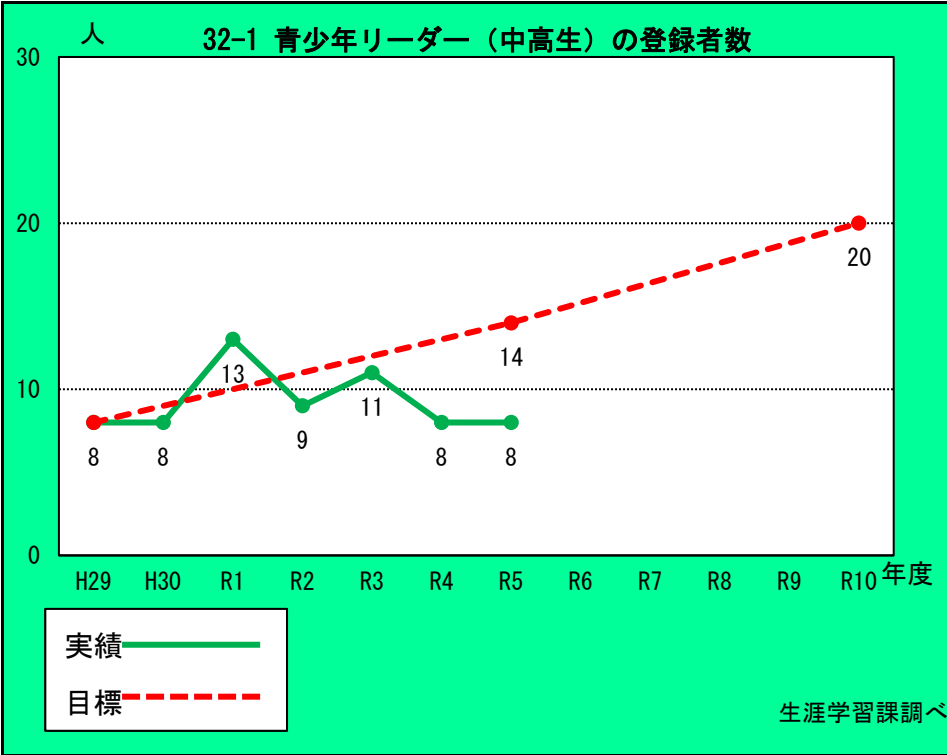
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 文化交流課 課長 田中 宏佳



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
7.0	↑	8.3	16.3%	15.0
H29年度 (2017)	1.3冊	R5年度 (2023)	5/10年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R5年度の1人当たりの貸出冊数はR4年度と比較して横ばいであった。 R6年度は、図書館システムを更新し利用者の利便性向上を図る。また、乳幼児期から親子で本に親しむ機会を増やすため、「すくすく広場」や「わくわく広場」での絵本の出張読み聞かせや興味のある絵本をその場で貸し出すなど、本を読むことの楽しさを広め、図書貸出冊数の増加につなげる。				
○参考：図書館貸出冊数 ・R5年度：197,037冊（内、電子図書2,792冊） ・R4年度：192,373冊（内、電子図書4,488冊） ・R3年度：197,273冊（内、電子図書6,148冊） ・R2年度：153,288冊				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(16)生涯学習の充実
具体的施策	(31)青少年健全育成

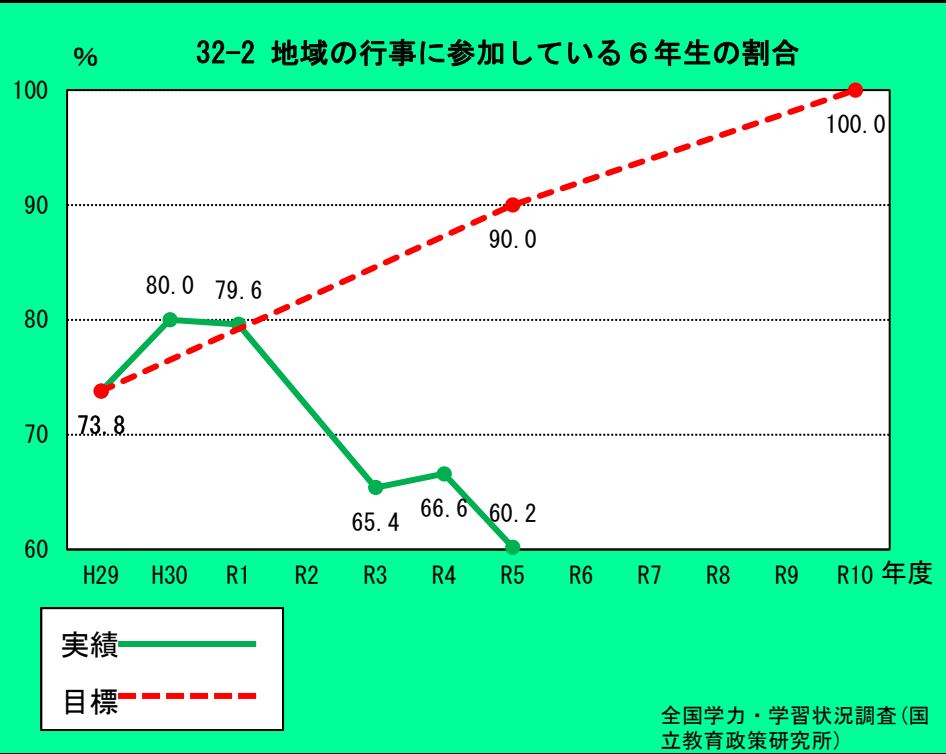
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 生涯学習課 課長 海原 崇人



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
8	→	8	0.0%	20
H29年度 (2017)	0人	R5年度 (2023)	5/10年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
登録しているリーダーの継続的な活動支援や新たなリーダーを育成するためのジュニアリーダー養成研修会の開催など、今後も児童文化協会・スポーツ少年団・ボーイスカウトと連携して支援を行っていく。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(16)生涯学習の充実
具体的施策	(32)青少年健全育成

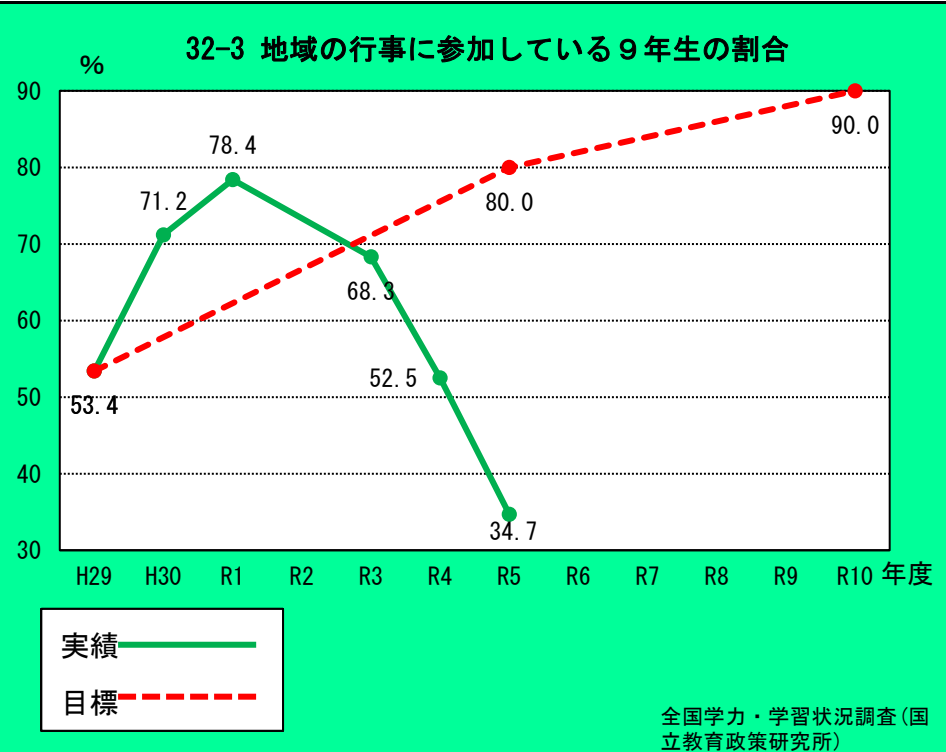
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 学校教育課 課長 小野 貴史



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
73.8	↓	60.2	-51.9%	100
H29年度 (2017)	-13.6 %	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
コロナ禍による地域行事の中止により、令和5年度全国学力・学習状況調査において、「地域の行事に参加している6年生の割合」は、R3年度から低い水準で推移している。				
※R2年度については、コロナ禍により全国学力・学習状況調査が実施されなかった。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(16)生涯学習の充実
具体的施策	(32)青少年健全育成

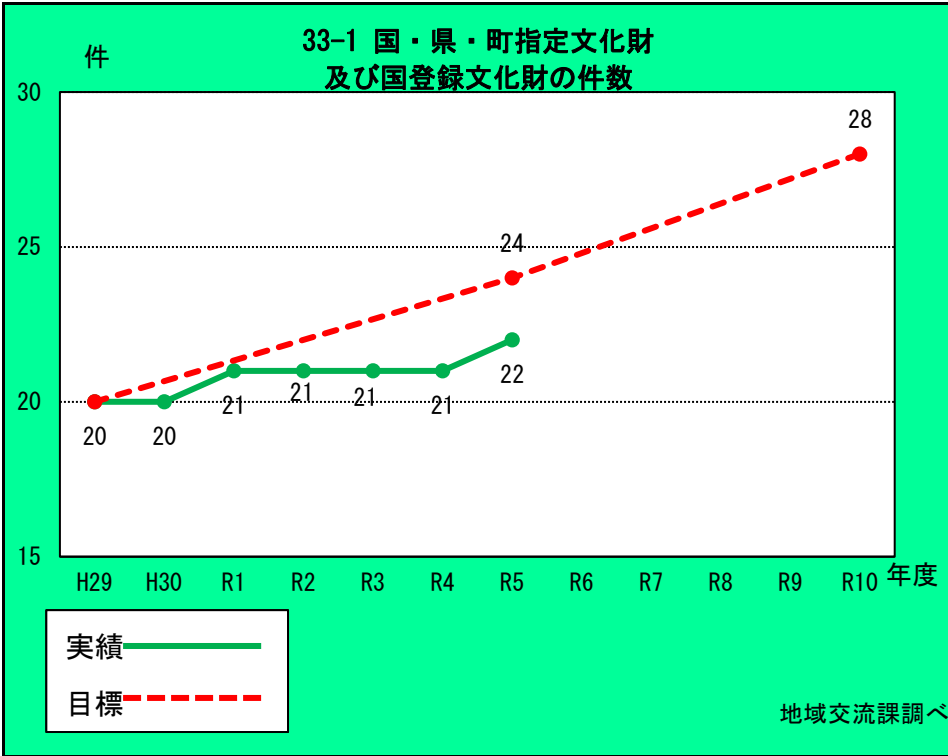
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 学校教育課 課長 小野 貴史



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
53.4	↓	34.7	-51.1%	90
H29年度 (2017)	-18.7 %	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
コロナ禍による地域行事の中止により、令和5年度全国学力・学習状況調査において、「地域の行事に参加している9年生の割合」は、R4年度に対し17.8ポイント減少した。				
※R2年度については、コロナ禍により全国学力・学習状況調査が実施されなかった。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(17) 歴史文化・スポーツ活動の振興
具体的施策	(33) 文化財

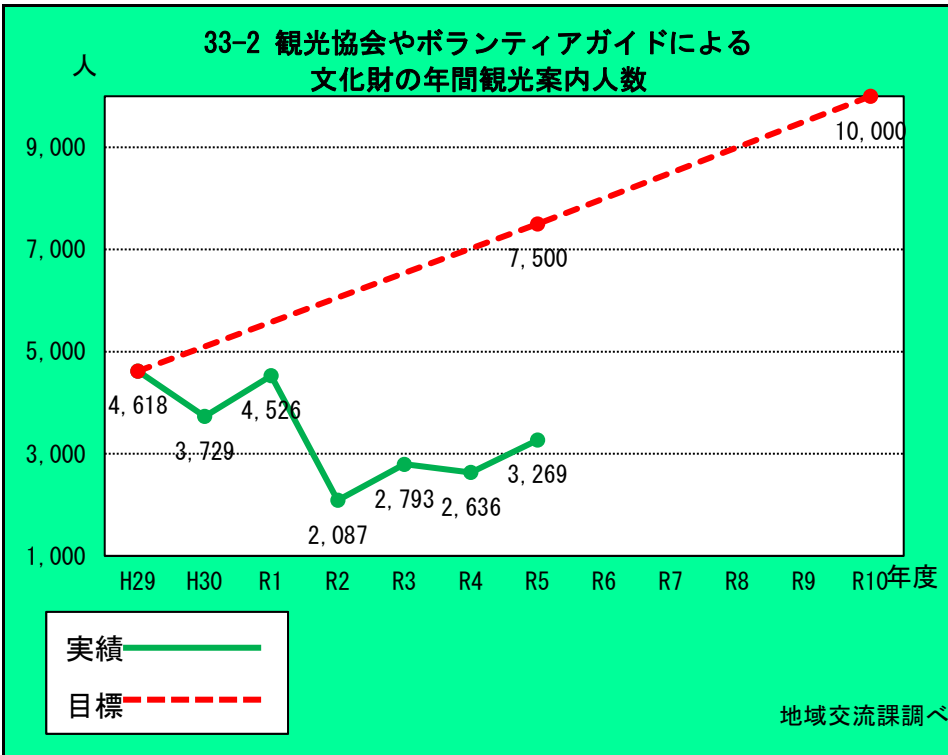
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 地域交流課 主幹 岡島 永昌



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
20	↑	22	25.0%	28
H29年度 (2017)	2 件	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R5年度にD51形蒸気機関車895号機を王寺町指定文化財に指定し、指定及び登録件数は22件に増加した。 指定又は登録には至っていないが、現在、「明神山」が国登録記念物（名勝地関係）に登録されるよう事務を進めているところであり、計画通りに進めばR6年度中に登録の見込みである。同じく「西安寺跡」が国史跡に指定されるよう事務を進めており、こちらはR10年度までには見通しが付く予定である。 この他にも町指定すべき文化財が少なからずあるので、R10年度までに計画的に指定を進め、文化財の保存と活用を図っていく。				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(17) 歴史文化・スポーツ活動の振興
具体的施策	(33) 文化財

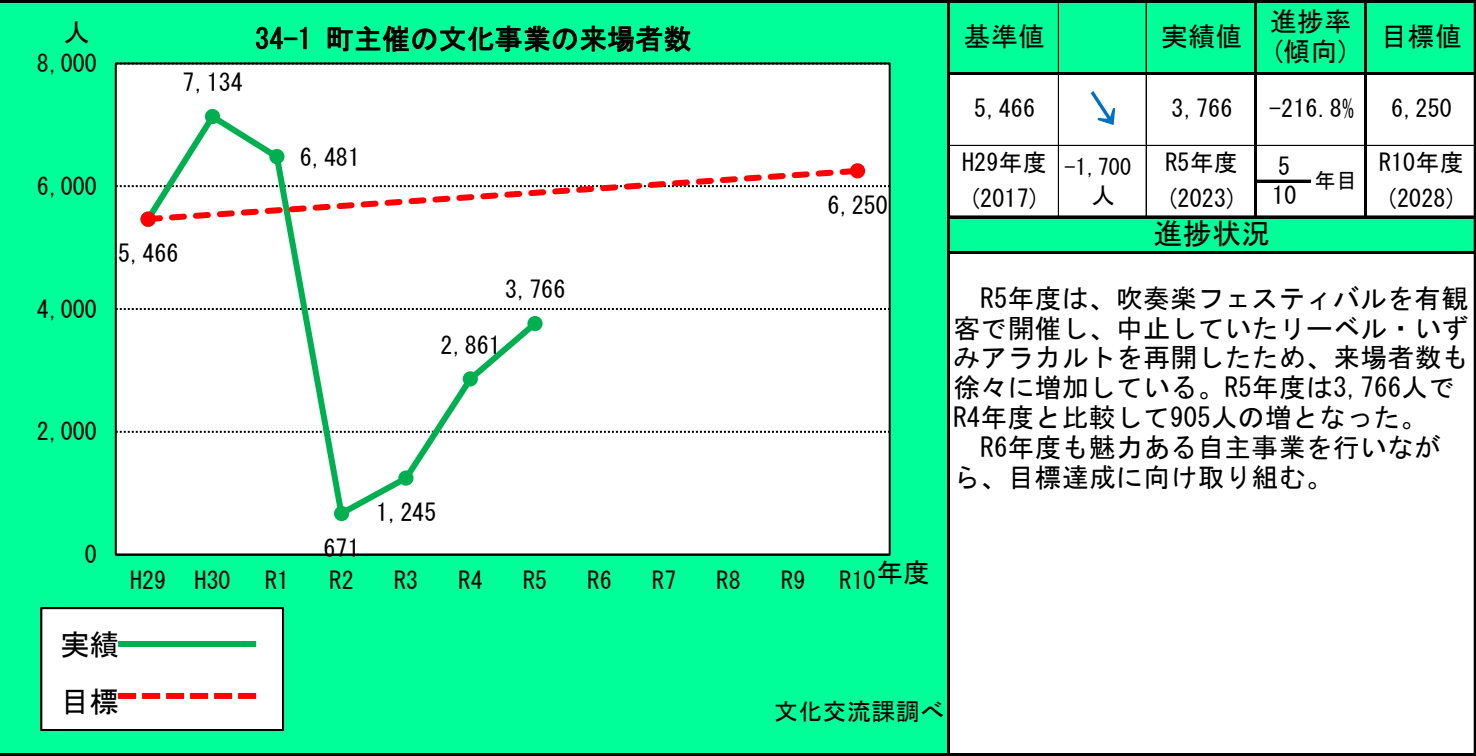
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 地域交流課 主幹 岡島 永昌



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
4,618	↓	3,269	-25.1%	10,000
H29年度 (2017)	-1,349 人	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R2年度からR4年度にかけてはコロナ禍により観光が控えられたことで目標に掲げた数値から大きく離れてしまった。しかしながら、R5年5月に新型コロナウィルス感染症が5類に移行したことによりR5年度はようやく増加傾向となった。 王寺町では、コロナ前の観光水準に戻ることを見据え、明神山の歴史眺望をVRコンテンツにしたり、全国だるまさんがころんだ選手権大会及び明神山烽火プロジェクトを実施したりして、誘客事業を様々な進めている。王寺観光ボランティアガイドの会についてもR4年度及びR6年度に養成講座を開講して新規会員を増やし、多くの観光案内を受け入れられる体制を整えている。				

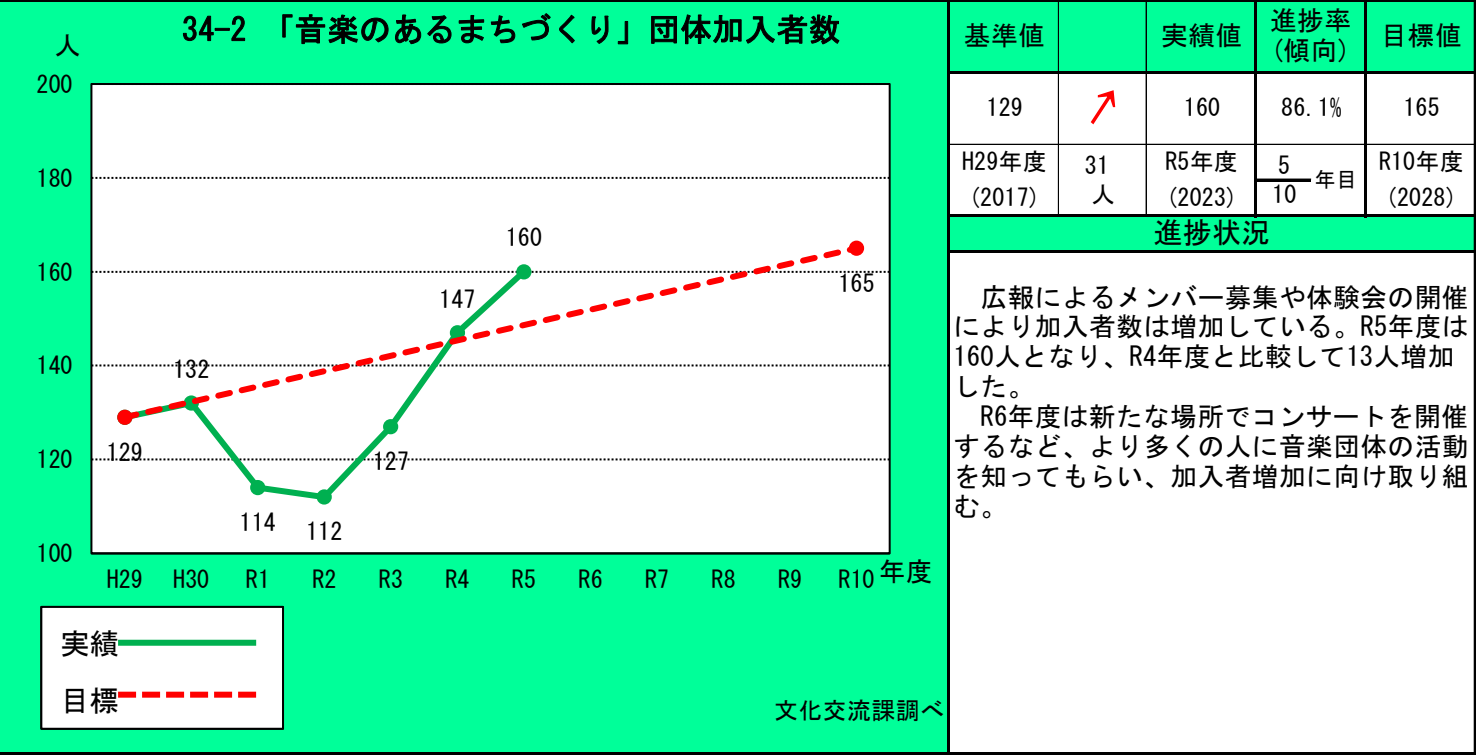
基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(17) 歴史文化・スポーツ活動の振興
具体的施策	(34) 文化・芸術活動

担当部署・指標管理責任者
教育総務部 文化交流課 課長 田中 宏佳



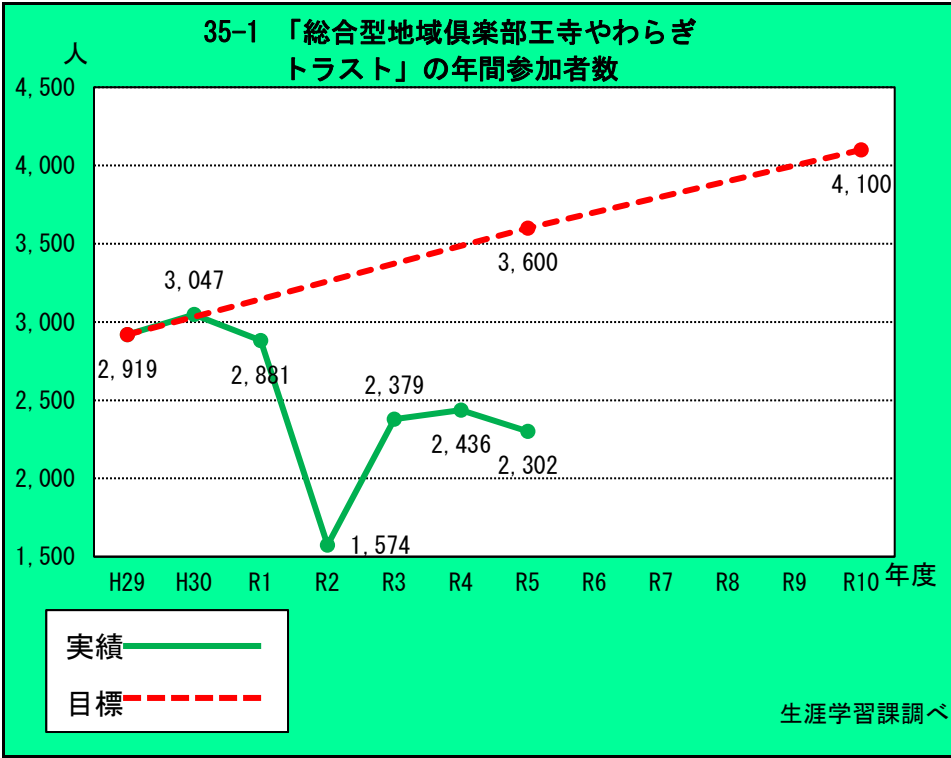
基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(17) 歴史文化・スポーツ活動の振興
具体的施策	(34) 文化・芸術活動

担当部署・指標管理責任者
教育総務部 文化交流課 課長 田中 宏佳



基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(17) 歴史文化・スポーツ活動の振興
具体的施策	(35) スポーツ・レクリエーション

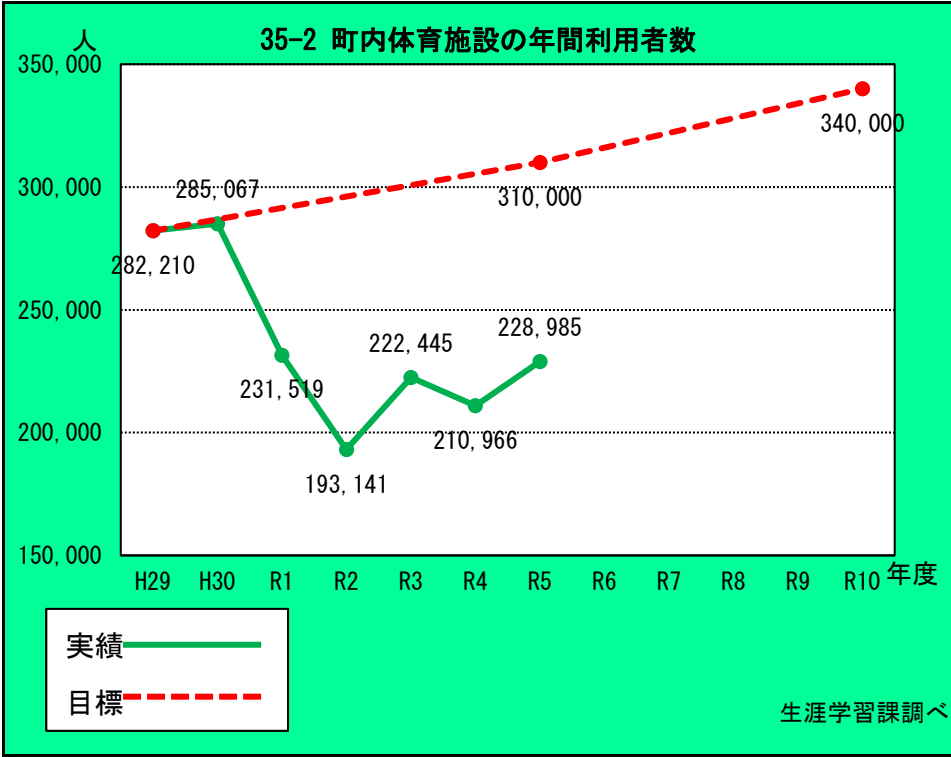
担当部署・指標管理責任者
教育総務部 生涯学習課 課長 海原 崇人



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
2,919	↓	2,302	-52.2%	4,100
H29年度 (2017)	-617 人	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
R5年度は、町広報紙やHP、町公式LINEなど、多様な媒体による情報発信のほか、様々なスポーツを体験することができるイベントを開催し、会員数・参加者数の確保に向け取り組んだ。 今後は、R5年度に引き続き多様な媒体による情報発信を行うとともに、R6年度から新たに開催する王寺町スポーツフェスティバルにおいて、誰もが気軽に様々なスポーツを体験できる機会を設けることで、年間参加者数の増加につなげていく。 【参考】やわらぎトラスト会員数 R2年度:732人 R3年度:829人 R4年度:830人 R5年度:813人				

基本目標	5 人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(17) 歴史文化・スポーツ活動の振興
具体的施策	(35) スポーツ・レクリエーション

担当部署・指標管理責任者
教育総務部 生涯学習課 課長 海原 崇人



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
282,210	↓	228,985	-92.1%	340,000
H29年度 (2017)	-53,225 人	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことなどにより、全体的に町内体育施設の利用者数が増加した。				

6 活力とにぎわいのあるまちづくり

数値目標

- 6(1) 王寺町内での新規起業件数（累計）
- 6(2) 人口の社会増（転入者数－転出者数）【再掲】
- 6(3) 町の観光入込客数
- 6(4) 王寺町周辺宿泊者数

K P I

具体的施策36 産業・雇用

- 36-1 町内の事業所数
- 36-1 補助指標 開業届提出件数[累計]
- 36-2 町内の事業所の従業員数
- 36-2 補助指標 町内で行われる「就職説明会」の参加者数

具体的施策37 定住促進

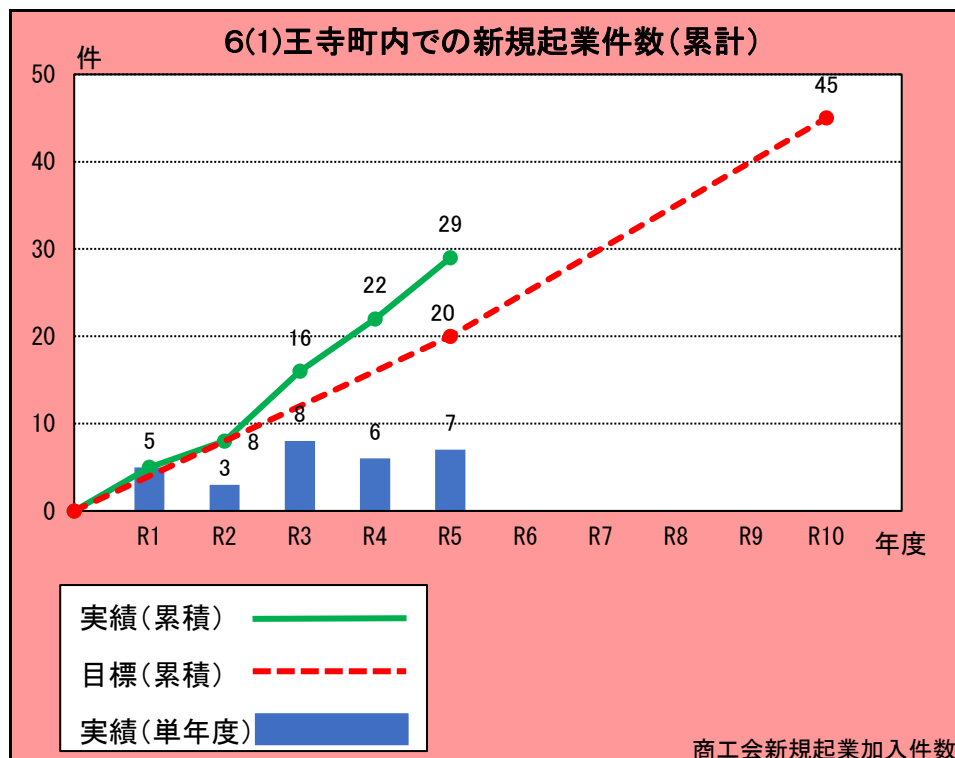
- 37-1 王寺町に住みたいと思う人の割合
- 37-1 補助指標① 三世代ファミリー定住支援補助金利用件数[累計]
- 37-1 補助指標② 移住支援金利用件数[累計]

具体的施策38 観光・交流

- 38-1 明神山の来訪者数
- 38-2 達磨寺来訪者数

基本目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
	歴史資源を活用した観光振興により、経済の好循環を促し、にぎわいのある住み続けたいと思える町をつくる

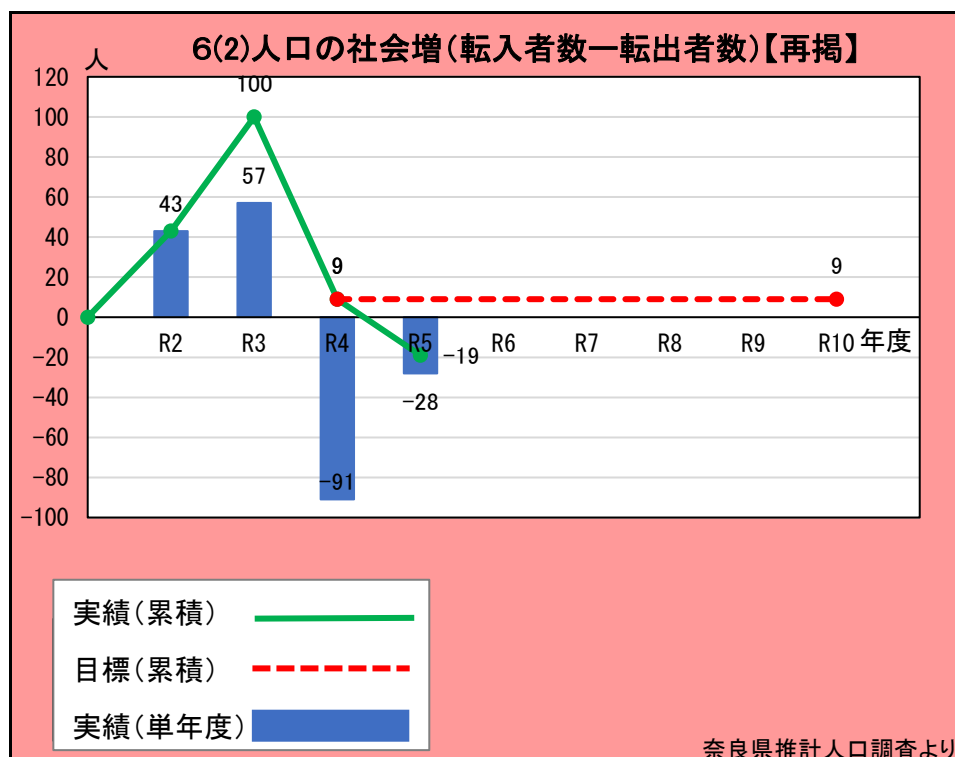
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 部長 前田 日出高



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
0	↑	29	64.4%	45
H30年度(2018)	29.0件	R5年度(2023)	5/10年目	R10年度(2028)
進捗状況				
王寺町では第3次産業が90%以上を占め、王寺駅周辺に事業者が集積しているため、王寺駅を中心とした「集客」と「消費」を喚起する取組を行っている。 賑わい創出をする事業を飲食業が主体となり定期開催されており、R7年には大阪関西万博等のビッグイベントを生かして観光産業を育成と駅周辺居住者に必要とされる事業者を育成していく。 事業者育成に関しては商工会に支援体制の強化と起業促進を働きかけ、中小企業のIT化を進めるため、テレワーク施設0-terraceと連携し、デジタル人材の育成を推進する。				

基本目標	2 快適で暮らしやすいまちづくり
	都市基盤の整備、環境や景観への配慮により、快適に暮らし続けられる町をつくる

担当部署・指標管理責任者
王寺町理事 小林 秀禎

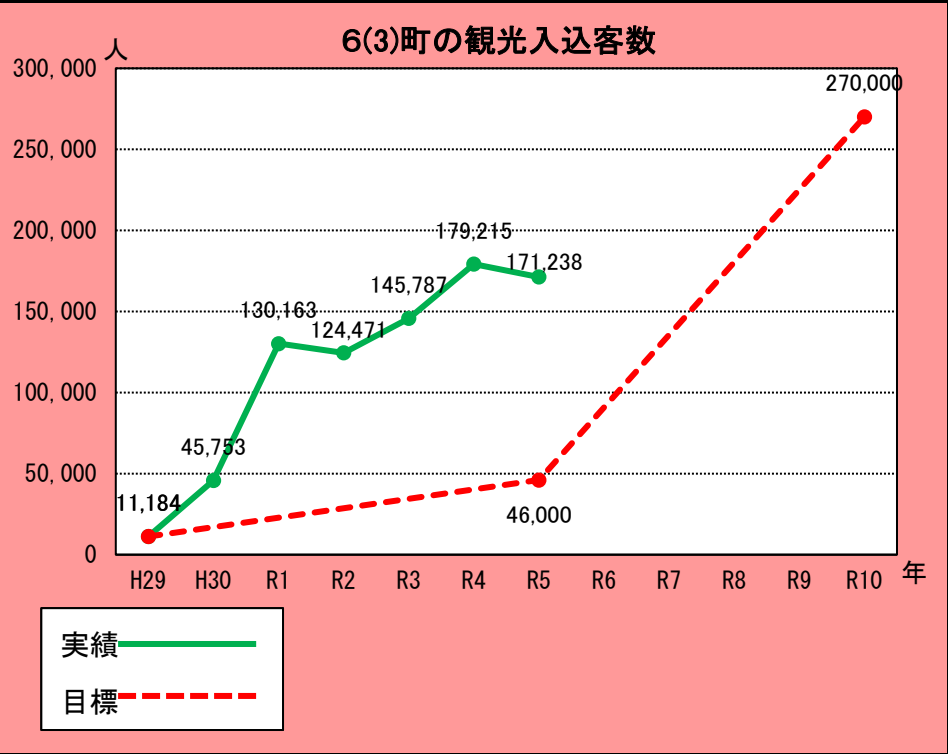


基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
0	↓	-19	-211.1%	9
H30年度(2018)	-19人	R5年度(2023)	4/9年目	R10年度(2028)
進捗状況				
都市基盤の整備について、王寺駅周辺への医療・福祉、商業、事業所(オフィス)等の都市機能の集積及び生活サービス機能の充実を図るため、有識者会議等で、将来のまちづくりについて協議を重ねており、R4年6月に「王寺駅周辺地区(駅北エリア)まちづくり基本計画」を策定した。 王寺駅南エリアは病院移転計画が無くなった事を受け、まちづくりの方向性について改めて検討する必要がある。したがって、今年度は分科会を立ち上げ、地元住民・地元事業者を中心に意見交換を行う予定である。 駅南エリアのまちづくりの方向性が定まったのち、王寺町の中心拠点である王寺駅周辺について「西和地域の中核となる拠点機能の強化」をコンセプトに、1つの計画に取りまとめていく予定である。また、その計画を実現するため、民間活力による拠点施設の整備推進や、まちなかウォーカブルの推進、まちなみの誘導型の地区計画を定めることで、人中心の空間を創出し、良好な都市景観を形成していくことに繋げる。 引き続き、駅周辺の拠点機能を強化し、活力あふれる西和地域の拠点都市を目指す。				

数値目標

基本目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
	歴史資源を活用した観光振興により、経済の好循環を促し、にぎわいのある住み続けたいと思える町をつくる

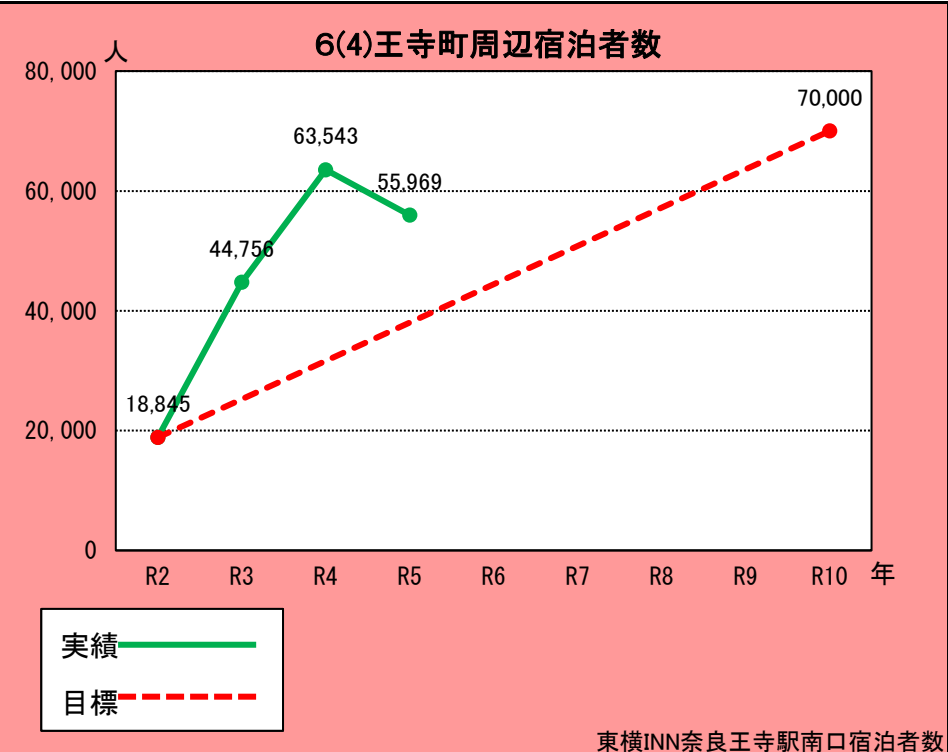
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 部長 前田 日出高



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
11,184	↑	179,215	64.9%	270,000
H29年 (2017)	168,031 人	R4年 (2022)	5 10 年目	R10年 (2028)
進捗状況				
町内の観光拠点である明神山、達磨寺等の魅力化を図るとともに、新たに集客力の高い観光資源の発掘・魅力化を図っている。 従来の集客力の高い「鉄道イベント」等を開催するなど「集客」と「消費」を連動する仕組みづくりを行い、域内経済の活性化を図っていく。また、聖徳大使のゆかりの里の周遊観光の拠点となる王寺駅を起点にWEST NARA広域観光協議会と連携し、交通の要衝の強みを生かした取組を進める。				

基本目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
	歴史資源を活用した観光振興により、経済の好循環を促し、にぎわいのある住み続けたいと思える町をつくる

担当部署・指標管理責任者
地域整備部 部長 前田 日出高

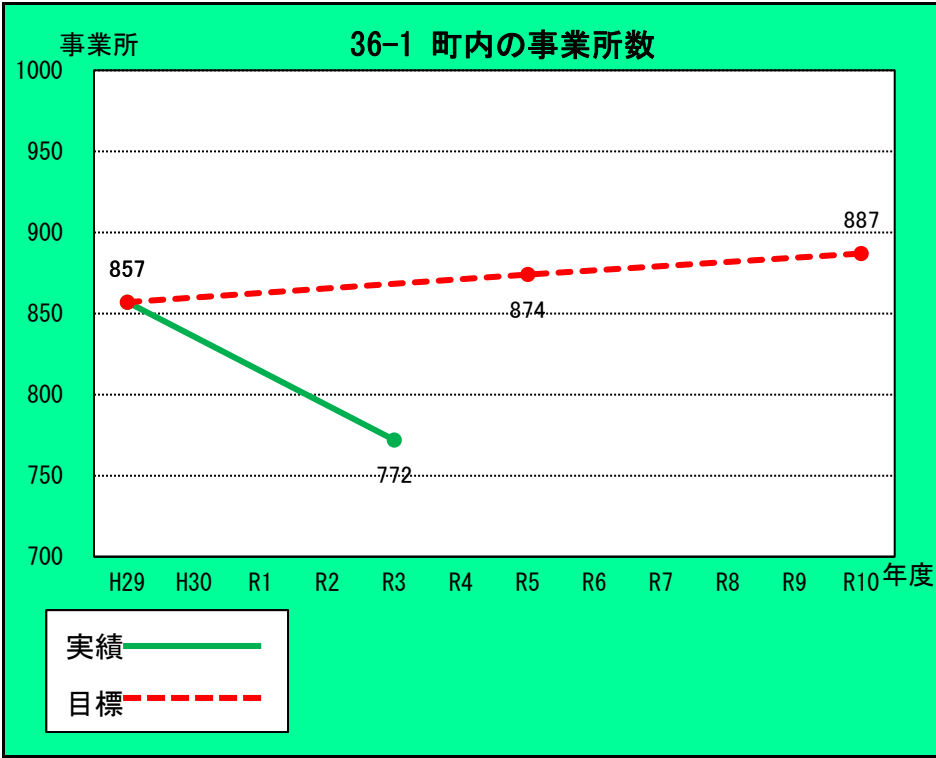


基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
18,998	↑	55,969	72.5%	70,000
R2年 (2020)	36,971 人	R5年 (2023)	4 9 年目	R10年 (2028)
進捗状況				
R2年8月に開業したホテル東横INN奈良王寺駅南口は、月あたり約4,700名の高い稼働率があり、ホテルを基軸に駅周辺の飲食業との連携も図られ、地域経済の活性化につながっている。 町観光協会と連携し、東横INNとして全国初のコンセプトルーム「雪丸の部屋」も人気を博している。 今後も王寺駅周辺での観光事業の情報提供など、誘客につながる取組を進めていく。				

東横INN奈良王寺駅南口宿泊者数

基本目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
基本的方向	(18) 活力の創出
具体的施策	(36) 産業・雇用

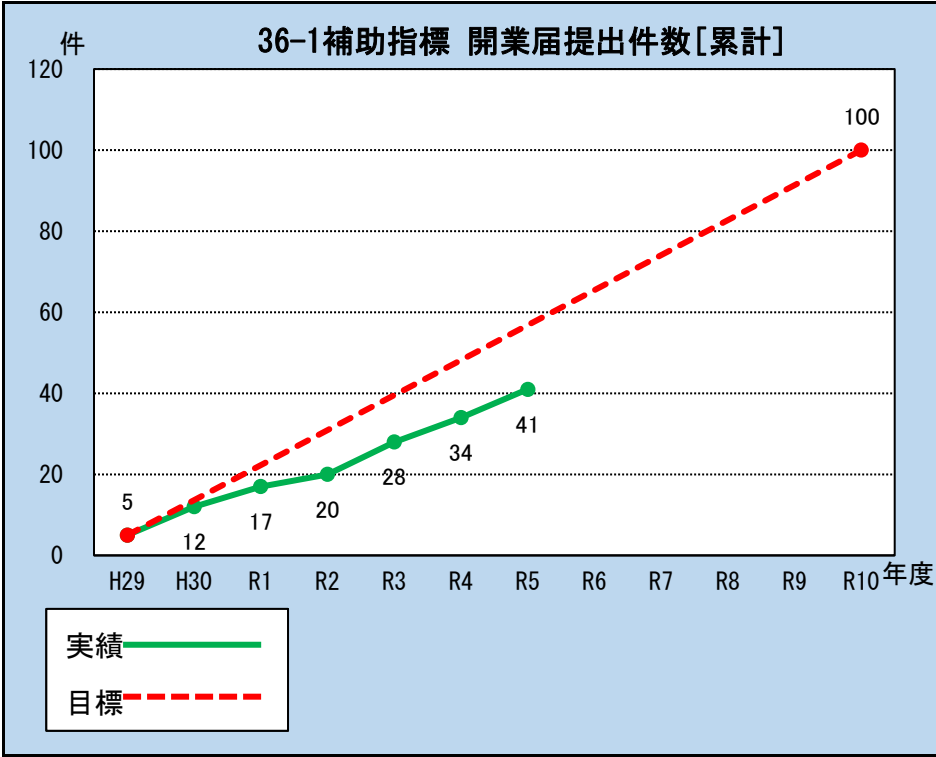
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 地域交流課 課長 片岡 篤



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
857	↓	772	-283.3%	887
H29年度 (2017)	-85 事業所	R3年度 (2021)	3/10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
王寺町では第3次産業が90%以上を占め、王寺駅周辺に事業者が集積しているため、王寺駅を中心とした「集客」と「消費」を喚起する取組を行い、賑わいを創出していく。 R7年に開催される大阪・関西万博等のビッグイベントに向けて、観光産業の育成と周辺居住者、駅利用者に必要とされる事業者を育成していく。 事業者の育成については、商工会に支援体制の強化を働きかけていく。また、南都銀行旧王寺支店跡地に誘致したテレワーク施設0-terraceと連携し、IT人材育成からITビジネスの起業を促していく。				

基本目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
基本的方向	(18) 活力の創出
具体的施策	(36) 産業・雇用

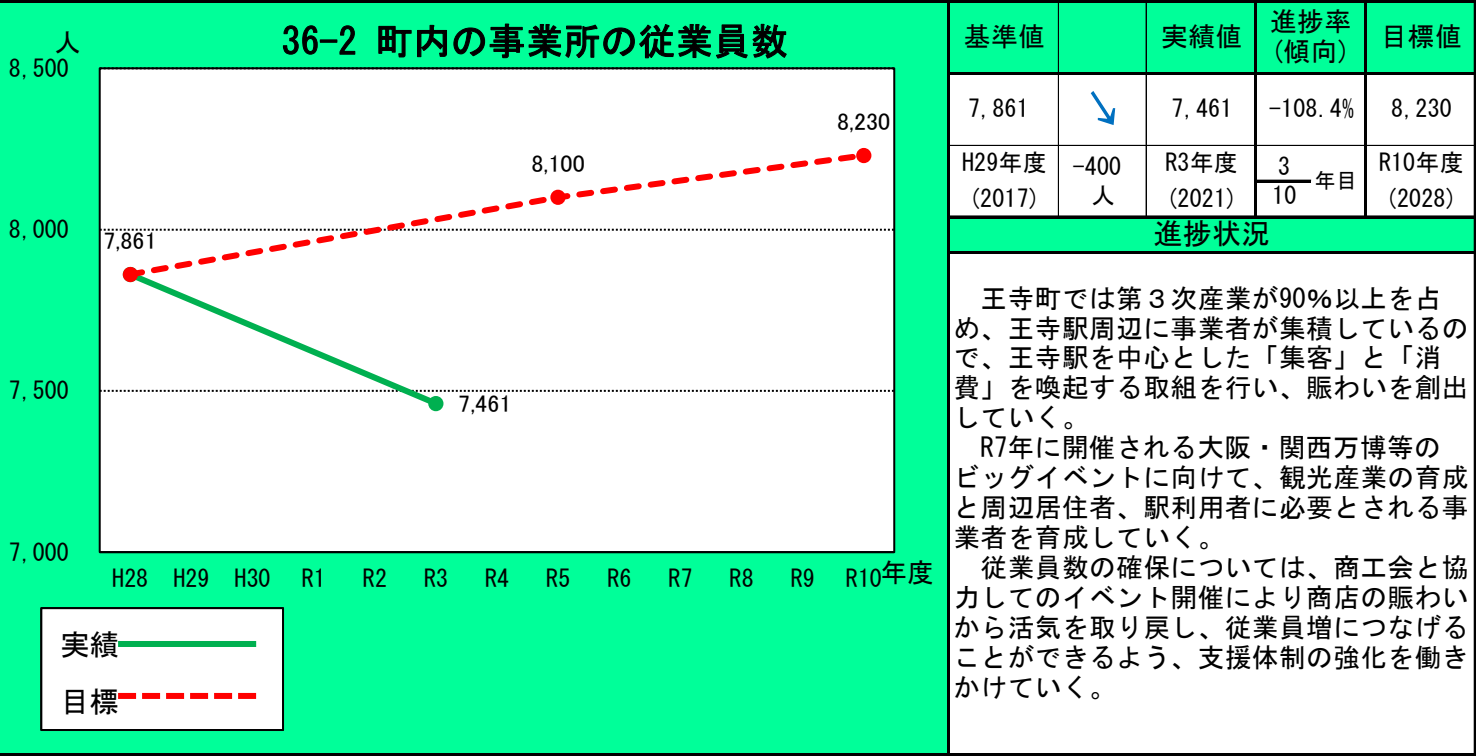
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 地域交流課 課長 片岡 篤



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
5	↑	41	37.9%	100
H29年度 (2017)	36 件	R5年度 (2023)	5/10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
王寺町では第3次産業が90%以上を占め、王寺駅周辺に事業者が集積しているため、王寺駅を中心とした「集客」と「消費」を喚起する取組を行い、賑わいを創出していく。 R7年に開催される大阪・関西万博等のビッグイベントに向けて、観光産業の育成と周辺居住者、駅利用者に必要とされる事業者を育成していく。 事業者の育成については、商工会に支援体制の強化を働きかけていく。また、南都銀行旧王寺支店跡地に誘致したテレワーク施設0-terraceと連携し、IT人材育成からITビジネスの起業を促していく。				

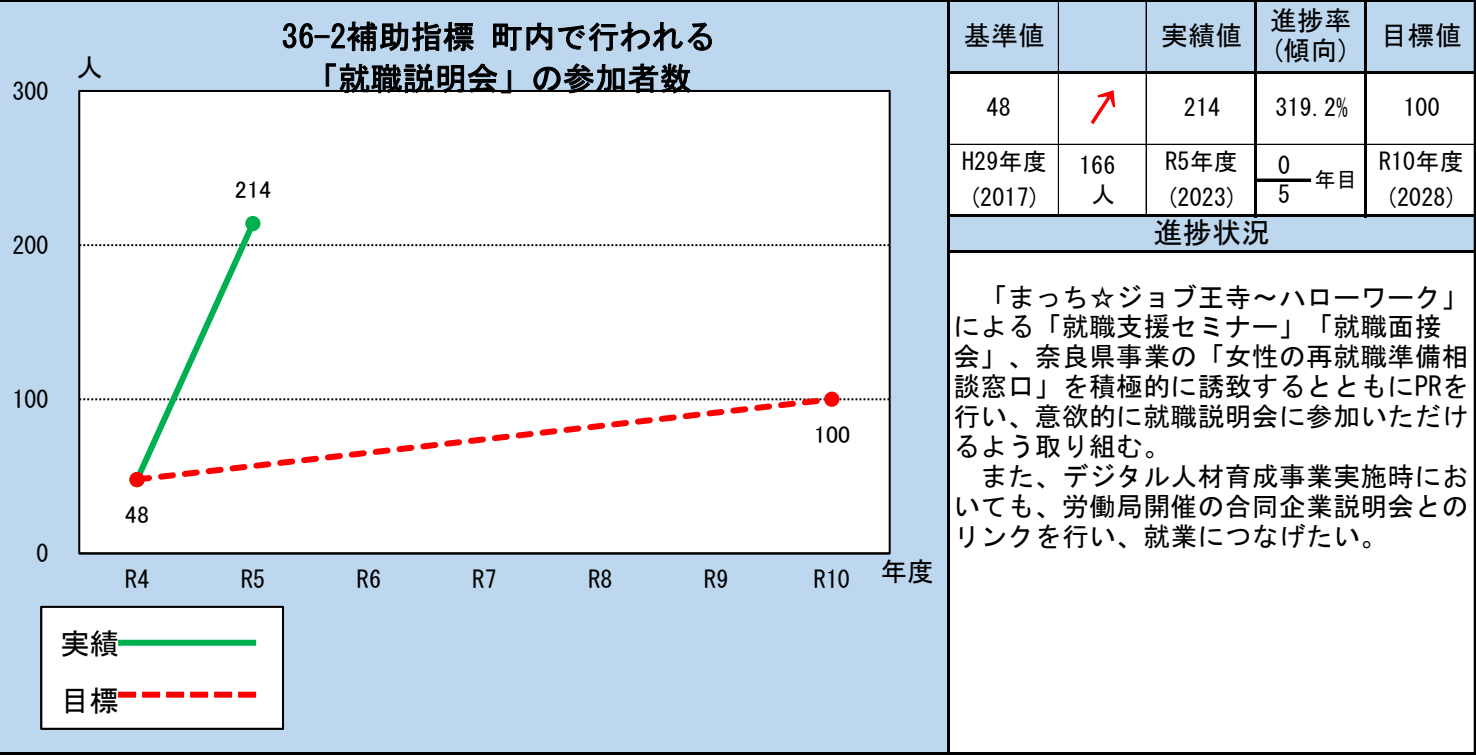
基本目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
基本的方向	(18) 活力の創出
具体的施策	(36) 産業・雇用

担当部署・指標管理責任者
地域整備部 地域交流課 課長 片岡 篤



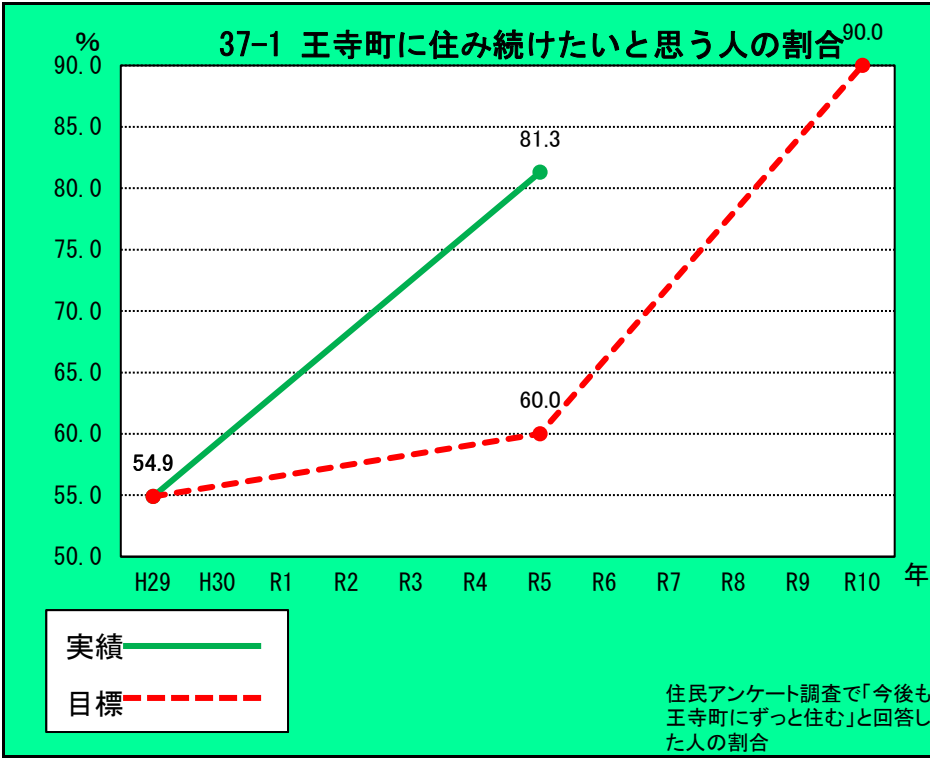
基本目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
基本的方向	(18) 活力の創出
具体的施策	(36) 産業・雇用

担当部署・指標管理責任者
地域整備部 地域交流課 課長 片岡 篤



基本目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
基本的方向	(18) 活力の創出
具体的施策	(37) 定住促進

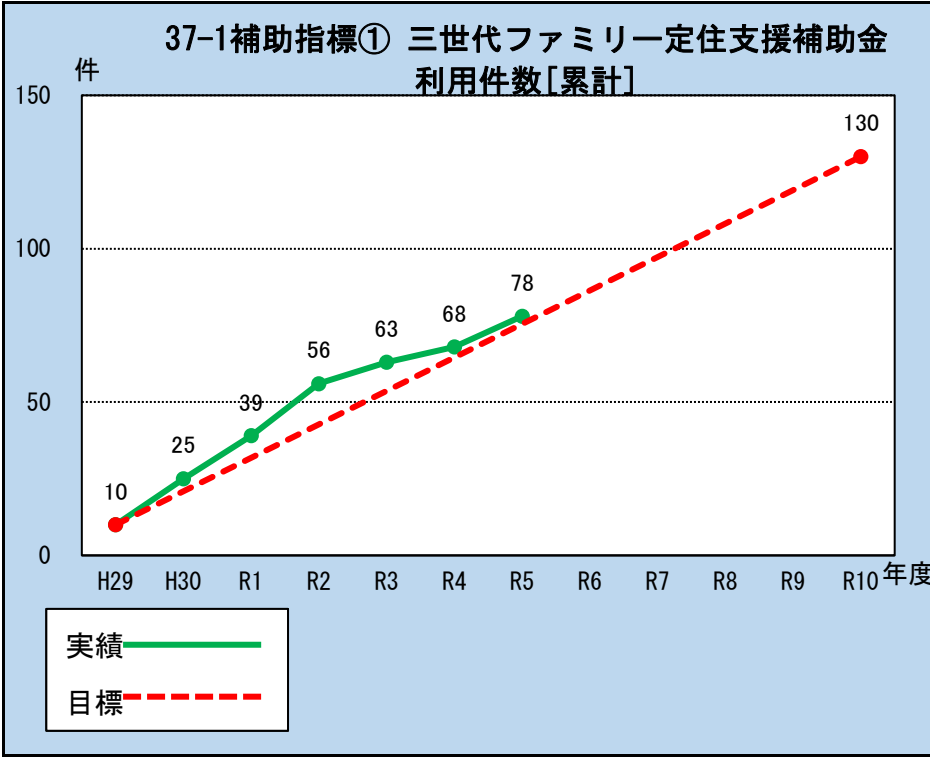
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 まちづくり推進課 課長 植村 哲史



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
54.9	↑	81.3	75.2%	90.0
H29年 (2017)	26.4 %	R5年 (2021)	5 10 年目	R10年 (2028)
進捗状況				
地域の魅力発信を目的とし北葛4町での「御墳印帳プロジェクト」を開始するなど北葛城のプロモーションを進めている。また町独自の定住促進事業として三世帯世帯向けの住宅取得・リフォーム補助を実施することで王寺町への定住を促進している。				

基本目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
基本的方向	(18) 活力の創出
具体的施策	(37) 定住促進

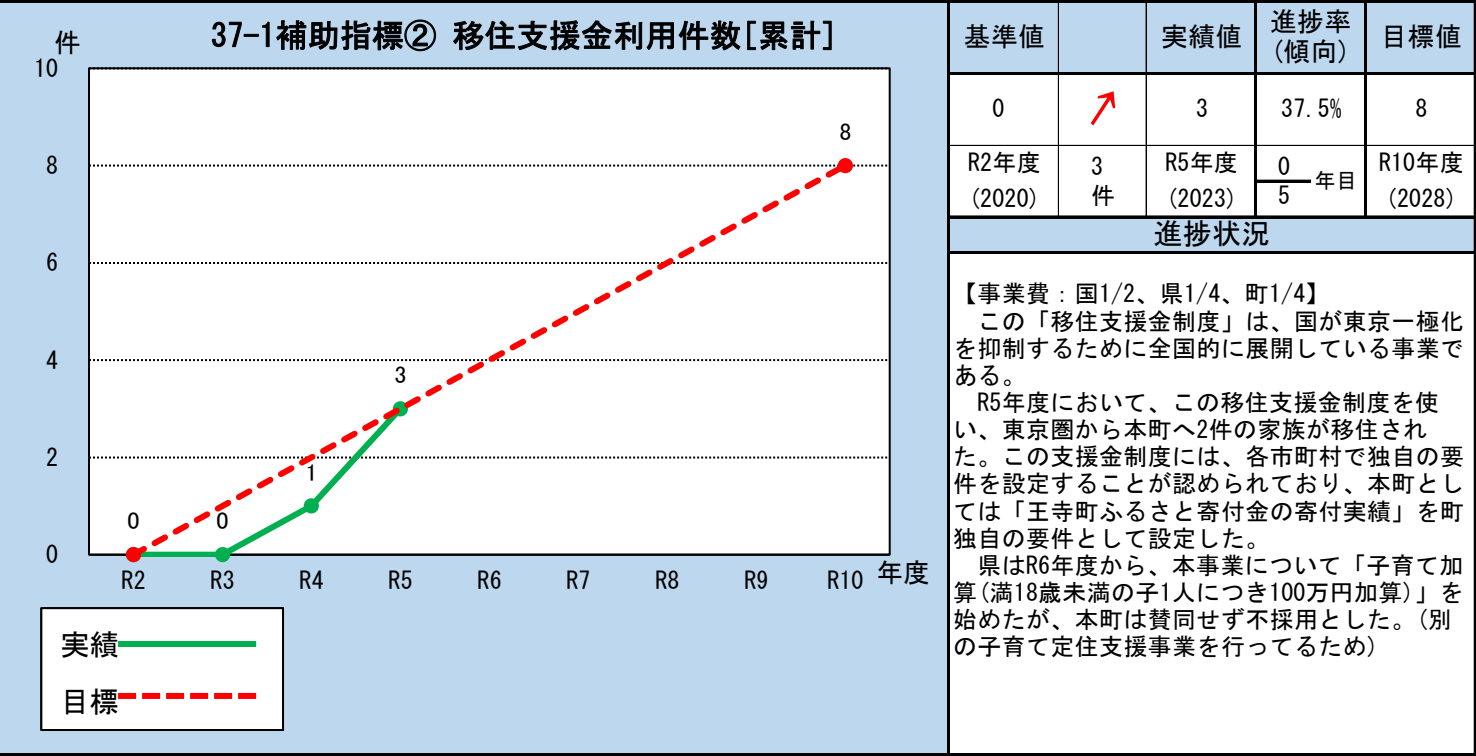
担当部署・指標管理責任者
地域整備部 まちづくり推進課 課長 植村 哲史



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
10	↑	78	56.7%	130
H29年度 (2017)	68 件	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)
進捗状況				
本補助金は、本町への定住人口の増加、バランスのとれた人口構成の実現及び地域社会の活性化を目的とした町独自の定住支援策として、創設のH28年度から毎年多くの利用実績がある。 R5年度までの総申請件数は80件で、年平均10件という実績である。				
・ R5年度：10件 ・ R6年度5月末：5件				

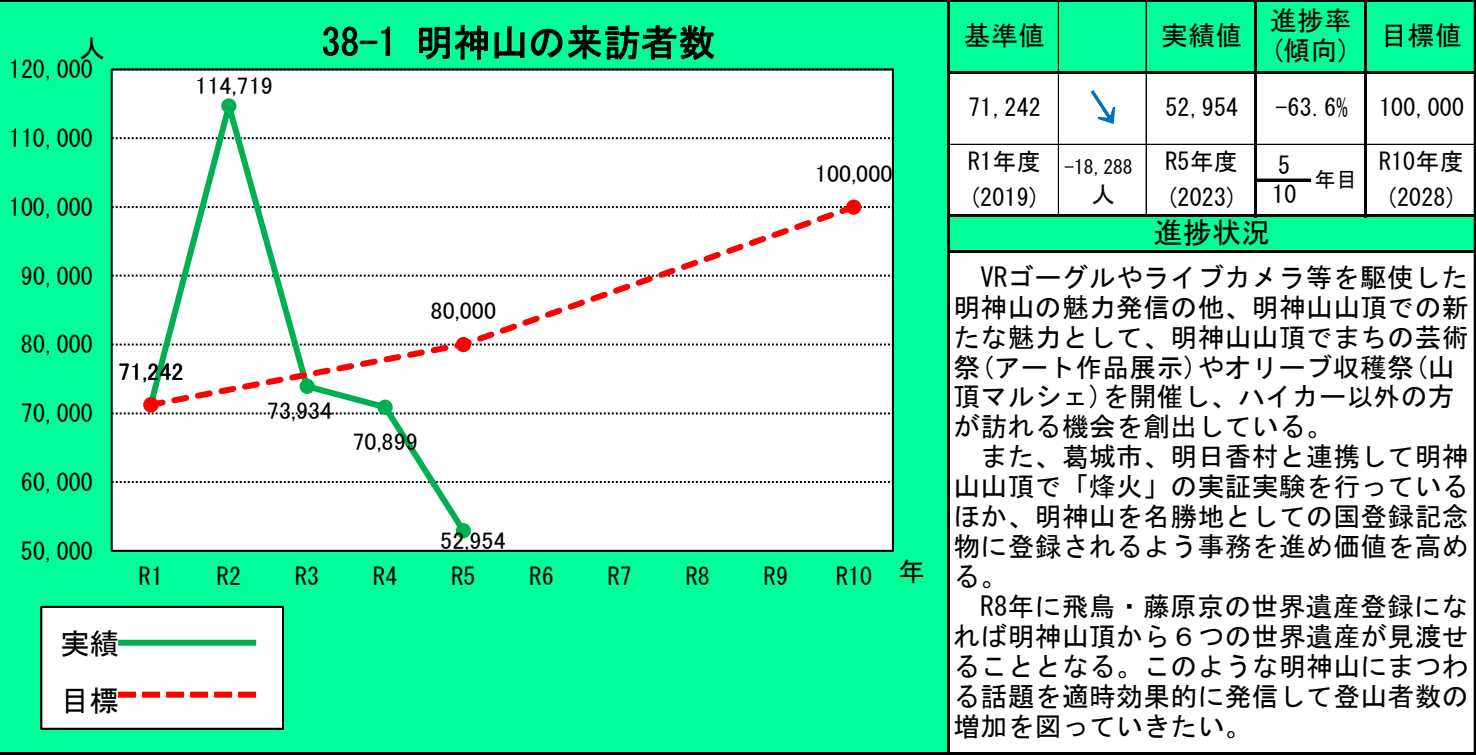
基本目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
基本的方向	(18) 活力の創出
具体的施策	(37) 定住促進

担当部署・指標管理責任者
地域整備部 まちづくり推進課 課長 植村 哲史



基本目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
基本的方向	(19) 交流の促進
具体的施策	(38) 観光・交流

担当部署・指標管理責任者
地域整備部 地域交流課 課長 片岡 篤



基本目標	6 活力とにぎわいのあるまちづくり
基本的方向	(19) 交流の促進
具体的施策	(38) 観光・交流

担当部署・指標管理責任者
地域整備部 地域交流課 課長 片岡 篤



基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
10,086	↓	9,288	-4.0%	30,000
H30年度 (2018)	-798 人	R5年度 (2023)	5 10 年目	R10年度 (2028)

進捗状況

アフターコロナにおいて、達磨寺行事（達磨会式、除夜の鐘、節分豆まき）の充実と全国だるまさんがころんだ選手権大会、王寺まちの芸術祭、合格だるまストリート、王寺マルシェなど集客力の高い事業を行う。

また、達磨寺を訪れる観光客の対応として王寺観光ボランティアガイドの会の定点観光ガイドや一般社団法人王寺まちづくり事業による定期的な「だるまマーケット」を開催し、観光客の満足度を高める。